SOTEC

Windows Me 入門

Windows Meの基本操作

ファイルの使い方

Windows Meの機能の紹介

Windows MeのQ&A

このマニュアルの見方

本書はソーテック製パソコンでWindows Meを利用する方を対象に、Windows　Meの基本的な概念、操作方法、トラブルシューティングなどを順序立てて紹介しています。
本書をお読みになるときは、Windows　Meを起動させてから、実際の画面と本書を照らし合わせながら、お読みいただくと、より理解が深まります。
なおページの都合上、本書ではWindows　Meの基本となる操作のみを解説しています。解説できなかった機能については「Windowsのヘルプとサポート(操作方法は本書24ページで解説しています)」を参考にしてください。

各ページの構成

このページは、構成の説明用に作成したもので、実際のページとは異ります。

インデックス
各章ごとにくぎられています。

大見出し

この項目の概要

中見出し

補足的な説明や、知っておくと便利なことです。

操作してはいけないこと、または操作するときに注意することです。

さらに高度な使い方について説明します。

知っておいていただきたい用語の意味と読み方です。

●その他の記号

☞参照ページ

その単語の詳細が別ページに紹介、または説明されています。本文とあわせてご覧ください。

目次について

目次はクイックインデックスの役目もはたしています。

2	マイコンピュータの使い方	p.10
	マイコンピュータアイコンの使い方を説明	ファイルのコピー..12 ファイルの移動......13 ファイルの削除......15

機能のタイトル、およびページ数です。

さらに項目を分けて説明しているときのページ数です。

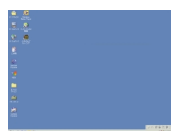
ここで説明している機能の概要とイメージです。

目　次

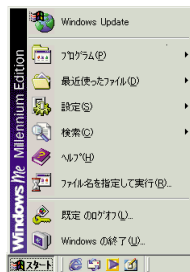
Step1

Windows Me の基本操作

1 デスクトップ画面について p.8

デスクトップに表示されるアイコンについて説明します。

2 スタートからはじめよう p.10

スタートメニューからアプリケーションの起動方法について説明します

電卓を起動する ..P.10
電卓を使ってみる..P.12
電卓を終了する ..P.13

3 マイコンピュータの使いかた p.14

マイコンピュータの使い方について説明します

マイコンピュータを開く ..P.14
マイコンピュータの中は…？ ..P.15

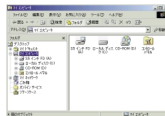
4 ドライブを開いてみる p.16

ドライブの開き方について説明します

C:ドライブを開く..P.16
C:ドライブを閉じる..P.19

5 エクスプローラの使いかた p.20

エクスプローラの使いかたについて説明します

エクスプローラを起動する..P.20
画面の左側は…？..P.21
画面の右側は…？..P.22
エクスプローラを終了する..P.23

6 ヘルプの使いかた p.24

Windows Meのヘルプについて説明します

Windows Meのヘルプを見る ..P.24

Step2
ファイルの使い方

1 ファイルを整理する p.32
ファイルの概念について説明します

整理のしかた ..P.32

2 新しいフォルダを作る p.34
フォルダの作成方法について説明します

新しいフォルダを作る ..P.34
フォルダをもうひとつ作る ..P.35

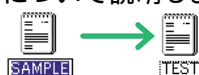
3 フォルダにファイルを保存する p.36
フォルダにファイルを作って保存する方法について説明します

試しにメモ帳でファイルを作る ..P.36
ファイルを保存する ..P.37
メモ帳を終了する ..P.39

4 ファイルを移動・コピー・削除する p.40
ファイルの操作方法について説明します

2つのフォルダを開く ..P.40
ファイルを移動する ..P.48
ファイルをコピーする ..P.49
ファイルを削除する ..P.52

5 ファイル（フォルダ）の名前を変える p.54
ファイル、またはフォルダの名前を変更する方法について説明します

変更方法 その1 ..P.54
変更方法 その2 ..P.55

6 ショートカットアイコンを利用する p.57
ショートカットアイコンの概要と利用法について説明します

ショートカットアイコンとは? ..P.57
ショートカットアイコンを作る ..P.59

7 最近使ったファイルを利用する p.62
最近使ったファイルを利用する方法について説明します

[最近使ったファイル]を使ってみる ..P.62

8 ファイルやフォルダを検索する p.63
ファイルやフォルダの検索方法について説明します

ファイルを検索する ..P.63
検索条件を保存するには ..P.64

9 フロッピーディスクを使う p.65
フロッピーディスクの具体的な使い方について説明します

フロッピーディスクを使う前に ..P.65
フロッピーディスクをフォーマットする ..P.66
フロッピーディスクにファイルをコピーする ..P.69
フロッピーディスクのファイルを開く ..P.71
ファイルの大きさを見る ..P.73
フロッピーディスクを取り出す ..P.74
ディスクへの書き込みを禁止する ..P.75

Step3 機能の紹介

1 基本的な機能 p.78

Windows Meに付属している、様々なアプリケーションを紹介します

パソコンの操作方法を知る ..P.78
ファイルを探す ..P.78
文書や絵をかく ..P.80
計算する ..P.82
ユーザーの補助をする ..P.82

2 マルチメディアを楽しむための機能 p.83

Windows Meに付属している、マルチメディア関係のアプリケーションを紹介します

動画を見る ..P.83
音楽を聴く ..P.84
ゲームをする ..P.85

3 通信に関する機能 p.86

Windows Meに付属している、通信関係のアプリケーションを紹介します

通信回線に接続する ..P.86

4 システムに関する機能 p.88

Windows Meに付属している、システム関係のアプリケーションを紹介します

システムを監視・変更する ..P.88
ディスクをメンテナンスする ..P.89
ディスクの内容を圧縮する ..P.90

Step4 Windows MeのQ&A

1 パソコンの電源をONにしたら･･･ p.92

Windows Meの起動時に関するトラブルシューティングを紹介します

Windows Meが起動しない ..P.92
途中まで起動するが･･･ ..P.95
フロッピーディスクから起動したい ..P.95

2 Windowsを終了しようとしたら･･･ p.96

Windows Meの終了時に関するトラブルシューティングを紹介します

[Windowsの終了]をクリックできない ..P.96
作業の途中で電源をOFFにしてしまった ..P.97

3 ディスプレイの表示が変だ･･･ p.98

ディスプレイに関するトラブルシューティングを紹介します

画面自体が変だ ..P.98
画面の設定を変えようとしたら･･･ ..P.99

4 ウィンドウの表示が変だ･･･ p.100

画面表示に関するトラブルシューティングを紹介します

ウィンドウ自体の表示が変だ ..P.100
アイコンの表示が変だ ..P.101

5 フォルダやファイルが変だ・・・ p.102
ファイル操作に関するトラブルシューティングを紹介します
ダブルクリックで開かない..P.102
フロッピーディスクに関するトラブル..P.105

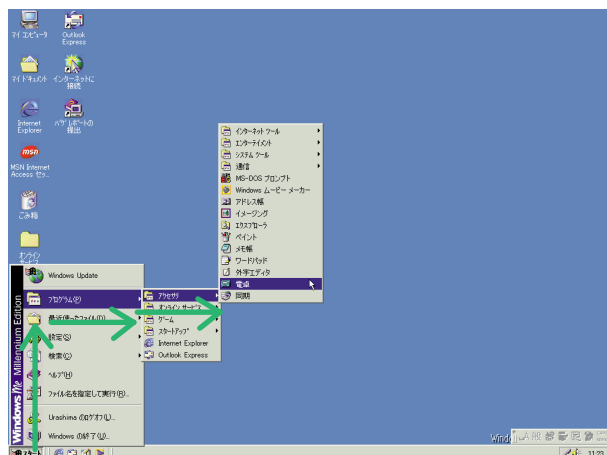
6 マウスの動作が変だ・・・ p.106
マウス操作に関するトラブルシューティングを紹介します
ポインタが動かない..P.106

7 キーボードから文字が入力できない・・・ p.108
キーボードに関するトラブルシューティングを紹介します
キーを押しても入力できない..P.108
押したキーと違う文字が表示される..P.109
キーに無い記号を入力したい..P.109

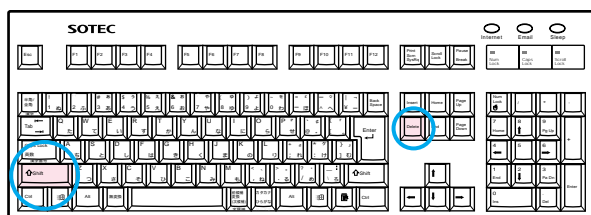
8 アプリケーションを使っていると・・・ p.112
アプリケースション操作時に関するトラブルシューティングを紹介します
インストールできない..P.112
アプリケーションが起動しない..P.113
アプリケーションが止まってしまった..P.113

9 その他の「こんなときは・・・」 p.114
その他のトラブルシューティングを紹介します

索　引 p.115

操作の表記について

次々とメニューを選択していく動作を本書では「→」を使って省略している箇所があります。
例えば、左画面のように、スタートボタンから電卓までを選ぶ動作を、

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[電卓]

と表記しています。

何かのキーを押しながら、他のキーを押す動作を本書では「+」を使って省略しています。
例えば、左図のように、SHIFT キーを押しながら、DELETE キーを押す動作を、

と表記しています。

また、キーボード上の絵は、次のように簡略化して表現しています。

キー表記とキーボードの対応表

本書の表記	実際のキー
Esc	Esc
Tab	Tab
Ctrl	Ctrl
Shift	Shift
Alt	Alt
Space	
Enter	Enter

本書の表記	実際のキー
BackSpace	Back Space
Insert	Insert
Delete	Delete
Home	Home
End	End
↑ ↓ ← →	↑ ↓ ← →
PageUp	Page Up

本書の表記	実際のキー
PageDown	Page Down
F 1 F 2 •••	F1 F2 •••
変換	前候補 変換 (次候補) 全候補
半角/全角	半角/全角
NumLk	Num Lock

Step 1

Windows Me の基本操作

アプリケーションを起動したり、パソコン(ハードディスク)の中を見たりするときは、デスクトップから操作します。デスクトップの操作は、机の上のメモや電卓を使ったり、書類ファイルを開いたりする操作に似ています。
ここでは、いくつかの基本的な操作について説明します。ここで取り上げなかったアプリケーションも、基本操作は同じです。

1 デスクトップ画面について ･････････････8
2 スタートからはじめよう･････････････10
電卓を起動する ･････････････････10
電卓を使ってみる ･･･････････････12
電卓を終了する ･････････････････13
3 マイコンピュータの使いかた･････････14
マイコンピュータを開く ･････････14
マイコンピュータの中は･･･？･････15
4 ドライブを開いてみる･･･････････････16
C:ドライブを開く ･･･････････････16
C:ドライブを閉じる ･････････････19
5 エクスプローラの使いかた･･･････････20
エクスプローラを起動する ･･･････20
画面の左側は･･･？･･･････････････21
画面の右側は･･･？･･･････････････22
エクスプローラを終了する ･･･････23
6 ヘルプの使いかた･･･････････････････24
Windows Me のヘルプを見る････24

1 デスクトップ画面について

**Windows Meが起動して、ディスプレイに表示される画面を「デスクトップ」といいます。
デスクトップに、どのようなアイコンがあるかを見てみましょう。**

マイ ドキュメント
あなたが作成したファイルを保存するフォルダです。
この中にさらにフォルダを作ることもできます。

マイコンピュータ
このパソコンで使用できるドライブの中身を見たり、いろいろな機能を設定するためのアイコンが入っています。
☞「マイコンピュータの使いかた」14ページ

ごみ箱
必要のなくなったファイルやフォルダを完全に消去してしまう前に一時的に入れておきます。
☞「ファイルを削除する」52ページ

マイ ドキュメント
Windows Media Player
マイ コンピュータ
インターネットに接続
マイ ネットワーク
インタラクティブ トレーニング
ごみ箱
Internet Explorer
MSN
オンライン サービス
ブリーフケース
Outlook Express
スタート

スタートボタン
このボタンからアプリケーションを起動したり、Windows Meを終了させることができます。
☞「スタートからはじめよう」10ページ

クイック起動アイコン
インターネットに関するアプリケーションなどを起動するためのアイコンです。

タスクバー
起動しているアプリケーションがボタンで表示されます。

タスクトレイ
日本語入力の設定、画面の設定、音量の設定などの設定を行なうアイコンです。時間も表示されます。

デスクトップ上のその他のアイコンについて

少し勉強

Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）

インターネットホームページを見るためのソフトウェアです。使い方については、「インターネット&メール入門」で詳しく説明しています。

MSN Internet Acsess接続（マイクロソフトネットワーク インターネットアクセス）

MicrosoftNetworkに接続します。

オンラインサービス

各プロバイダへ接続するためのアイコンが入っています。
操作方法については「インターネット&メール入門」で説明しています。

Outlook Express（アウトルック エクスプレス）

電子メールを扱うソフトウェアです。操作方法については「インターネット&メール入門」で詳しく説明しています。

インターネットに接続

インターネットに接続するために、プロバイダと契約します。契約方法については「インターネット&メール入門」で詳しく説明しています。

インタラクティブトレーニング

Windows Meの基本的な使い方を、手順を追って説明します。

2 からはじめよう

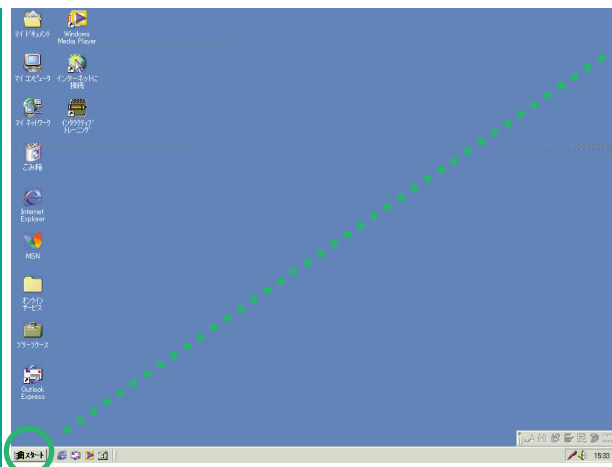
スタートメニューに登録されているアプリケーションを起動する方法と、終了する方法を「電卓」を使って説明します。

電卓を起動する

「電卓」は、スタートボタンからメニューをたどって起動します。
[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[電卓]の順にメニューを選択します。

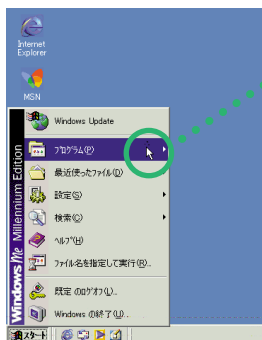
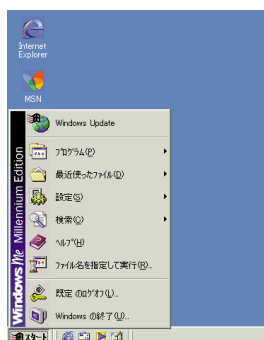
step 1

Windows Me の基本操作

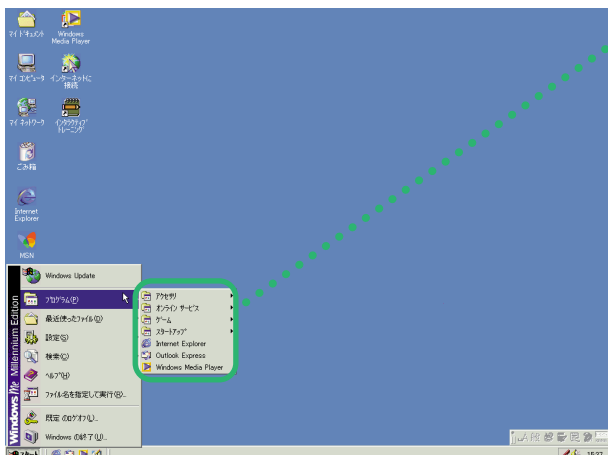
1

[スタート]ボタンにポインタ( )を合わせて、マウスの左ボタンをクリックします。

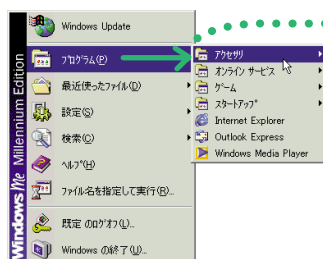
クリック
用語
マウスの左ボタンを１度「カチッ」と押してはなすことをいいます。

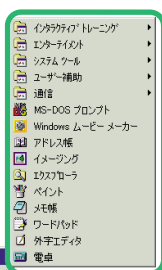
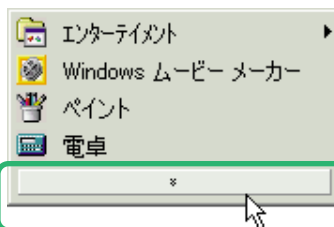
【スタートメニュー】が表示されます。

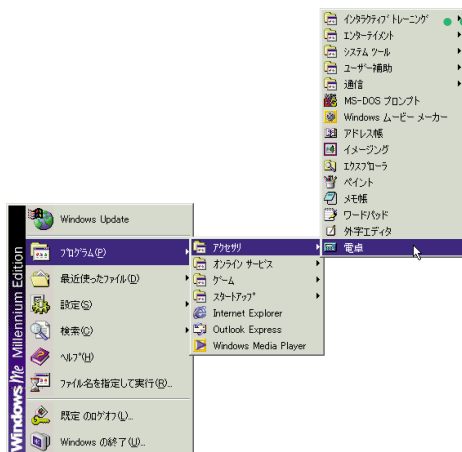
2

ポインタを移動させて[プログラム]をポイントします。

ポイント
用語
ボタンやアイコンなどにマウスのポインタを合わせることを「ポイントする」といいます(クリックは必要ありません)。

ポイントすると、[プログラム]の項目が反転表示されます。そのまま少し待つと…

[プログラム]の内容が表示されます。

3

ポインタを右へ移動させて、[アクセサリ]をポイントします。

右へ移動させるときに、[プログラム]の反転表示している部分からポインタの先端がはみ出すと、[Windows Update]や[最近使ったファイル]の内容が表示されます。
左図のように、ポインタを移動させて、[アクセサリ]をポイントしてください。

[アクセサリ]の内容が表示されます。

メニューにこのような項目が表示される場合があります。
ここをクリックすると、隠れている項目が表示されます。

4

さらにポインタを移動させて、[電卓]をクリックします。

手順 3 と同じように操作して[電卓]をポイントします。「電卓」が反転表示されたらマウスのボタンをクリックしてください。

[電卓] が起動します。

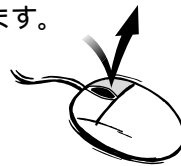
電卓を使ってみる

ボタンがちょっと違うだけで、普通の電卓と機能はほとんど同じです。ここは説明なしで、さっそく計算してみましょう。

1024×16÷24＝を計算してみてください。

数字は、簡単にクリックできたと思います。でも「×」や「÷」はどこでしょう？
「×」は「＊」、「÷」は「/」を使います。

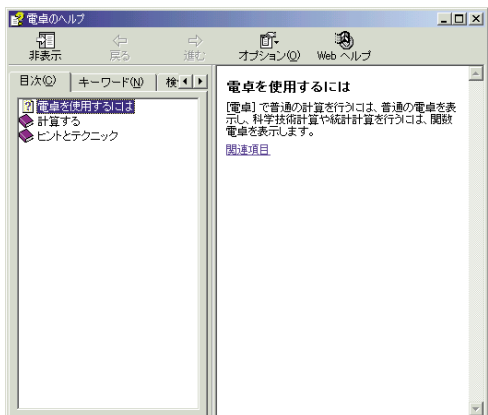
また、各ボタンは、キーボードにも対応しています。電卓のボタンをポイントして右クリックすると、が表示されます。ヘルプ(W)をクリック（左・右どちらでも可能）すると、対応するキーボードのキーが表示されます。

右クリック
ABC 用語
マウスの右ボタンを1度「カチッ」と押してはなすことをいいます。

■詳しい説明を知りたいときは・・・

ここでは誌面の都合上、電卓の詳しい使いかたについては説明していません。詳細は、電卓のヘルプをご覧ください。

1

[ヘルプ]をクリックし、メニューの中の[トピックの検索]をクリックします。

2

電卓のヘルプが表示されます。

ヘルプの使いかたについては、このマニュアルの「ヘルプの使いかた(☞24ページ)」を参照してください。

電卓を終了する

いろいろな計算を試してみましたか？キリの良いところで、そろそろ電卓を終了しましょう。

1

☒ボタンをクリックします。

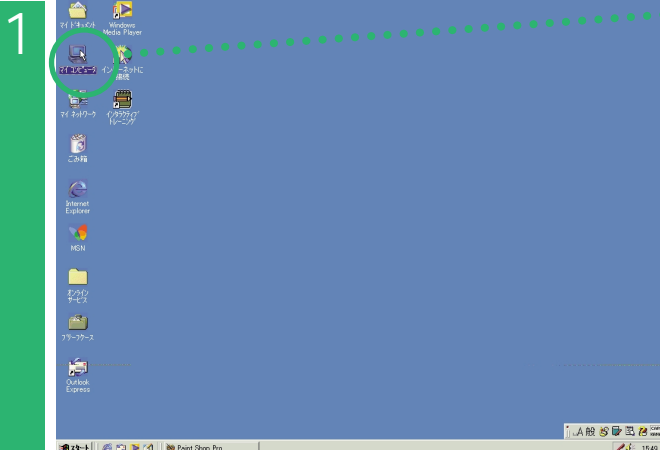
電卓が閉じます。

3 マイコンピュータの使いかた

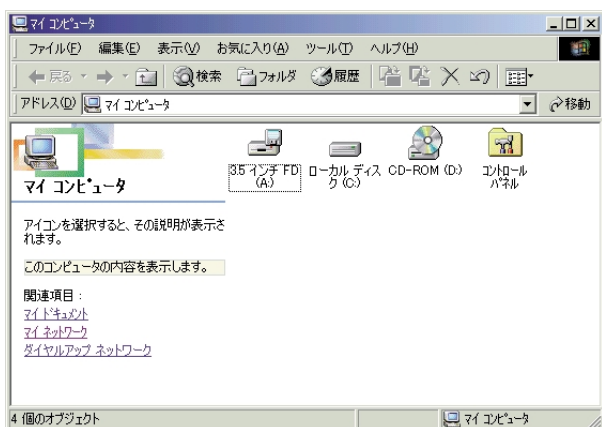
デスクトップにある[マイコンピュータ]の中には、このパソコンが搭載しているハードディスクやフロッピーディスク、CD-ROM ドライブなどのアイコンや、パソコンの機能を設定するためのアイコンが入っています。

マイコンピュータを開く

マイコンピュータを開いて、中の様子を見てみましょう。

1

デスクトップ左上の[マイコンピュータ]をポイントして、マウスの左ボタンをダブルクリックします。

ダブルクリック

マウスの左ボタンを素早く 2 度「カチカチッ」と押して、離すことをいいます。

【マイコンピュータ】ウィンドウが開きます。

ウィンドウには、タイトルバーとメニューバー、ツールバーがついています。今は名前と位置だけ覚えておいてください。

タイトルバー

このウィンドウの名前が表示されます。右端には、ウィンドウのサイズを変えたり、ウィンドウを閉じたりするボタンがあります。☞47 ページ

メニューバー

[ファイル]～[ヘルプ]までの文字の部分をクリックすると、それぞれに分類されている機能のメニューが表示されます。

ツールバー

メニューバーの機能の中で、よく使う機能をアイコン化したボタンが並んでいます。クリックすると、その機能を使うことができます。

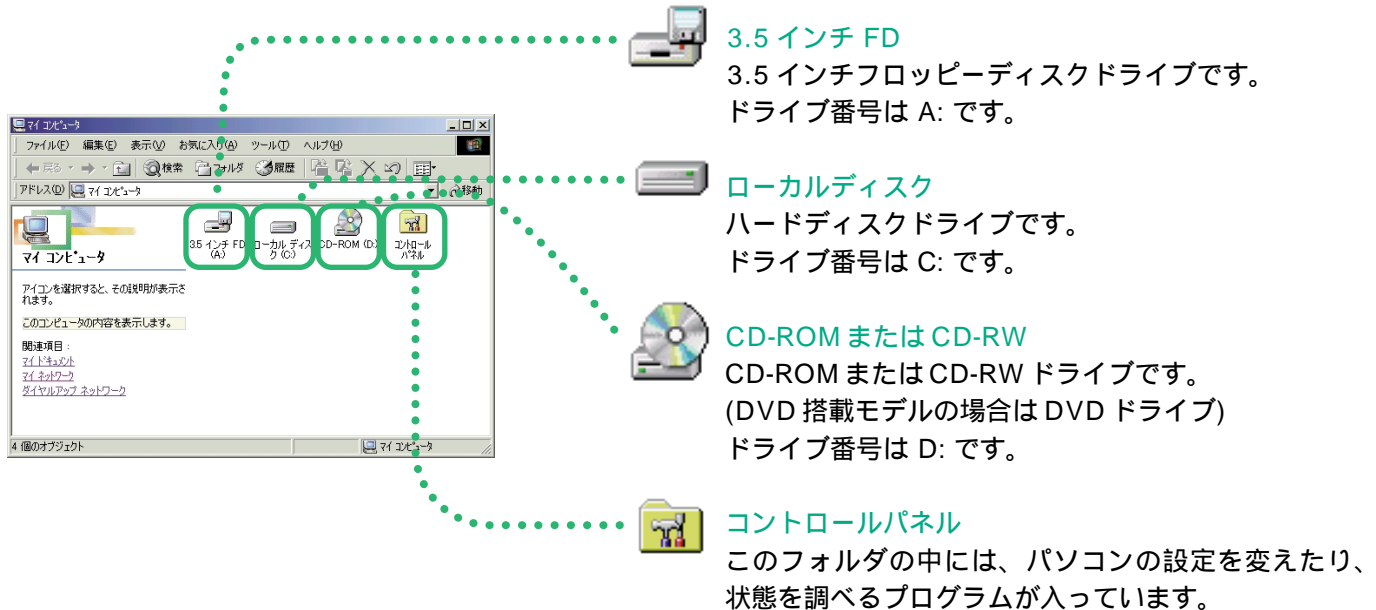
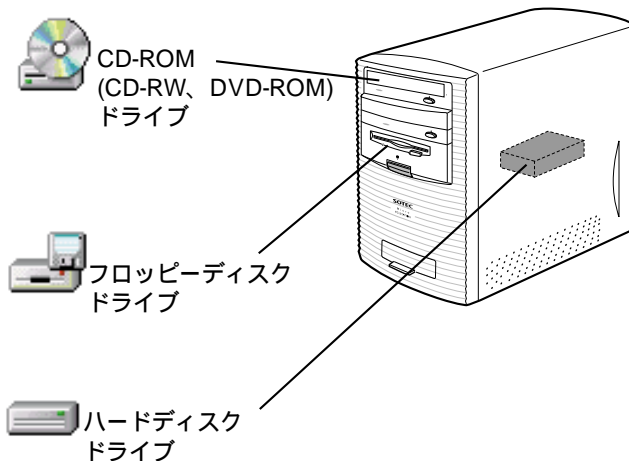
マイコンピュータの中は･･･？

【マイコンピュータ】のウィンドウにあるアイコンについて説明します。

3.5 インチ FD
3.5 インチフロッピーディスクドライブです。
ドライブ番号は A: です。

ローカルディスク
ハードディスクドライブです。
ドライブ番号は C: です。

CD-ROM または CD-RW
CD-ROM または CD-RW ドライブです。
(DVD 搭載モデルの場合は DVD ドライブ)
ドライブ番号は D: です。

コントロールパネル
このフォルダの中には、パソコンの設定を変えたり、状態を調べるプログラムが入っています。

パソコンで説明すると次のようになります。

(パソコンはSOTEC PC STATION　M300
シリーズを例に説明しています)

ディスクとドライブの違いは？

ディスクは、プログラムやデータを記録するための媒体で、フロッピーディスク、CD-ROM、CD-RW、DVD-ROM などがあります。
ドライブは、ディスクに記録された内容を読み出したり、逆にディスクに書き込んだりするための装置を指します。このパソコンは、フロッピーディスクドライブとハードディスクドライブ、CD-ROM ドライブ(DVD 搭載モデルは DVD-ROM ドライブ)を搭載しています。

4 ドライブを開いてみる

ドライブに記録されているファイル(フォルダ)を見てみましょう。ここでは、C:ドライブの中を見る方法について説明します。

C:ドライブを開く

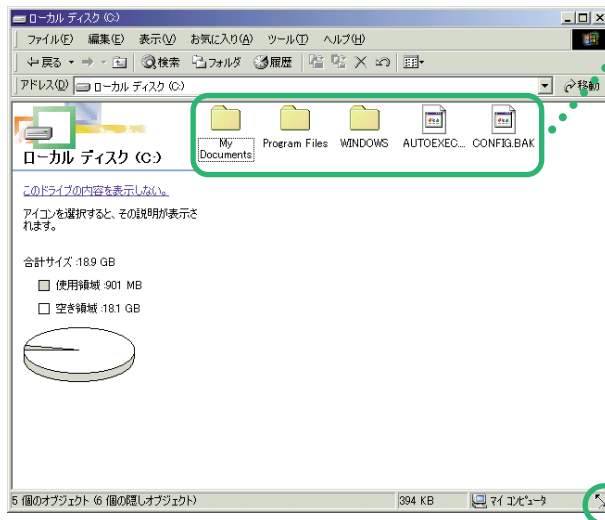
C: ドライブの中には何が保存されているか見てみましょう。

1

[ローカルディスク(C:)]をクリックします。

ここに、 C: ドライブの情報が表示されます。
開く前に、ある程度の情報を見ることができます。

今度は、実際に開いてみましょう。

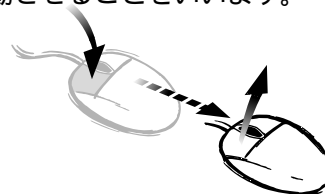
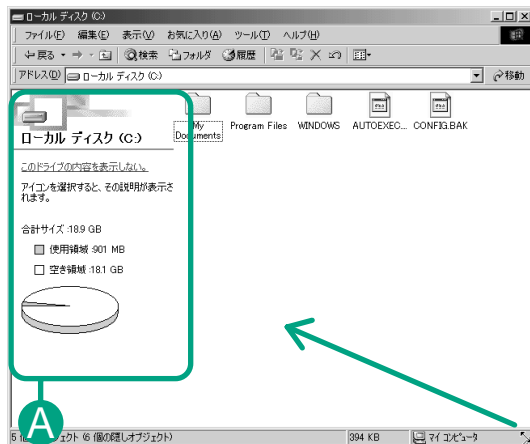
2

[ローカルディスク(C:)]をダブルクリックします。

C: ドライブに保存されているファイルやフォルダのアイコンが表示されます。
ドライブの中に、ファイルやフォルダのアイコンが表示されない場合、「ドライブの中に何も表示されない場合(☞18 ページ)」を参照してください。

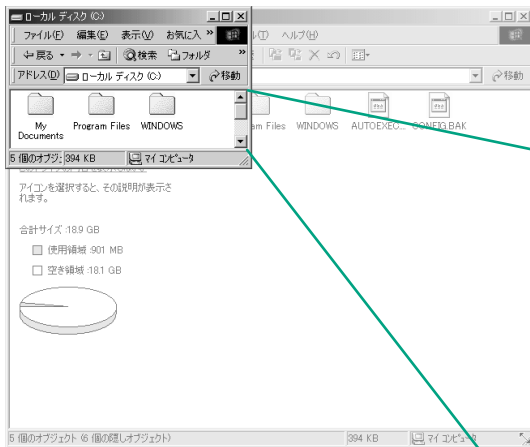
このようにドライブアイコンをダブルクリックすることを「ドライブを開く」といいます。

ウィンドウのサイズを変更するときは・・・
ここをポイントして、ポインタの形が から に変わったら、ドラッグしてウィンドウの大きさを調節します。

ABC 用語

ドラッグ
マウスのボタンを押したまま、ポインタを移動させることをいいます。

試しに、ドラッグして小さくしてみてください。

ウィンドウが小さいときは情報(Aの部分)の表示が変わります(表示が省略されます)。
また、ウィンドウが小さくなってすべてのアイコンを表示しきれなくなると、スクロールバーが現れます。

下方にスクロールしたウィンドウ

スクロールバー

ここをクリックするとウィンドウ内の表示がスクロールします。つまり、上に隠れているアイコンが見えるようになります。プレスしている間はスクロールし続けます。

ここを上下にドラッグすると、ウィンドウの中もスクロールします。上にドラッグすると表示は下に、下にドラッグすると表示は上にスクロールします(文章ではややこしそうですが、実際にドラッグしてみてください。すぐに理解できるでしょう)。

ここをクリックするとウィンドウ内の表示が上にスクロールします。つまり、下に隠れているアイコンが見えるようになります。プレスしている間はスクロールし続けます。

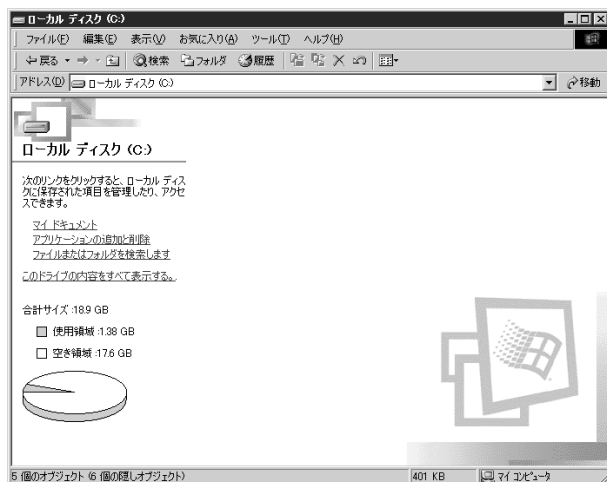
ABC 用語

プレス

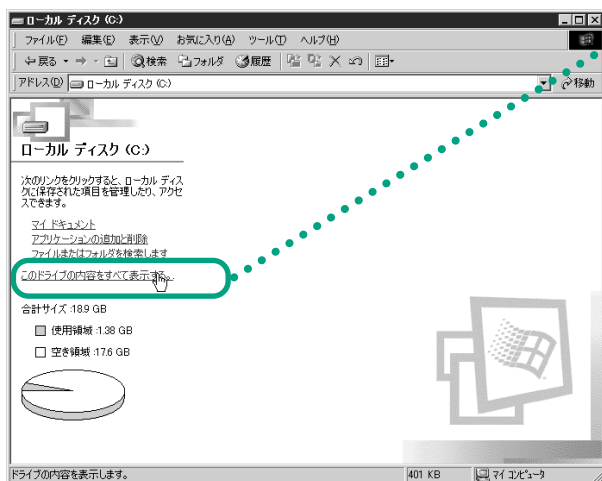
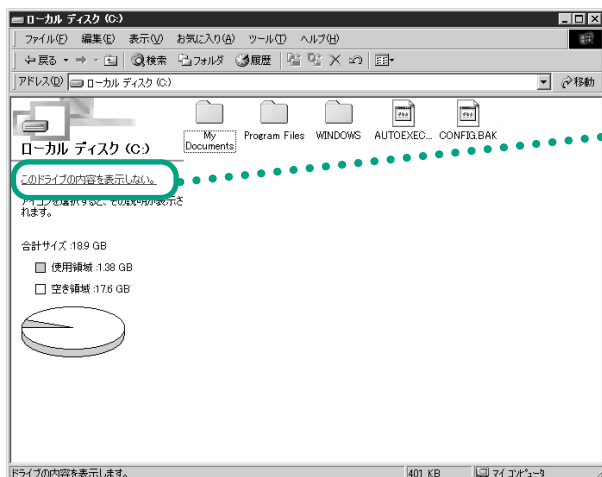
マウスのボタンを押したままにすることをいいます。

■ドライブの中に何も表示されない場合

マイコンピュータで、ローカルディスク(C:)を開いたときに、何も表示されない場合があります。
これは大事なファイルを間違って消さないよう、ファイルやフォルダを表示しないように設定されているためです。
ドライブの中身が空っぽに見えるだけで、実際にはファイルやフォルダは存在しています。
ここではドライブの中身を表示する方法を勉強してみましょう。

1

マイコンピュータで、ローカルディスク(C:)を開きます。

ドライブの中には何も表示されていません。

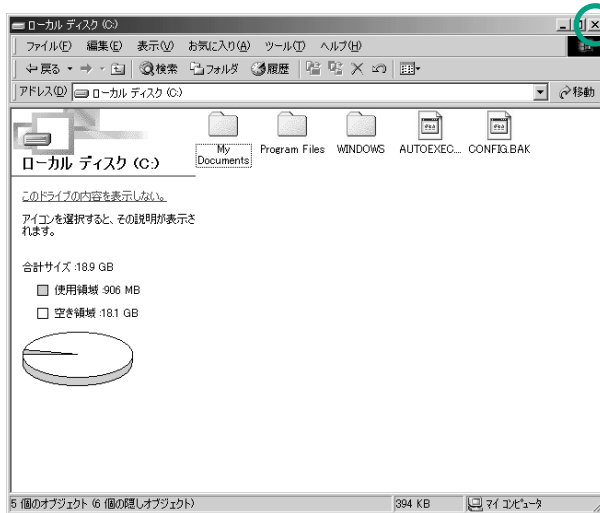
2

画面左にある[このドライブの内容をすべて表示する]をクリックします。

ローカルディスク(C:)に入っている、ファイルやフォルダが表示されました。

ドライブの中身を表示したくない場合は、画面左の[このドライブの内容を表示しない]をクリックします。

C:ドライブを閉じる

開いたウィンドウを閉じるには、いくつか方法があります。
ここでは、閉じるボタンとメニューバーから閉じる方法について説明します。

■閉じるボタンを使う方法

1

[×](閉じる)ボタンをクリックします。

すぐに、ウィンドウが閉じます。

■メニューバーから閉じる方法

1

メニューバーの[ファイル]をクリックします。

メニューが表示されます。

メニューの[閉じる]をクリックします。

すぐに、ウィンドウが閉じます。

step 1 Windows Me の基本操作

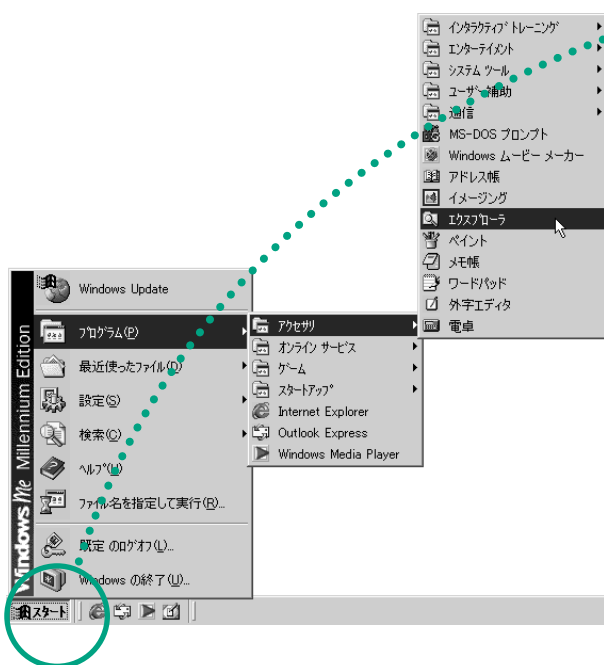
5 エクスプローラの使いかた

エクスプローラを使えば、デスクトップからマイコンピュータを開いてドライブやフォルダを見るよりも、全体を捉えやすくなります。

エクスプローラを起動する

エクスプローラを起動します。

step 1 Windows Me の基本操作

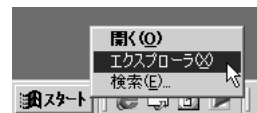
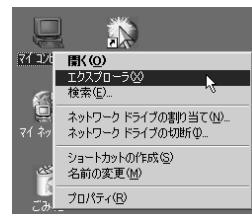
1

[スタート]ボタンをクリックします。

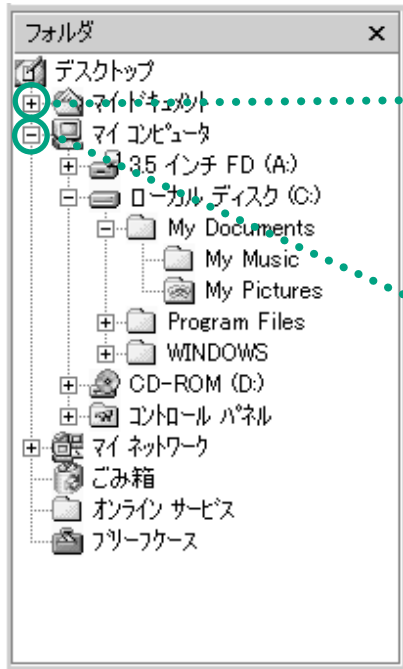
[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]にポインタを合わせて、クリックします。

[エクスプローラ] が起動します。

アドバイス

その他の起動方法

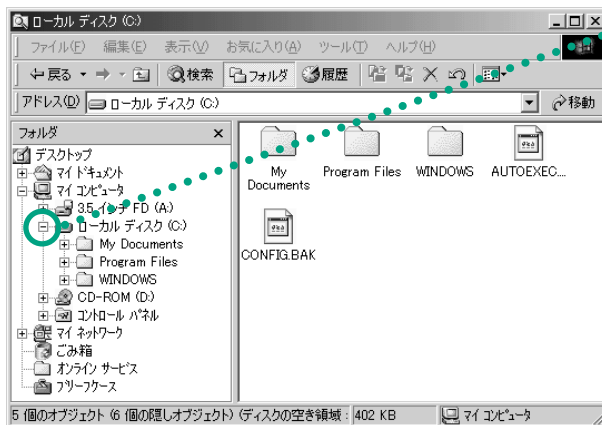
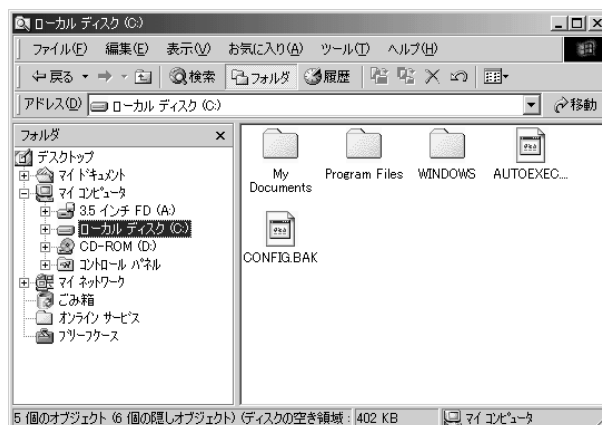
●スタートボタンを右クリックすると、メニューが表示されるので、その中の[エクスプローラ]にポインタを合わせて、クリックします。

●[マイコンピュータ]を右クリックすると、メニューが表示されるので、その中の[エクスプローラ]にポインタを合わせて、クリックします。

画面の左側は･･･?

【エクスプローラ】ウィンドウの左側はフォルダの階層を表示しています。

フォルダアイコンの左の[+][−]について説明します。

[+]このマークがついているドライブやフォルダは、「その中にさらにフォルダが含まれて(階層化されて)いるが表示していない」ということを示しています。
[+]をクリックすると、階層化したフォルダが表示されます。もうそれ以上フォルダが含まれていないときは、マークは付きません。

[−]このマークがついているドライブやフォルダの中は、すでに階層表示されていることを示しています。
[−]をクリックすると、階層化したフォルダが閉じて、[−]が[+]に変わります。

階層化されているフォルダを非表示にしてみましょう

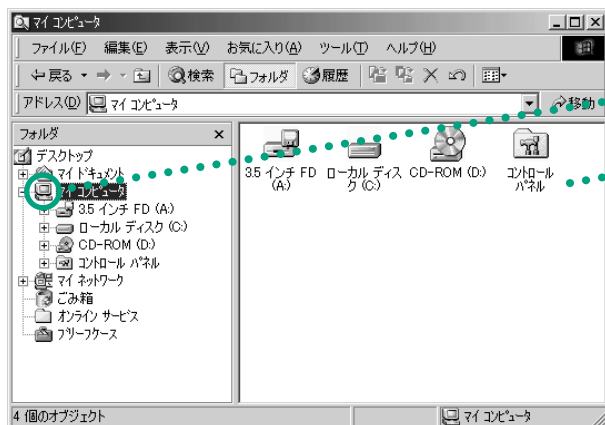
1

ここをクリックします。

C:ドライブに階層化されていたフォルダが、表示されなくなりました。

5 エクスプローラの使いかた

画面の右側は・・・？

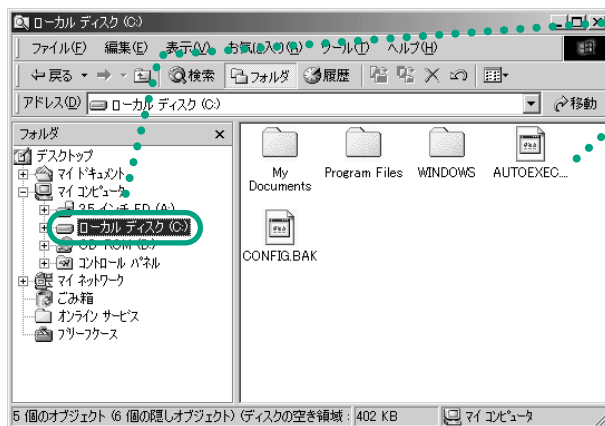
ウィンドウの左側でフォルダを選択すると、右側にそのフォルダの内容が表示されます。

1

マイコンピュータの中を見てみましょう。

[マイコンピュータ]をクリックします。

画面の右側にマイコンピュータの中にあるドライブやフォルダが表示されます

もう一度[ローカルディスク(C:)]の中を見てみましょう。

2

[ローカルディスク(C:)]をクリックします。

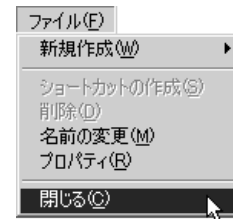
ローカルディスク C:ドライブの内容が表示されます。

画面の左側で選択したドライブやフォルダの内容が画面右側に表示されます。
このように、エクスプローラを使えば、デスクトップからマイコンピュータを開いてドライブやフォルダを見るよりも、全体を捉えやすくなります。

エクスプローラを終了する

エクスプローラも他のウィンドウと同じように、［閉じる］ボタンをクリックして終了します。

1

(閉じる)ボタンをクリックします。

6 ヘルプの使いかた

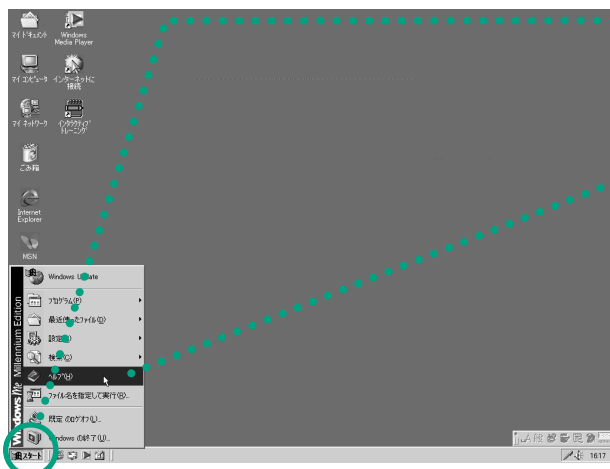
**操作がわからなくなったときには、ヘルプ機能を使うと便利です。
ヘルプとはWindows Meの操作方法を画面上で確認できる機能です。**

Windows Meのヘルプを見る

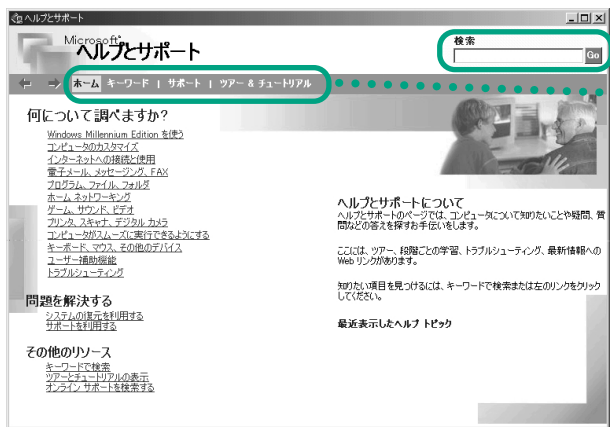
「Windowsのヘルプ」は、[スタート]ボタンから起動します。

step 1

Windows Meの基本操作

1

[スタート]ボタンをクリックします。

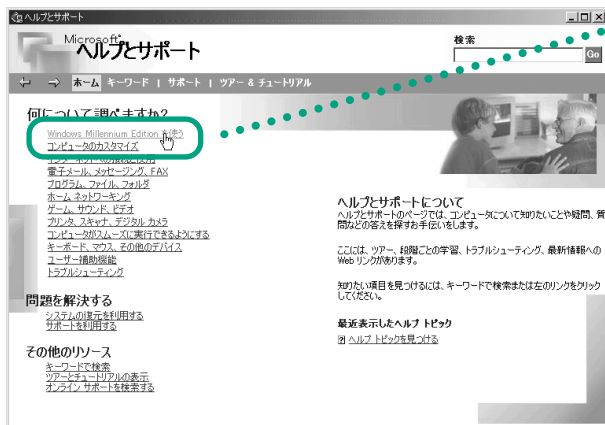
スタートメニューが表示されます。

スタートメニューの中の[ヘルプ]をクリックします。

【ヘルプとサポート】ウインドウが表示されます。

調べたい内容や話題は、「ホーム」「キーワード」「サポート」「ツアー＆チュートリアル」「検索」から探し出します。

アプリケーションごとのヘルプは？
アプリケーションのヘルプは、そのアプリケーションのウィンドウにあるメニューバーの[ヘルプ]をクリックすると起動します。

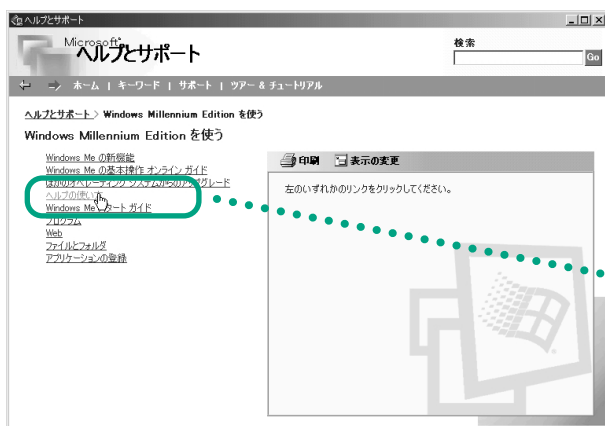
■ホームからトピックを開く

1

リンクをクリックします。

画面の左側にあるリンクから、調べたいリンクをクリックします。
ここでは例として「Windows Millennium（ミレニアム） Edition（エディション）を使う」をクリックします。

少し勉強

ここでは、「リンク」とは画面左側に表示されている項目を指します。

2

手順１で選択した「Windows Millennium Edition を使う」から、さらに詳しいリンクが表示されます。

このように、リンクの中に、さらに詳しいリンクがある場合もあります。

リンクをクリックします。

ここでは「ヘルプの使い方」をクリックします。

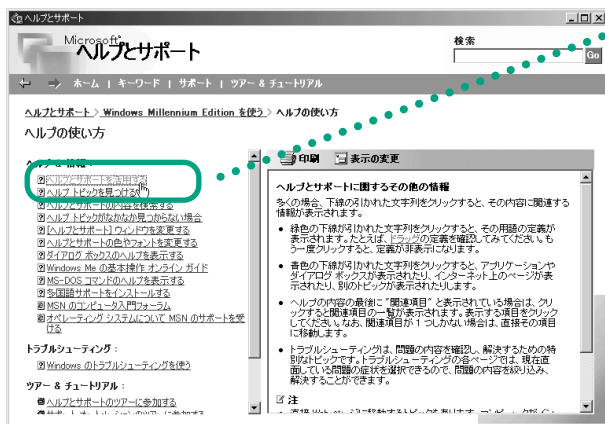
手順 2 で選択した「ヘルプの使い方」の、さらに詳しいリンクが表示されましたが、そのリンクの前に三種類のアイコンが表示されているのにお気づきでしょうか？これらのアイコンには、それぞれ次の意味があります

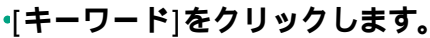
：[Windows Millennium Edition ツアー]を起動して、操作の説明をチュートリアル式に説明します。

：トピックの内容を【ヘルプとサポート】ウィンドウの右側に表示します。

：インターネットに接続し、インターネット経由で操作の説明が表示されます。

を利用するには、インターネットに接続できる環境にしておく必要があります。

3

目的の (トピック)をクリックする。

例えば、ここで「ヘルプとサポートを活用する」をクリックしてみましょう。
画面の右側に、「ヘルプとサポートを活用する」に対する詳細が表示されました。

■キーワードからトピックを探す

1

[キーワード]をクリックします。

画面左側の表示が、キーワード選択画面になります。

キーワードを入力します。

ここでは、大文字で D V D と入力してください。

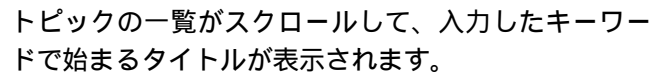
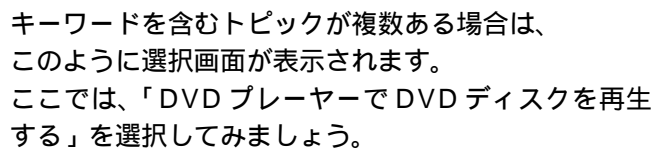
文字の入力については別冊の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

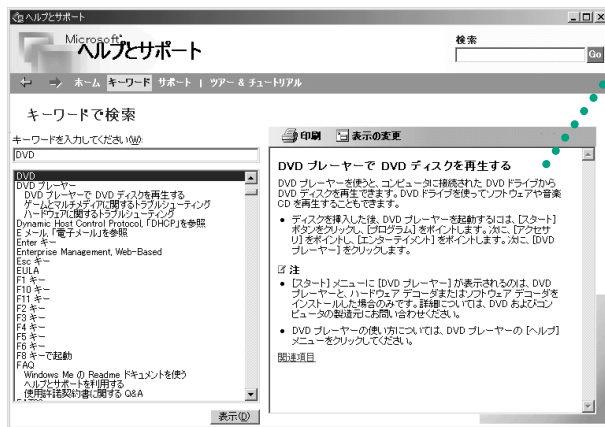
2

トピックの一覧がスクロールして、入力したキーワードで始まるタイトルが表示されます。

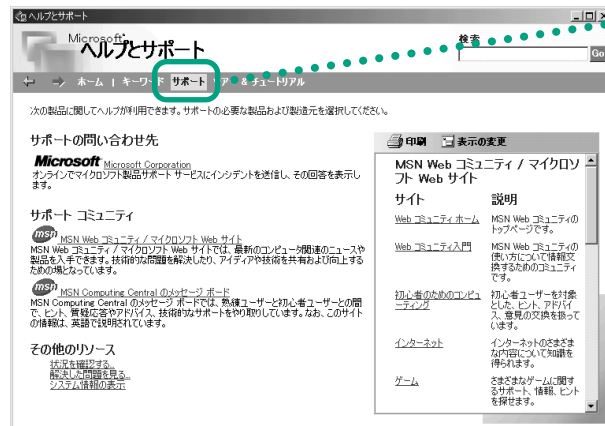
[表示]ボタンをクリックします。

3

キーワードを含むトピックが複数ある場合は、このように選択画面が表示されます。
ここでは、「DVD プレーヤーで DVD ディスクを再生する」を選択してみましょう。

トピックをクリックします。

[表示]ボタンをクリックします。

トピックの内容が、画面右側に表示されます。

■サポートから選ぶ

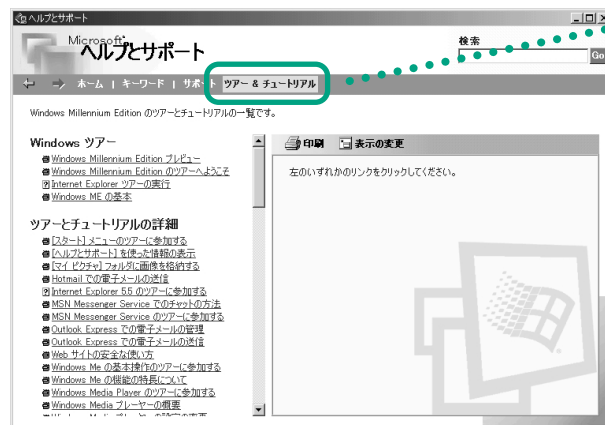
1

[サポート]をクリックします。

画面左側がサポート選択画面になります。

ここでは、インターネットを通じてリンクを調べます。サポート用の Web(ウェブ) サイトが紹介されているので、目的のサイトへ接続します。

この機能を利用するには、インターネットに接続できる環境にしておく必要があります。

■ツアー＆チュートリアルからトピックを探す

1

[ツアー＆チュートリアル]をクリックします。

画面左側がツアー＆チュートリアル選択画面になります。

ここではインタラクティブトレーニング(☞9 ページ)を利用して、リンクを調べます。

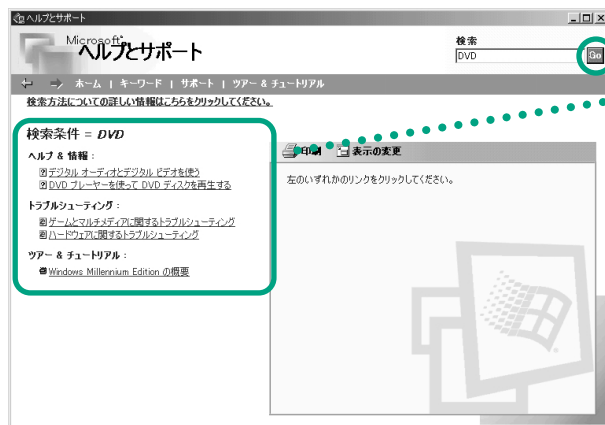
■検索を使ってトピックを探す

ヘルプ全体の中から、入力したキーワードを含むトピックを探し出すことができます。

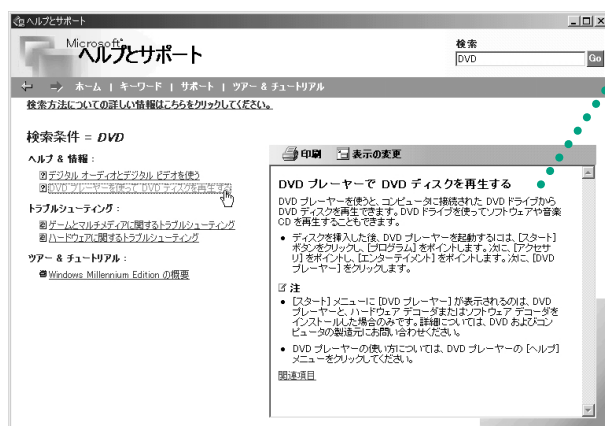
1

検索したいキーワードを入力します。

ここでは、大文字で D V D と入力してください。

2

[GO]ボタンをクリックします。

トピックの一覧が表示されます。

キーワードを含むトピックが複数ある場合は、このように選択画面が表示されます。
ここでは、「DVD プレーヤーを使って DVD ディスクを再生する」を選択してみましょう。

トピックの内容が、画面右側に表示されます。

Step2
ファイルの使いかた

文書やイラストを作るたびにファイルの数はどんどん増えていきます。
ここでは、簡単な文書ファイルを作って、それらを分類して、ハードディスクに整理しながら保存する方法について説明します。

1 ファイルを整理する……………………32
整理のしかた……………………32
2 新しいフォルダを作る………………34
新しいフォルダを作る……………34
フォルダをもうひとつ作る………35
3 フォルダにファイルを保存する………36
試しにメモ帳でファイルを作る…36
ファイルを保存する………………37
メモ帳を終了する…………………39
4 ファイルを移動・コピー・削除する…40
2つのフォルダを開く……………40
ファイルを移動する………………48
ファイルをコピーする……………49
ファイルを削除する………………52
5 ファイル（フォルダ）の名前を変える
…………………………………54
変更方法 その1…………………54
変更方法 その2…………………55
6 ショートカットアイコンを利用する…57
ショートカットアイコンとは？…57
ショートカットアイコンを作る…59
7 最近使ったファイルを利用する………62
［最近使ったファイル］を使ってみる
………………………………62
8 ファイルやフォルダを検索する………63
ファイルを検索する………………63
検索条件を保存するには…………64
9 フロッピーディスクを使う……………65
フロッピーディスクを使う前に…65
フロッピーディスクをフォーマットする
………………………………66
フロッピーディスクにファイルをコピーする
………………………………69
フロッピーディスクのファイルを開く
………………………………71
ファイルの大きさを見る…………73
フロッピーディスクを取り出す…74
ディスクへの書き込みを禁止する・75

1 ファイルを整理する

パソコンで作った文書やイラストのファイルは、1 つのフォルダに詰め込んだり、あちらこちらに分散しないよう、きちんと整理しましょう。

整理のしかた

文書やイラストのファイルはフォルダを使って整理します。
ここではファイルを文房具、フォルダを引き出しや棚などにたとえて説明します。

■ 1 箇所にまとめてしまうと…

ボールペンやサインペン、ハサミやペーパーナイフ、クリップやステープラーなど、全てを机の上に散らかしておくと、ほしいものを探すだけでたいへんです。しかも底の方になってしまった物は取り出しにくくなります。
だからといって、机の引出しや、棚に分類せずに放り込んでも、何をどこに入れたかすぐに忘れてしまいます。端から順に引出しをあけたり棚を探すのは、効率的な方法ではありません。

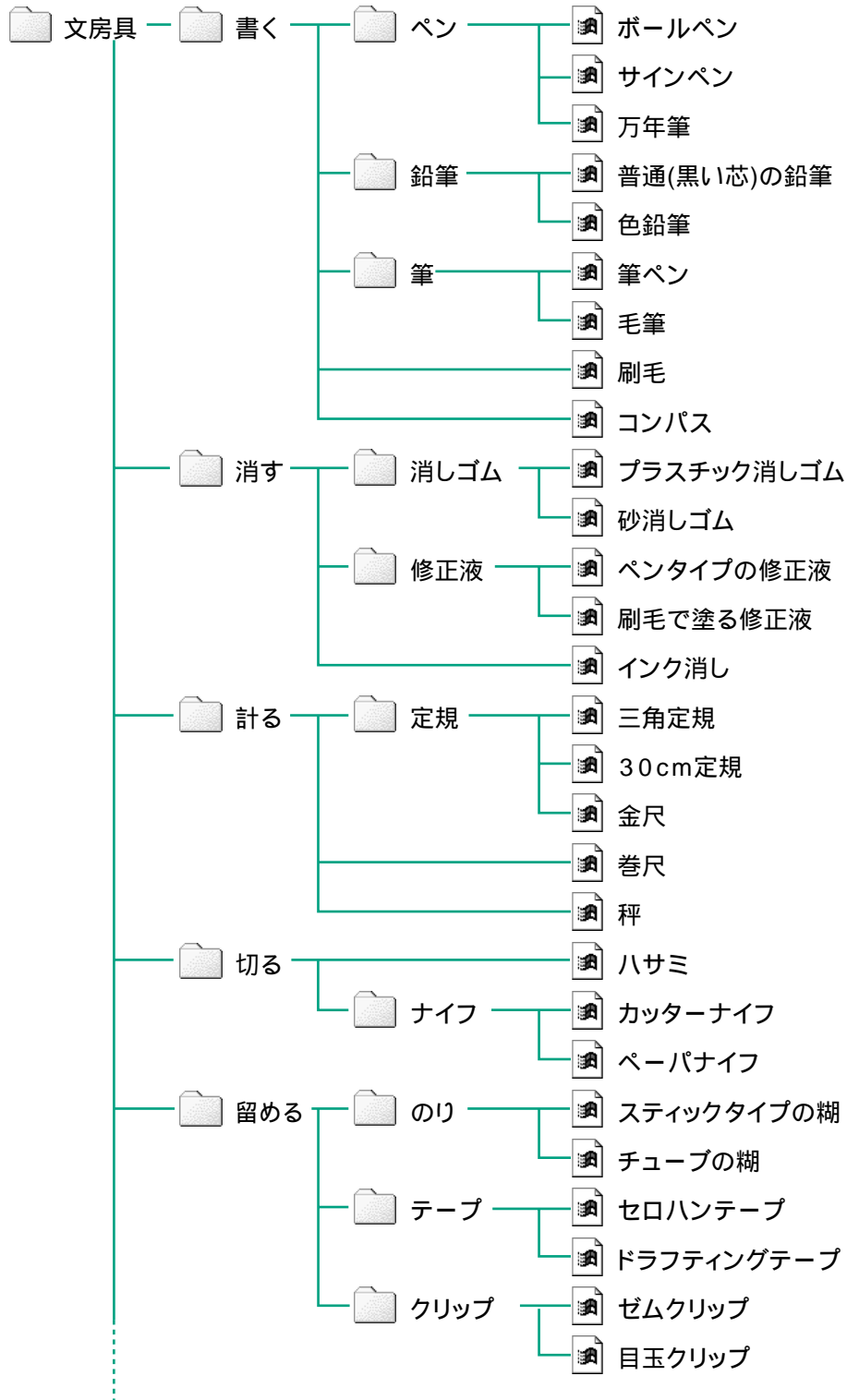
■分類して整理する

本は本立てに、ペンはペン立てに、よく使うハサミや定規は上の引き出しに、あまり使わない資料は下の引き出しに…と、ルールを決めて分類しましょう。さらに、引き出しに、中身がわかるラベルをつけておけば、ほしいものはすぐに見つかります(使った後、元に戻すのを忘れてはいけません)。

■ Windows Me の場合は…

文房具は全て「ファイル」に相当します。机の上は、「デスクトップ」です。デスクトップには最初の起動時から、「マイ ドキュメント」というフォルダがありますし、「ごみ箱」だってあります。机の引出しは、マイコンピュータの中の「ドライブ」に相当します。引出しの中には「フォルダ」を入れることができて、ファイルが分類しやすくなっています。

エクスプローラの左側の画面が階層表示になっていたのを覚えていますか？階層化という手法を使ってフォルダを作りファイルを分類してみましょう。

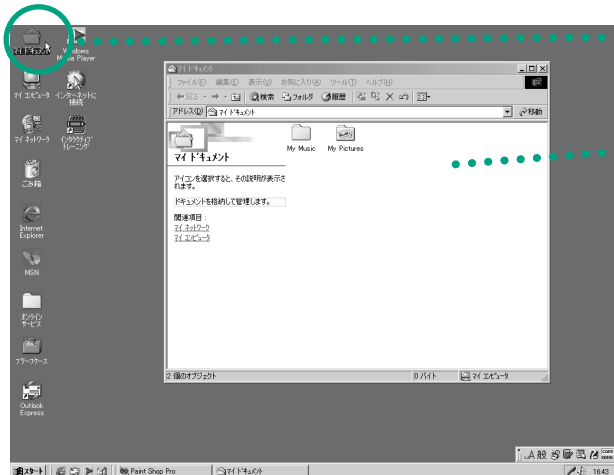
例えば、文房具をファイルとして機能別に分類すると、次のようになります。

どうですか、分類するとわかりやすいでしょう？

2 新しいフォルダを作る

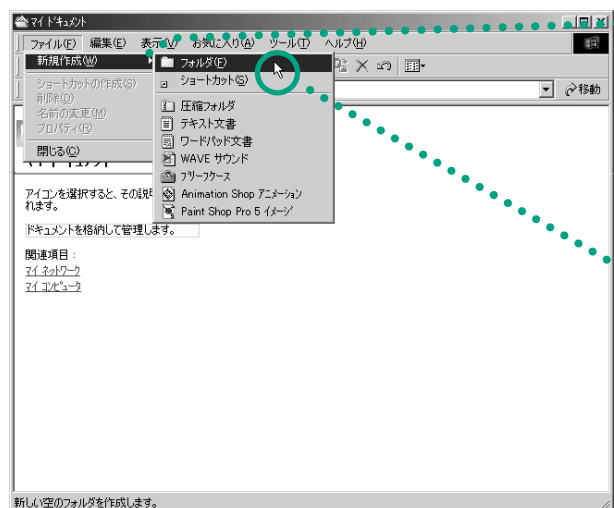
新しいフォルダを2つ作ってみましょう。

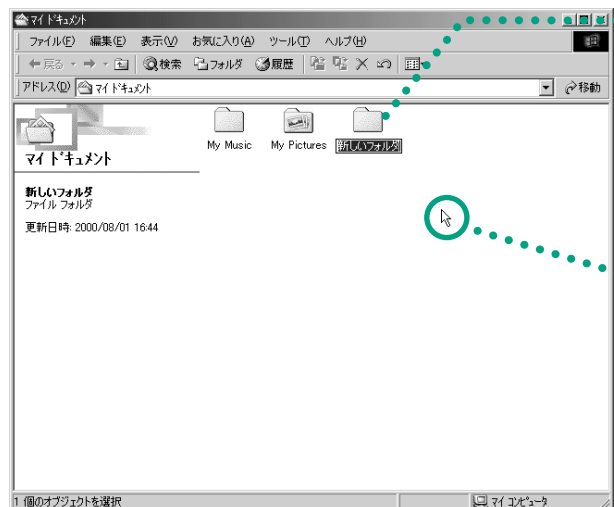
新しいフォルダを作る

新しいフォルダをデスクトップの[マイドキュメント]の中に作ってみましょう。

1

デスクトップの[マイドキュメント]をダブルクリックします。

[マイドキュメント]が開きます。

2

メニューバーの[ファイル]をクリックし、メニューの[新規作成]をポイントします。

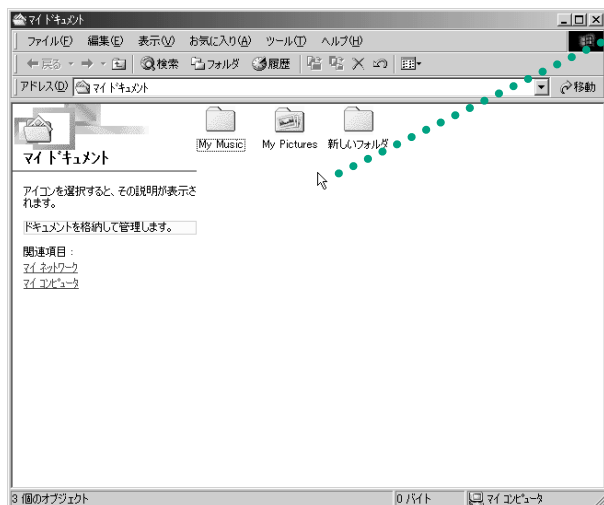
[フォルダ]をクリックします。

マイドキュメントの中に「新しいフォルダ」という名前のフォルダができます。

フォルダの名前が反転表示されている場合は、名前を変更することができる状態になっていることを示しています。今は、名前を「新しいフォルダ」のままにしておいてください。
「新しいフォルダ」から、すこしはなれた場所で左クリックすると、反転表示が解除されて、通常の表示に戻ります。

step 2 ファイルの使いかた

フォルダをもうひとつ作る

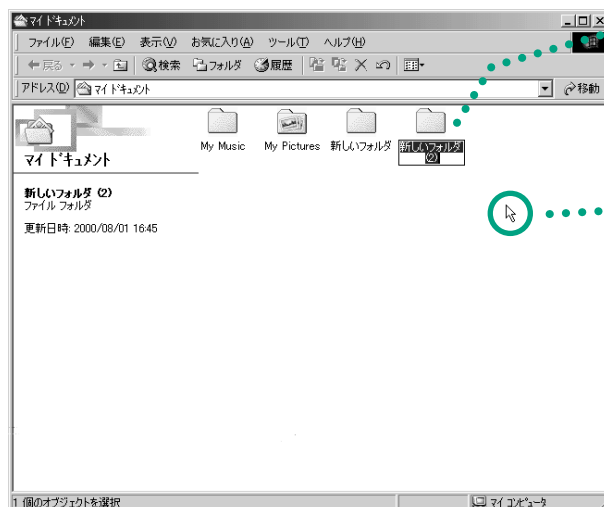
前ページで紹介した方法とは別に、右クリックで表示されるメニューからフォルダを作る方法を説明します。

1

[マイドキュメント]フォルダの中の空白部分にポインタを合わせて右クリックします。

メニューが表示されます。

2

[新規作成]をポイントします。

[フォルダ]をクリックします。

マイドキュメントの中に「新しいフォルダ(2)」という名前のフォルダができます。名前は「新しいフォルダ(2)」のままにしておいてください。

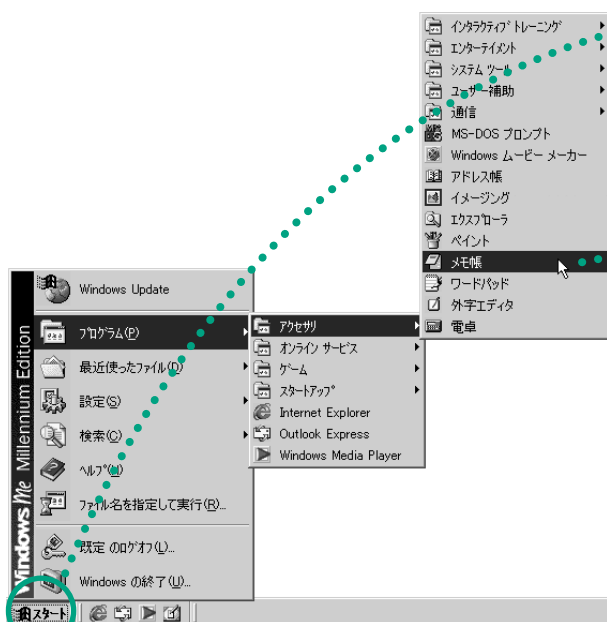
「新しいフォルダ(2)」から、すこしはなれた場所で左クリックすると、反転表示が解除されて、通常の表示に戻ります。

3 フォルダにファイルを保存する

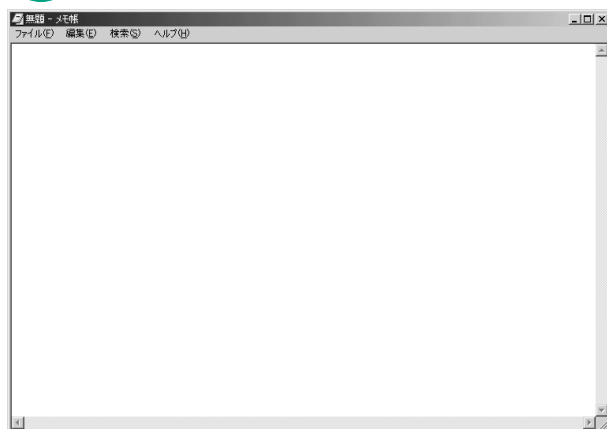
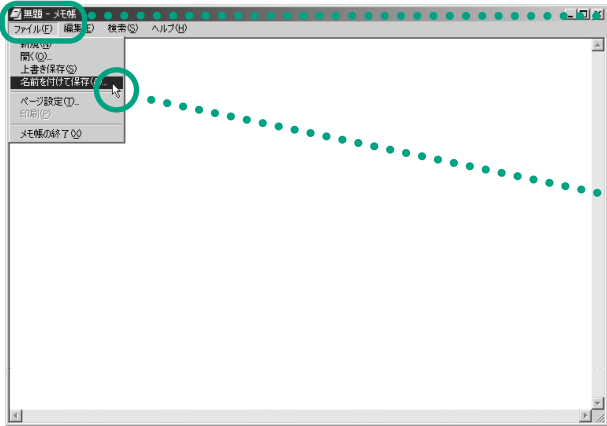
フォルダができたので、中に入れるファイルを作ってみましょう。

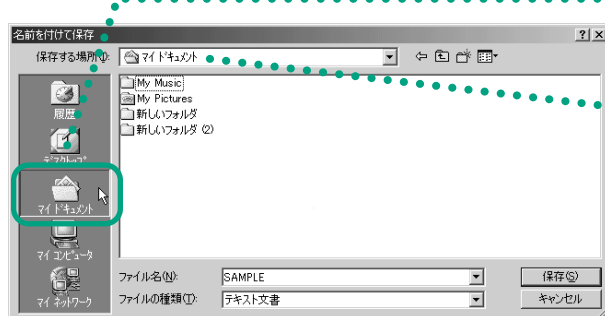
試しにメモ帳でファイルを作る

ここでは「メモ帳」を使って文書ファイルを作ってみましょう。

1

[スタート]ボタンをクリックします。

[プログラム]→[アクセサリ]とメニューをたどり、[メモ帳]をクリックします。

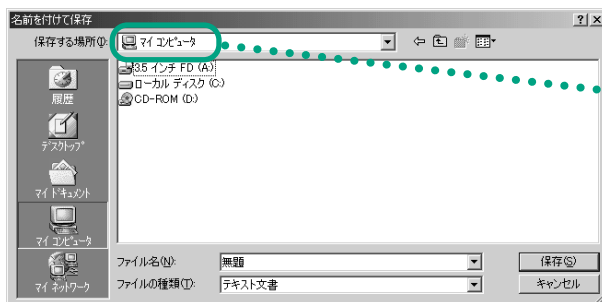
「メモ帳」が開きます。

何か文字を入力してみてください。
あなたの名前など、どんな文章でもかまいません。

文字の入力については、別冊の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

ファイルを保存する

前ページで作ったファイルを、「新しいフォルダ」に保存してみましょう。

1

メニューバーの[ファイル]をクリックします。

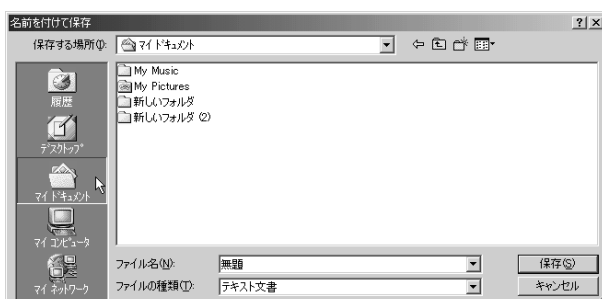
メニューが表示されます。

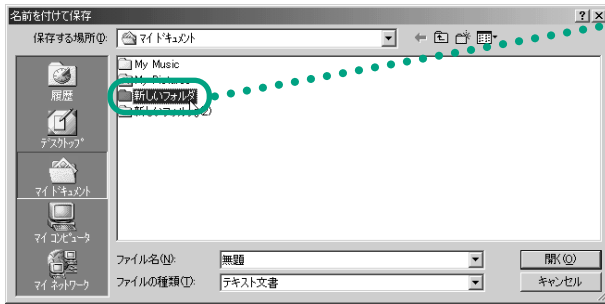
メニューの[名前を付けて保存]をクリックします。

【名前をつけて保存】ダイアログが表示されます。

「保存する場所」がすでに「マイドキュメント」になっている場合は、手順２を飛ばして次ページの手順３から続けてください。
保存先が「マイドキュメント」以外の場合は、次の手順２で「マイドキュメント」に移動してください。

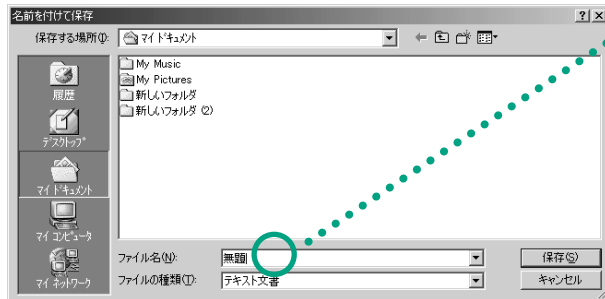
2

[マイドキュメント]をクリックします。

「保存する場所」が「マイドキュメント」に変わります。

「新しいフォルダを作る(☞34 ページ)」で作成した[新しいフォルダ]と[新しいフォルダ(2)]が入っています。

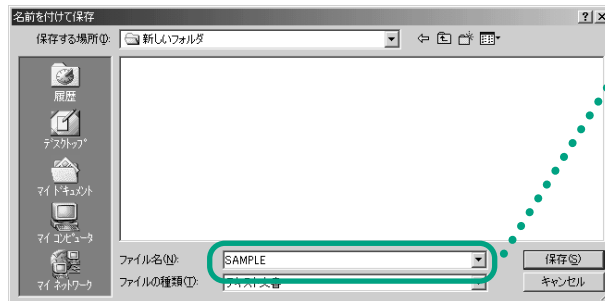
3

[新しいフォルダ]をダブルクリックします。

「保存する場所」が「新しいフォルダ」に変わります。

4

[ファイル名]の入力フィールドをクリックします。

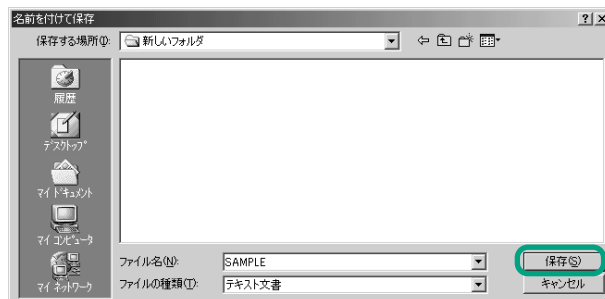
入力フィールドにポインタを合わせると、ポインタの形が から に変わります。これは、文字を入力するモードになったことを示しています。

ファイル名に、すでに「無題」と表示されている場合は、文字の後ろの空いているところをクリックして、BackSpace キーを押して、文字を消してください。

5

ファイル名を入力します。

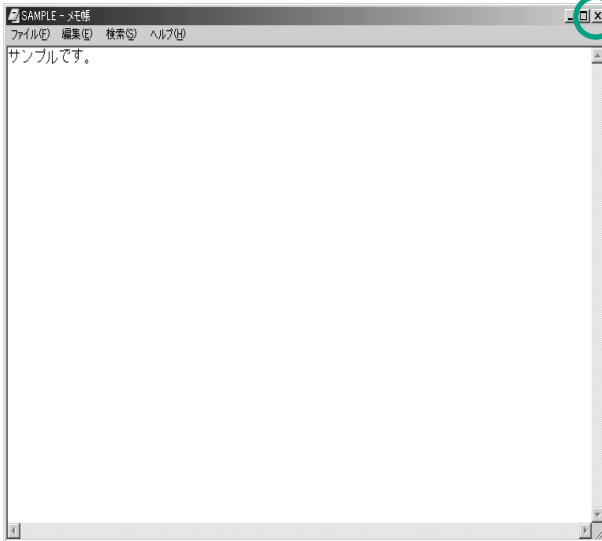
ファイル名は「SAMPLE」にしておきましょう。
キーボードから S A M P L E と入力します。

デスクトップ右下のインジケータに あ というアイコンがあるときは、文字入力モードが「ひらがな」になっています。この状態で S A M P L E とキーを押すと「さMPえ」や「さmpえ」と表示されたり、英字でも「SAMPLE」や「sample」のようにアンダーライン付きで(未変換として)表示されることがあります。
ここでは、インジケータの あ をクリックして表示されるメニューから[直接入力]を選択して、アイコンを A に変えてから再度入力してください。

6

[保存]ボタンをクリックします。

メモ帳を終了する

メモ帳を終了しましょう

1

タイトルバーの X ボタンをクリックします。

すぐに、メモ帳が閉じます。

保存後（「ファイルを保存する」の手順 7 の後)、内容をさらに書き加えたときや、変更したときは、【上書き保存】のダイアログがもう一度表示されます。

ファイルを保存した後に、ファイルの内容に変更があった場合、変更を保存して終了するか、保存しないで終了するか確認のために【上書き保存】ダイアログが表示されます

4 ファイルを移動・コピー・削除する

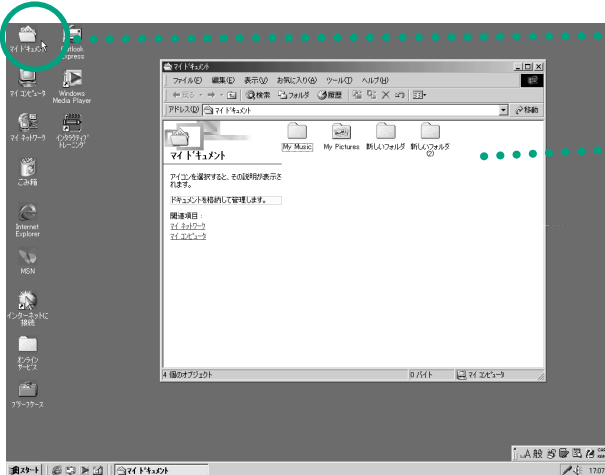
ファイルを、フォルダ間で移動したり、コピー(複写)や、削除する方法について説明します。

2 つのフォルダを開く

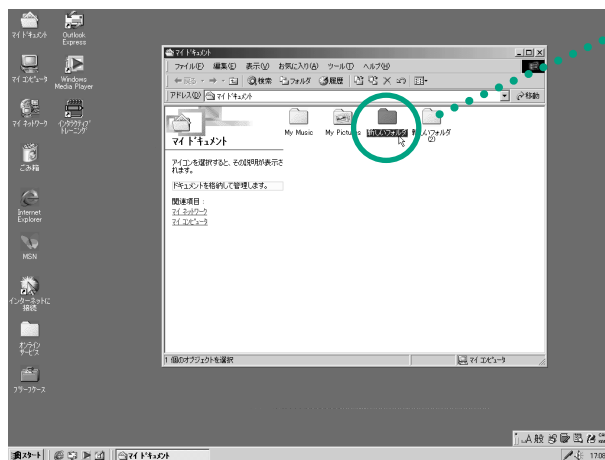
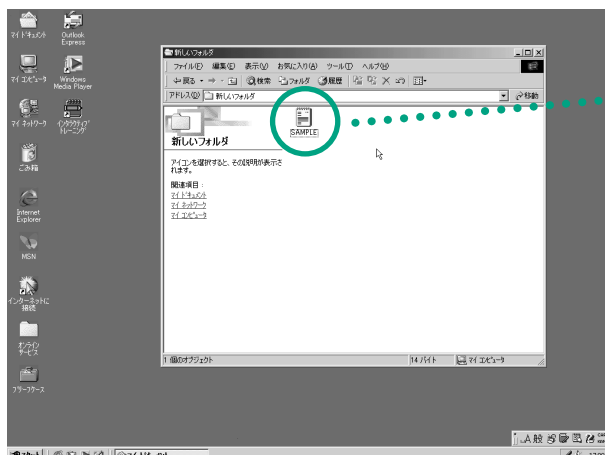
準備として、デスクトップに 2 つのフォルダを開いておきましょう。

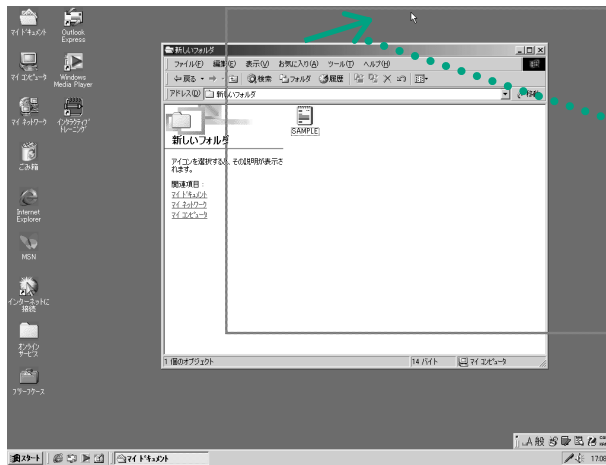
■[マイ ドキュメント]の中の[新しいフォルダ]を開く

1

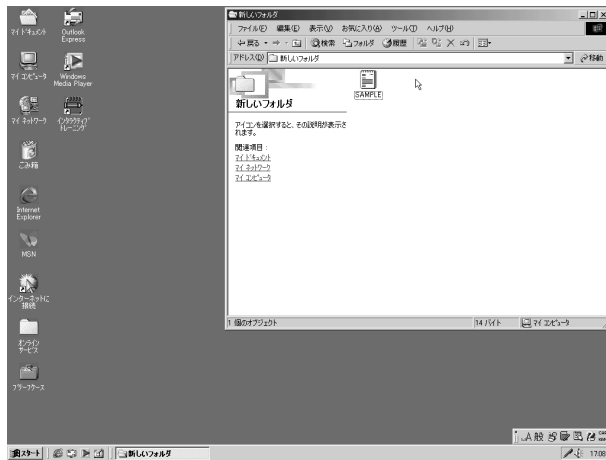
デスクトップの[マイ ドキュメント]をダブルクリックします。

【マイドキュメント】ウィンドウが開きます。
「新しいフォルダを作る」(☞34 ページ)で作成したフォルダが 2 つあります。
「フォルダにファイルを保存する」(☞36 ページ)で保存した「SAMPLE」ファイルは、「新しいフォルダ」というフォルダに入っているはずです。さっそく開いてみましょう。

2

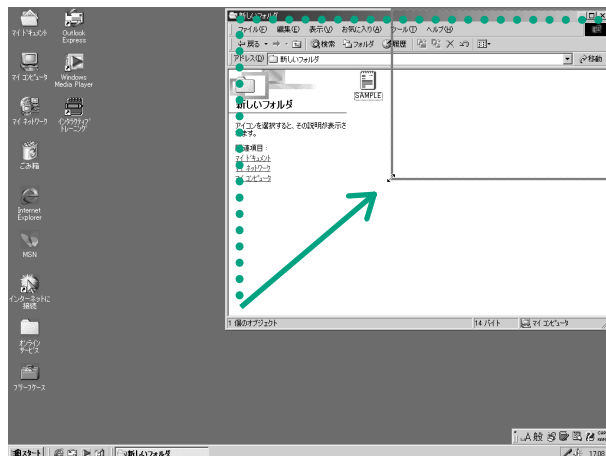
[新しいフォルダ]をダブルクリックします。

【新しいフォルダ】ウィンドウが開きます。

「フォルダにファイルを保存する」(☞36 ページ)で保存した「SAMPLE」ファイルがありました。

3

もうひとつフォルダを開きたいので、ウィンドウのサイズを変えておきましょう。

ウィンドウを移動させます。

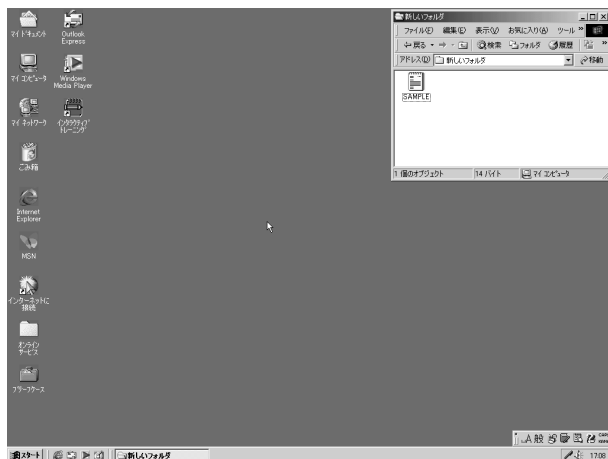
【新しいフォルダ】ウィンドウのタイトルバーの青い部分にポインタを合わせ、ドラッグしてください。ウィンドウと同じサイズの枠が移動します。

今は、右端に寄せておきましょう。枠の右端が画面の右端に合ったら、マウスのボタンをはなしてください。

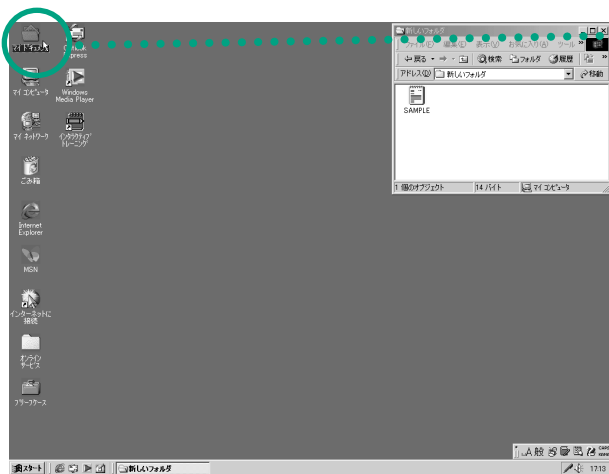
これでウィンドウが移動しました。

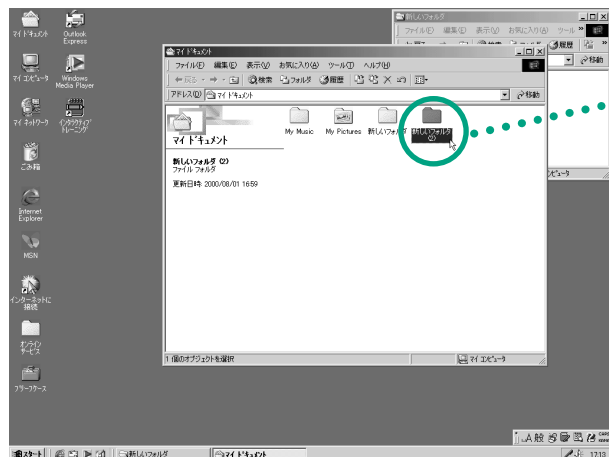
4

ウィンドウを小さくします。

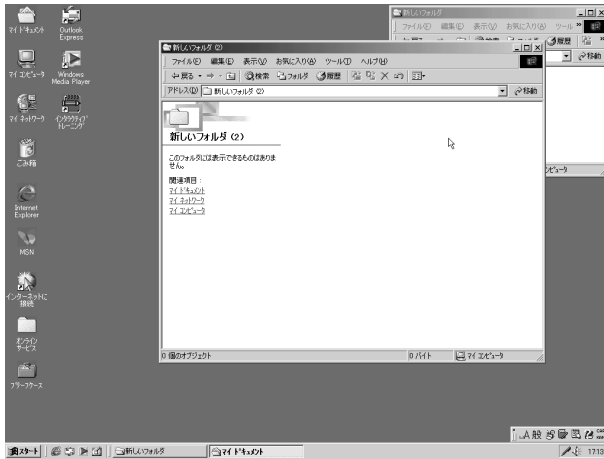
【新しいフォルダ】ウィンドウの左下の角にポインタを合わせます。ポインタが から に変わったらそのままドラッグしてください。

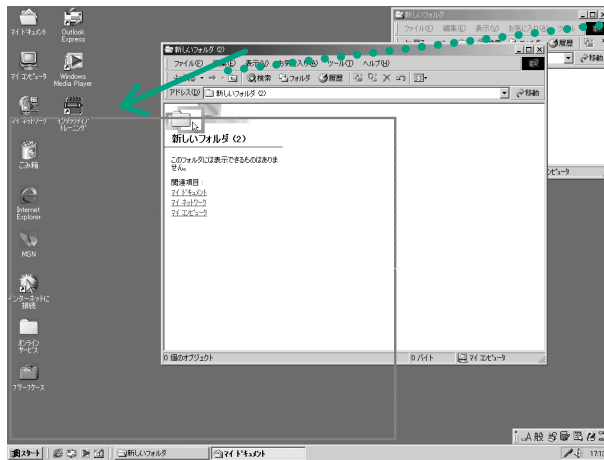
左右のサイズが画面の半分くらいの大きさになったら、マウスのボタンをはなしてください。

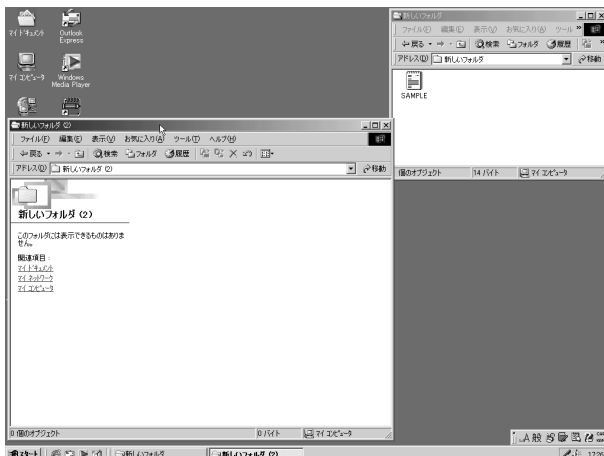
これでウィンドウが小さくなりました。

■[新しいフォルダ(2)]を開く

5

デスクトップの[マイ ドキュメント]をダブルクリックします。

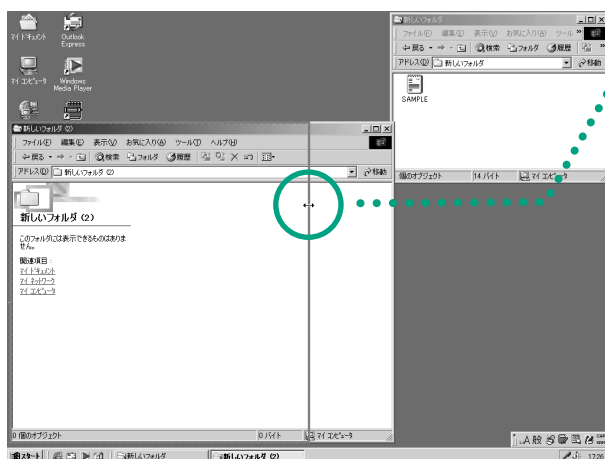
6

【マイドキュメント】ウィンドウが開きます。

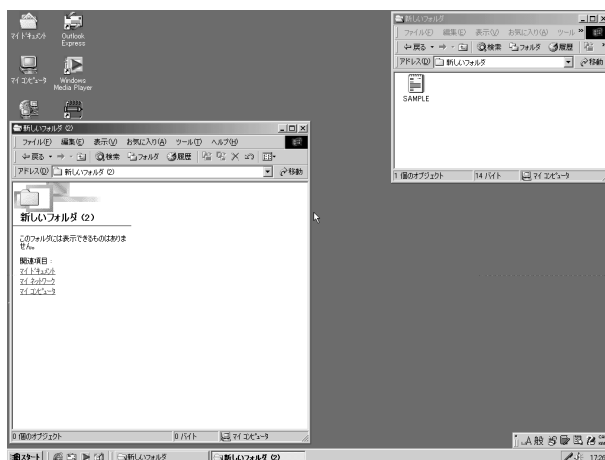
[新しいフォルダ(2)]をダブルクリックします。

【新しいフォルダ(2)】ウィンドウが開きます。
空っぽのはずです。

7

ウィンドウを移動させます。

【新しいフォルダ(2)】ウィンドウのタイトルバーの青い部分にポインタを合わせ、ドラッグしてください。ウィンドウと同じサイズの枠が移動します。

枠の左端が画面の左端に合うまでドラッグしたら、マウスのボタンをはなしてください。

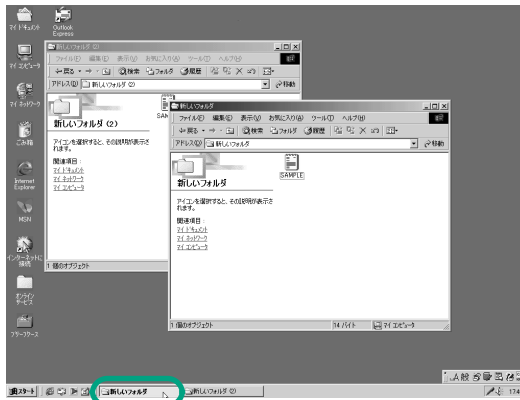
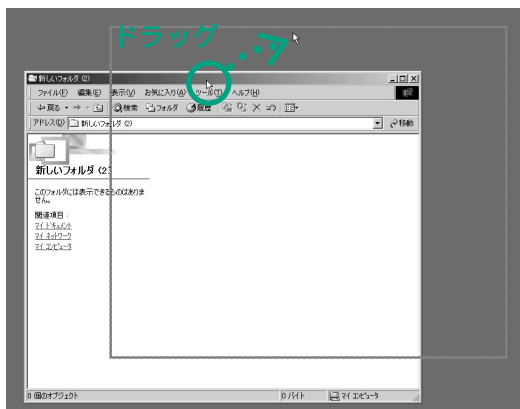
これで、ウィンドウが移動しました。

8

ウィンドウを小さくします。

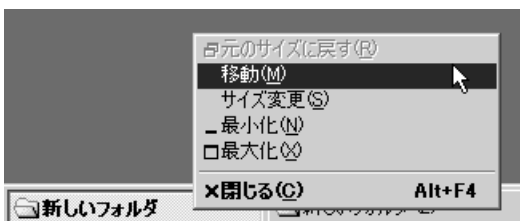
【新しいフォルダ(2)】ウィンドウの右端にポインタを合わせます。ポインタが ↖ から ↔ に変わったらそのままドラッグしてください

【新しいフォルダ】ウィンドウと重ならないように小さくしたら、ボタンをはなしてください。

■ウィンドウの操作

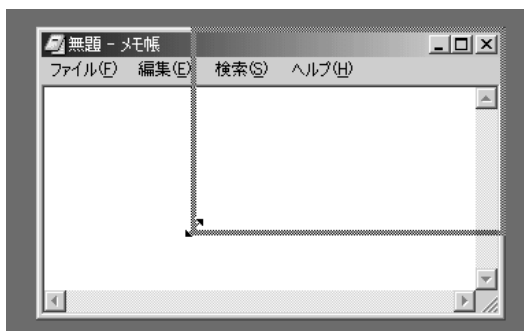
いくつかのウィンドウを開くと、ウィンドウが重なりあって見えにくくなります。そういうときは、ウィンドウの位置や大きさを変えて、必要な部分が見えるようにします。

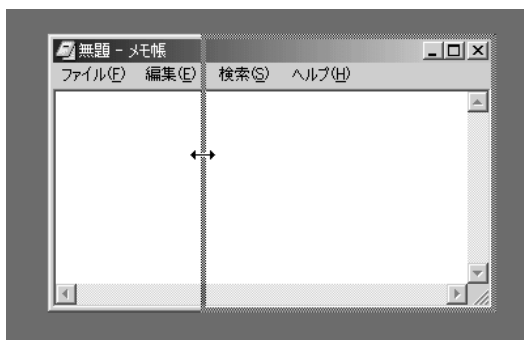
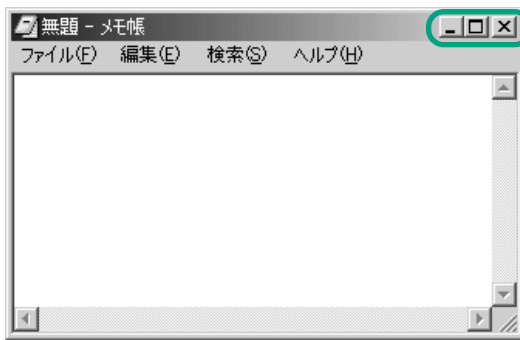
●目的のウィンドウを一番手前にもってくる

画面にウィンドウを表示すると、そのウィンドウに対応するボタンが画面下のタスクバーに表示されます。タスクバーに表示されたボタンをクリックすると、そのウィンドウは一番手前に表示されます。

●ウィンドウの位置を変える

ウィンドウの位置を変える(移動する)ときは、そのウィンドウのタイトルバーをドラッグします。

●タイトルバーが見えなくなってドラッグできないときは

画面下のタスクバーに表示されているボタンを右クリックして、表示されるメニューの[移動]をクリックします。ウィンドウの 4 辺がグレー表示されポインタが から に変わるので、キーボードのカーソルキーを押してウィンドウを移動します。

●ウィンドウの大きさを変える

ウィンドウの 角 にポインタを合わせると・・・

ウィンドウの角にカーソルを合わせると、カーソルの形状が から や に変わります。その状態でドラッグすると、その角を作っている 2 つの辺が移動します(対角側は移動しません)。

ウィンドウの 辺 にポインタを合わせると・・・

ウィンドウの辺にカーソルを合わせると、カーソルの形状が から ↔ や ↕ に変わります。その状態でドラッグすると、その辺が移動します(他の辺は移動しません)。

タイトルバーの右側にある 3 つのボタンは、それぞれ、次のような機能を持っています。

● タスクバーにいれてしまう(最小化する)

ボタンをクリックするとウィンドウが閉じて、タスクバーにボタンとして表示されます。タスクバーのボタンをクリックすると、ボタンを押す前のウィンドウ表示(位置も大きさも元通り)に戻ります。

● 画面(デスクトップ)いっぱいに表示する（最大化する)

ボタンをクリックするとウィンドウが画面(デスクトップ)いっぱいに表示されます。最大化するとボタンはボタンに変わります。

● 最大化したウィンドウを元に戻す

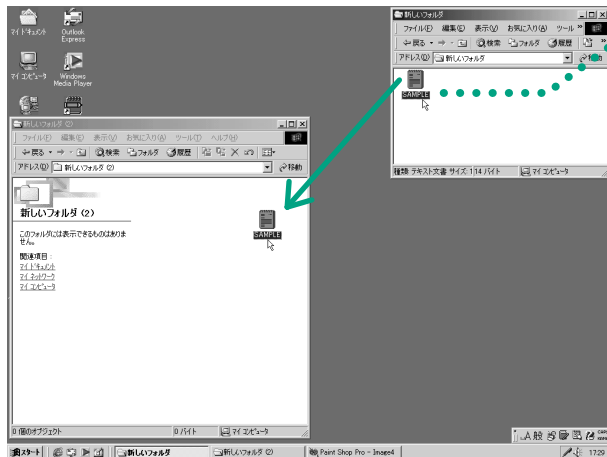
ボタンをクリックすると、ボタンを押す前のウィンドウ表示(位置も大きさも元通り)に戻ります。元に戻すと、ボタンはボタンに変わります。

● ウィンドウを閉じる(終了する)

ボタンをクリックすると、そのウィンドウを閉じます。タスクバーの表示もなくなります。

ファイルを移動する

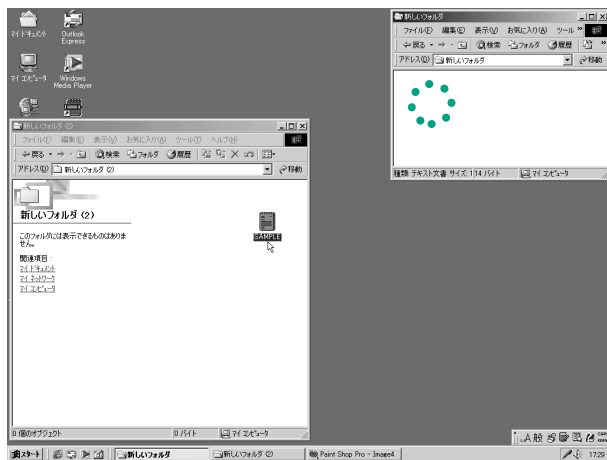
[SAMPLE]ファイルを[新しいフォルダ(2)]に移動させてみましょう。

1

[SAMPLE]を【新しいフォルダ(2)】までドラッグします。

操作を間違えた！

●誤って[SAMPLE]アイコンをダブルクリックすると、「メモ帳」が起動してしまいます。【メモ帳】ウィンドウの☒をクリックして「メモ帳」を終了してください。

●ドラッグ中にデスクトップに落としてしまった場合は、デスクトップから【新しいフォルダ(2)】までドラッグしなおしてください。

2

ボタンをはなすと、移動が完了します。

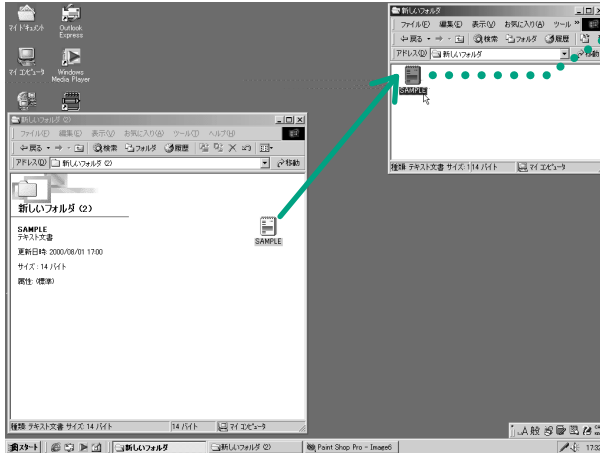
このように、ファイルをドラッグして、他に移動することを「ファイルをドラッグアンドドロップで移動する」といいます。

2つのフォルダが同じドライブにある場合は、このようにドラッグアンドドロップすると「移動」になります。

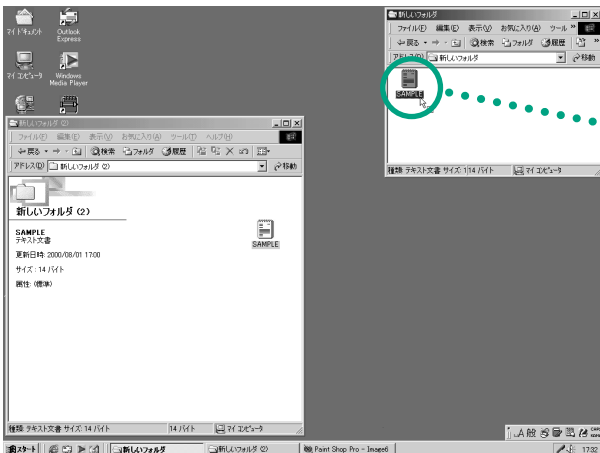
元のフォルダにファイルを残したまま、他のフォルダにも同じファイルが必要なときは、「コピー(複写)」を使います。次は、コピーをしてみましょう。

ファイルをコピーする

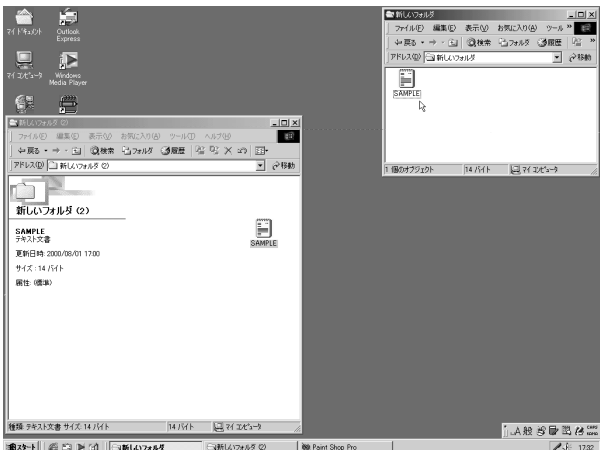
【新しいフォルダ(2)】の[SAMPLE]ファイルを、【新しいフォルダ】にコピーしてみましょう。

1

[SAMPLE]を【新しいフォルダ】までドラッグします。

まだマウスの左ボタンは押したまま！

2

Ctrl キーを押します。

まだマウスの左ボタンは押したまま！

Ctrl キーを押している間は、ポインタが から に変わります。

Ctrl キーを押したままマウスの左ボタンをはなします。

[新しいフォルダ]に[SAMPLE]ファイルがコピーされました。

少し勉強

Ctrl キーを押すタイミング

ドラッグ中か、移動(/コピー)先のウィンドウにポインタが入っていたら Ctrl キーを押す(ポインタを から に変える)ようにしてください。

■ドラッグアンドドロップのテクニック

2つのフォルダ間で、ドラッグアンドドロップを使い、ファイルを移動・コピーするときのテクニックについて説明します。

●2つのフォルダが同じドライブにある場合

ファイルをドラッグして、移動(コピー)先のウィンドウ内に入ってもポインタは のままです。

移動するには　←このポインタを使います。何もキーを押さずに、ポインタが のままドラッグアンドドロップします。

コピーするには　←このポインタを使います。Ctrl キーを押し、ポインタを に変えてからドラッグアンドドロップします。

●2つのフォルダが違うドライブにある場合

ファイルをドラッグして、移動(コピー)先のウィンドウ内に入るとポインタが から に変わります。

移動するには　←このポインタを使います。Shift キーを押しながらドラッグアンドドロップします。

コピーするには　←このポインタを使います。何もキーを押さずに、ポインタが のままドラッグアンドドロップします。

■複数のアイコンを選択するテクニック

複数のファイル(アイコン)を選択して、一度に移動(コピー)する方法を説明します。

●範囲指定する

1

範囲の開始点にポインタを合わせてマウスの左ボタンをプレスします。

開始点をプレスするときには、まだアイコンが選択(反転表示)されないようにアイコンのちょっと外側でプレスしてください。

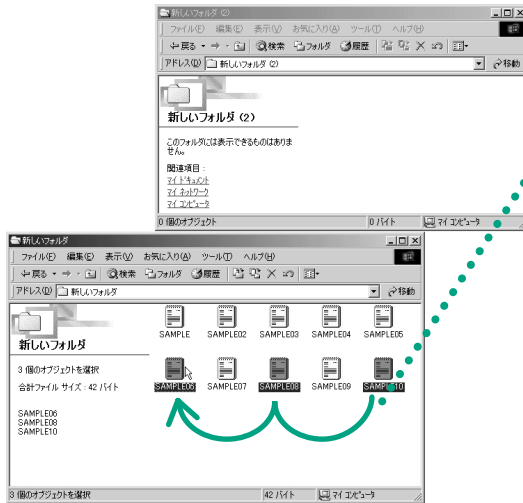
2

そのまま終了点までドラッグして、範囲を指定します。

選択されたアイコンは反転表示されます。必要なファイルのアイコンが全て反転表示されたらマウスのボタンをはなしてください。これで範囲指定できました。

「●ドラッグアンドドロップする」の手順②へ進んでください。☞51ページ

●個別に指定する

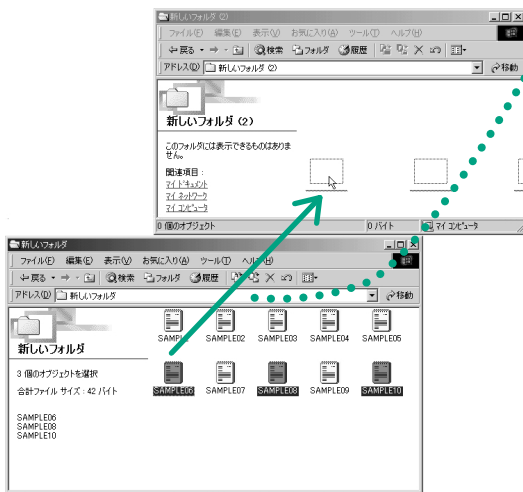
1

Ctrl キーを押します。

Ctrl キーは、押したままにしておいてください。

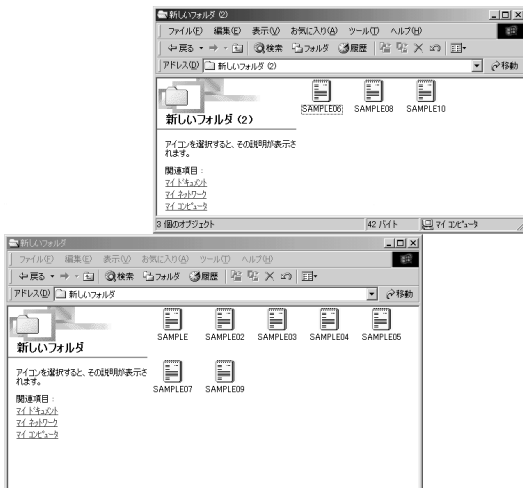
Ctrl キーを押したまま、必要なファイルのアイコンをクリックしていきます。

選択されたアイコンは反転表示されます。選択したアイコンをもう一度クリックすると、選択からはずされます。
必要なファイルのアイコンをすべて反転表示させたらCtrl キーをはなしてください。
これで個別に指定できました。
次(●ドラッグアンドドロップする)へ進んでください。

●ドラッグアンドドロップする

2

ファイルが 1 つのときと同じように移動(コピー)先にドラッグします。

・反転表示しているアイコンならどれでもかまわないので、1 つをドラッグしてください。それで、反転表示しているファイル全てが移動(コピー)の対象となります。
・操作を誤って、反転表示されなくなったら、手順①からやり直してください。
・移動・コピーの切り替え(Ctrl ・ Shift キーの)操作もファイルが 1 つのときと同じです。

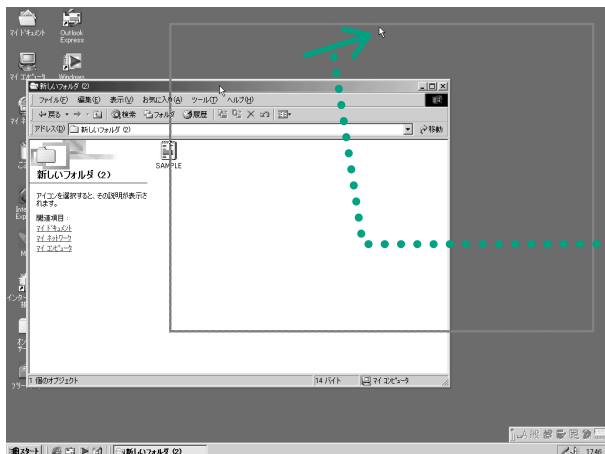
3

マウスのボタンをはなします。

選択した数が多くて、移動(コピー)先のウィンドウからいくつかのアイコンがはみ出しても、マウスのポインタがそのウィンドウの中に入っていれば大丈夫です。

選択したファイルが移動(コピー)されます。

ファイルを削除する(ごみ箱に捨てる)

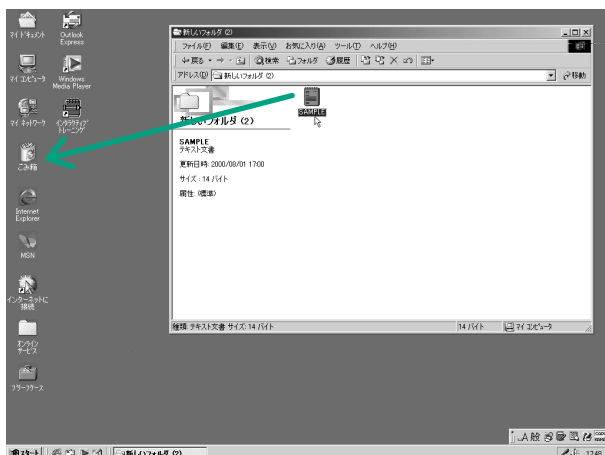
必要のなくなったファイルやフォルダを[ごみ箱]を使って削除する方法について説明します。
先程コピーした[SAMPLE]ファイルを削除してみましょう。

1

[マイ ドキュメント]の中の[新しいフォルダ(2)]を開きます。

開き方は覚えていますね？
☞「[新しいフォルダ（2)］を開く」42 ページ

[ごみ箱]が見えるようにウィンドウを移動します。

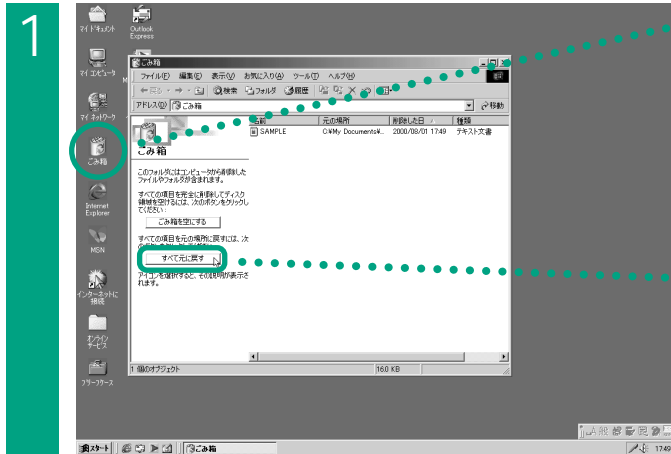
ウィンドウの移動やサイズ変更は覚えていますね？
☞43 ページ

2

[SAMPLE]ファイル を[ごみ箱]に移動します。

ごみ箱のアイコンが に変わります。
ドラッグアンドドロップしてください。ドラッグアンドロップによる「移動」の方法は覚えていますね？
←このポインタを使います。
←このポインタを使うと削除になりません。
☞「ファイルを移動する」48 ページ

[SAMPLE]ファイルが[ごみ箱]の中に移動します。
ウィンドウはそのまま、次の「ごみ箱に移動したファイルを元に戻す」に進んでください。
☞53 ページ

■ごみ箱に移動したファイルを元に戻す

ごみ箱にファイルを移動しても、完全に消去されたわけではありません。次の手順で、元に戻すことができます。

1

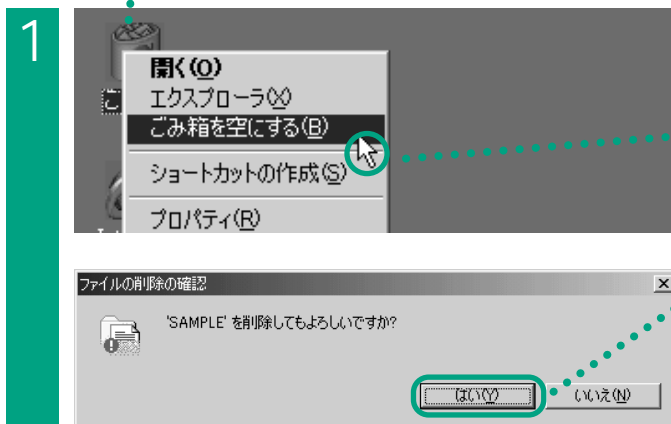
[ごみ箱]をダブルクリックします。

ごみ箱の中身が表示されます。

[すべて元に戻す]ボタンをクリックします。

これで、[ごみ箱]に移動する前の場所に戻りました。【新しいフォルダ(2)】に戻っているか確認してみてください。

■ごみ箱を空にする（完全に消去する）

ごみ箱の中身を完全に消去しても良い場合は、[ごみ箱]アイコンを右クリックして表示されるメニューの[ごみ箱を空にする]をクリックします。

1

[ごみ箱]を右クリックします。

メニューが表示されます。

[ごみ箱を空にする]をクリックします。

確認メッセージが表示されます。
[はい]ボタンをクリックすると完全に消去され、ごみ箱のアイコンが に変わります。
[ごみ箱]から削除したファイルは、元に戻すことができません。
削除の前に、本当に削除して良いファイルか確認してから[はい]ボタンをクリックしてください。

注意

ごみ箱の設定を変えると･･･

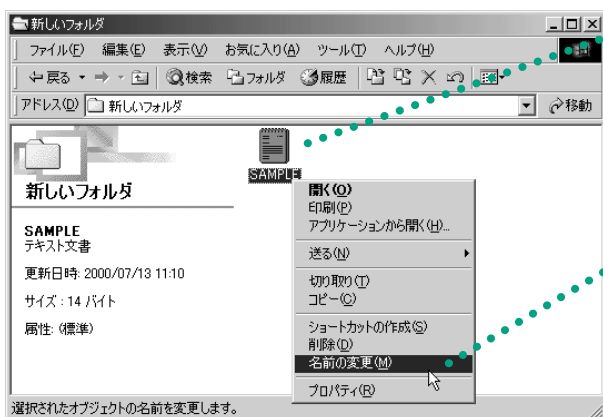
[ごみ箱]アイコンを右クリックして表示されるメニューの[プロパティ]をクリックすると、「ごみ箱」の設定が変更できます。しかし、削除の確認メッセージを表示しなくなったり、ごみ箱に入れたとたん完全に消去されたり、「ごみ箱」の容量が小さくなって、結局あふれた分が消去されたりします。設定の内容が理解できないうちは、変更しないでください。

5 ファイル(フォルダ)の名前を変える

ファイルやフォルダの名前を変更する方法について説明します。

変更方法その 1

ここでは、[SAMPLE]ファイルの名前を変更してみましょう。

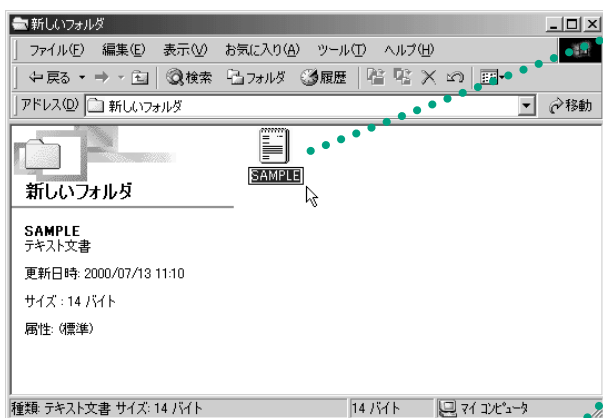
1

[SAMPLE]ファイルを右クリックします。

メニューが表示されます。

[名前の変更]をクリックします。

2

名前のところが、反転表示されます。

3

キーボードから変更したい名前を入力します。
「TEST」に変更してみましょう。
キーボードから T E S T と入力します。

デスクトップ右下のインジケータに あ というアイコンがあるときは、文字入力モードが「ひらがな」になっています。この状態で T E S T とキーを押すと「てST」や「てst」と表示されたり、英字でも「ＴＥＳＴ」や「test」のようにアンダーライン付きで(未変換として)表示されることがあります。
ここでは、インジケータの あ をクリックして表示されるメニューから[直接入力]を選択して、アイコンを A に変えてから再度入力してください。

名前が入力できたら、Enter を押します。
これで名前が変更できました。
フォルダ名も同様に変更できます。

変更方法その 2

前ページで紹介した方法とは別に、名前を変更する方法を説明します。

1

アイコンをクリックします。

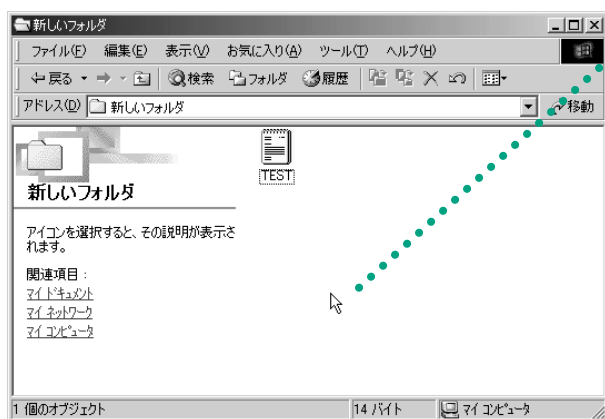
2

名前の文字の部分をクリックします。

名前のところが、反転表示されます。

3

キーボードから変更したい名前を入力します。

4

名前が入力できたら、適当なところをクリックします。

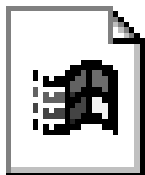
ウィンドウの中の空白の部分をクリックしてください。

6 ショートカットアイコンを利用する

このマークが付いているアイコンが、ショートカットアイコンです。これはどのような役目をするアイコンなのでしょうか？

ショートカットアイコンとは？

まず、ショートカットアイコンのしくみから説明し、その次に実際にショートカットアイコンを作ってみましょう。

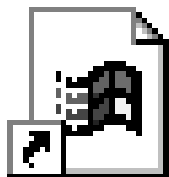
■普通のアイコンは・・・

普通のアイコンは、ファイルやフォルダなどそれ自身（本体）を示しています。

「新しいフォルダを作る」(☞34ページ)や「フォルダにファイルを保存する」(☞36ページ)で作ったように、アイコンはフォルダやファイルそのものをあらわしています。ですから、

① アイコンを消去すれば、そのファイルは無くなってしまいます。フォルダの場合は、中のファイルも全て無くなります。
② 違うフォルダにコピーすれば、同じ内容のファイルやフォルダが2箇所にできあがります。当然ですが、2メガバイトのファイルであれば、2つで4メガバイトになります。

アイコンをダブルクリックすると・・・

例えば、「フォルダにファイルを保存する」(☞36ページ)で作った「SAMPLE」ファイルをダブルクリックすると、次のように処理されます。
「SAMPLE」ファイルは、自分が「メモ帳」で作られたことを記録しているので、ダブルクリックされると、「メモ帳」を起動して、自分(SAMPLEファイル)を「メモ帳」に開いてもらいます。

■ショートカットアイコンは・・・

ショートカットアイコンは、いわば分身のようなもので、本体がどこに保存されているかを記録しています。

ショートカットアイコンは普通のアイコンのように、フォルダやファイルそのものを示すアイコンではありません。本当のフォルダやファイルとは別に作成されます。
ここでは仮に、「SAMPLE」ファイルのショートカットアイコンがあるとしましょう。このショートカットアイコンは、本当(本体)の「SAMPLE」ファイルの保存先は記録していますが、中にどのような文章が書かれているかまでは記録していません。
ですから、
① ショートカットアイコンを消去しても、本当(本体)の「SAMPLE」ファイルは別に保存されて残っています。
② 本当(本体)の「SAMPLE」ファイルがどれだけ大きくても(何メガバイトあっても)、ショートカットアイコンは1つが1キロバイト未満です。

ショートカットアイコンをダブルクリックすると・・・

このショートカットアイコンは本当(本体)の「SAMPLE」ファイルの保存先を記録しているので、その保存場所を「メモ帳」に伝えて、本当(本体)の「SAMPLE」ファイルを開いてもらいます。

ショートカットアイコンを利用する

■ショートカットの活用のしかた

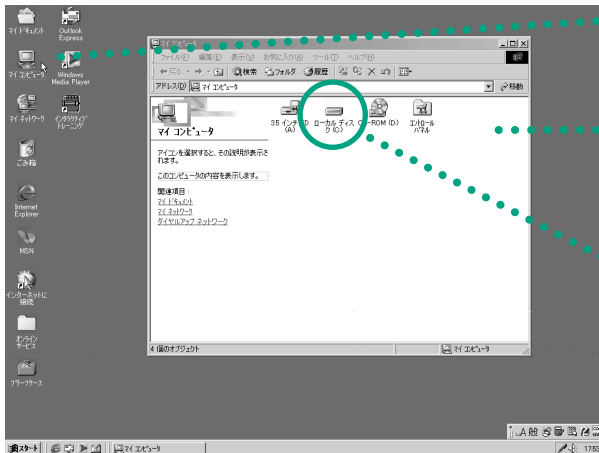
ショートカットは、利用したいファイルが、フォルダの数階層下にある場合や、利用したいファイルが複数のフォルダに保存されている場合に利用します。
何度もフォルダを開いて階層の下に移動したり、別々のフォルダに移動するのは面倒ですよね？
そんなとき、ファイルのショートカットを作ってディスクトップなどに置いておけば、すぐにファイルを利用することができます。

ショートカットは、本当(ファイル)の名前と同じにする必要はありません。
あなたのわかりやすい名前に変更し、ショートカットをまとめてフォルダを作って、自分だけのメニューを作ることもできます。

ショートカットアイコンを作る

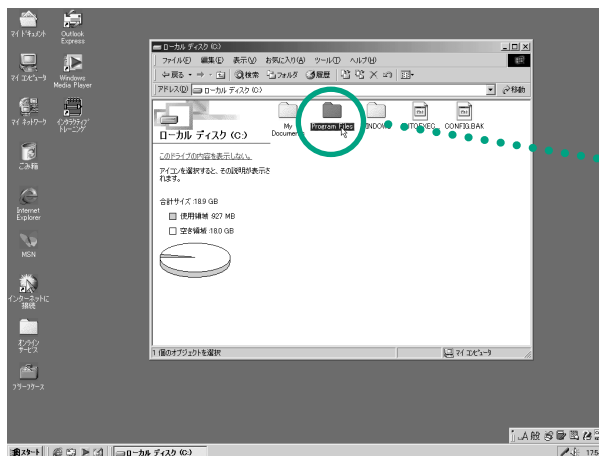
「ワードパッド」を起動するためのショートカットアイコンをデスクトップに作ってみましょう。
最初に、「ワードパッド」の本体を探しにいきます。「ワードパッド」の本体の名前は「WORDPAD（ワードパッド）」です。

「WORDPAD」本体の保存場所まで行ってみましょう。

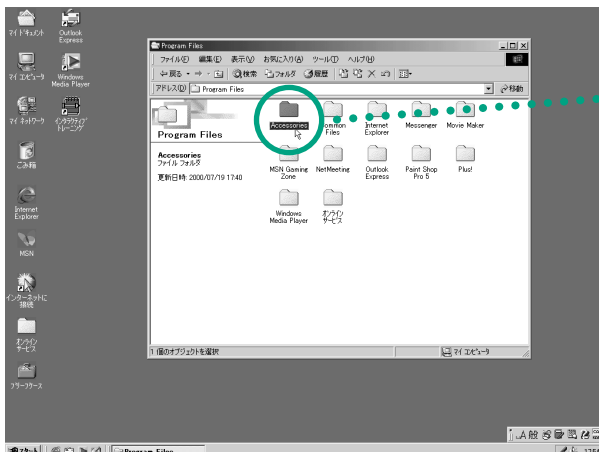
1

[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

【マイコンピュータ】ウィンドウが表示されます。

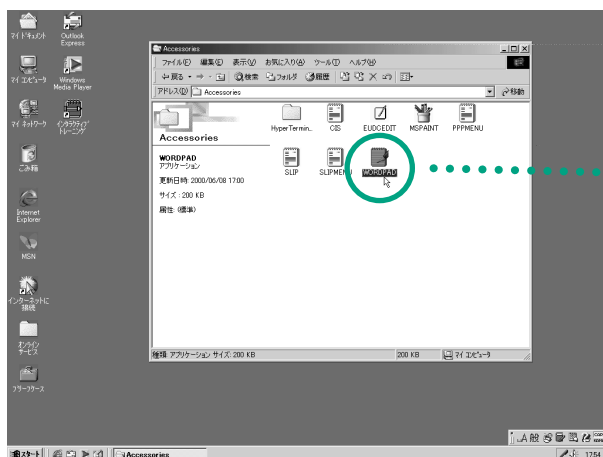
[ローカルディスク(C:)]をダブルクリックします。

2

【ローカルディスク(C:)】ウィンドウが表示されます。

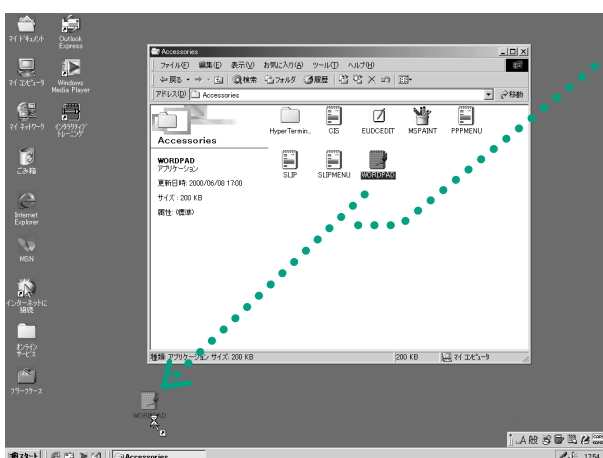
[Program Files（プログラムファイルズ）]をダブルクリックします。

3

【Program Files】ウィンドウが表示されます。

[Accessories（アクセサリーズ）]をダブルクリックします。

4

【Accessories】ウィンドウが表示されます。
この中の［WORDPAD]のショートカットアイコンを作ります。

[WORDPAD]にポインタをあわせます。

5

左ボタンでデスクトップにドラッグアンドドロップします。

デスクトップまで移動したときに、マウスのポインタが、 から に変わります。その状態でデスクトップにドロップすると、ショートカットができます。ショートカットアイコンには、このように マークがつきます。

これで、[WORDPAD へのショートカット]がデスクトップにできました。

■左ボタンによるドラッグアンドドロップのまとめ

もうお気づきでしょう。「ファイルの移動」「ファイルのコピー」「ショートカットアイコンの作成」の基本操作はどれも「ドラッグアンドドロップ」です。
ただ、ドロップするときのカーソルの形によって、結果が「ショートカットアイコンの作成」になったり「移動」や「コピー」になるのです。次に「ポインタの形」と「同時に押すキー」をまとめておきます。

ショートカットを作るときは ・・・・・・ ←このポインタを使います。
ポインタが とは異なるときは Ctrl と Shift キーを押します。

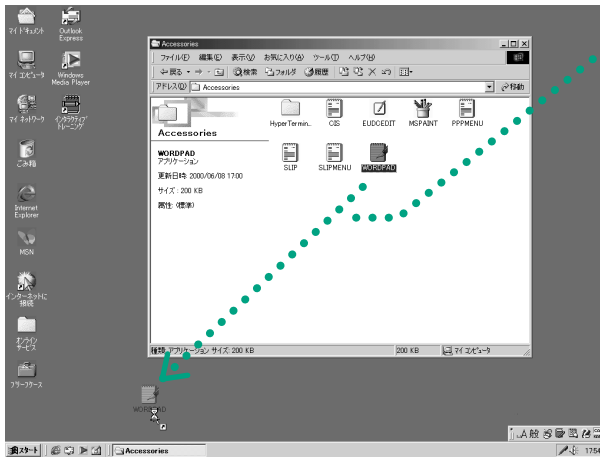
移動するときは・・・・・・・・・・・・・・・ ←このポインタを使います。
ポインタが とは異なるときは Shift キーを押します。

コピーするときは ・・・・・・・・・・・・・ ←このポインタを使います。
ポインタが とは異なるときは Ctrl キーを押します。

■右ボタンによるドラッグアンドドロップ

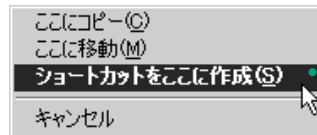
右ボタンで、ドラッグアンドドロップすると、ポインタの形( )にかかわらずメニューが表示され、処理を選択できるようになります。

例として、ショートカットを右ボタンによるドラッグアンドドロップで作ってみましょう。
「ショートカットアイコンを作る(☞59 ページ)」と、手順 1 ～ 4 は同じです。
違うのは、手順 5 で、右ボタンによるドラッグアンドドロップをすることです。

6

右ボタンでデスクトップにドラッグアンドドロップします。

メニューが表示されます。

7

ここにコピー(C)
ここに移動(M)
ショートカットをここに作成(S)
キャンセル

[ショートカットをここに作成]をクリックします。

その他の作成方法

ショートカットを作成したいファイルを右クリックすると、メニューが表示されるので、その中の「ショートカットの作成」にポインタを合わせて、クリックします。

7 最近使ったファイルを利用する

「さっき使ったファイルをもう一度開きたい」と思っても、どこに保存したか忘れてしまった場合、簡単に見付ける方法があります。

[最近使ったファイル]を使ってみる

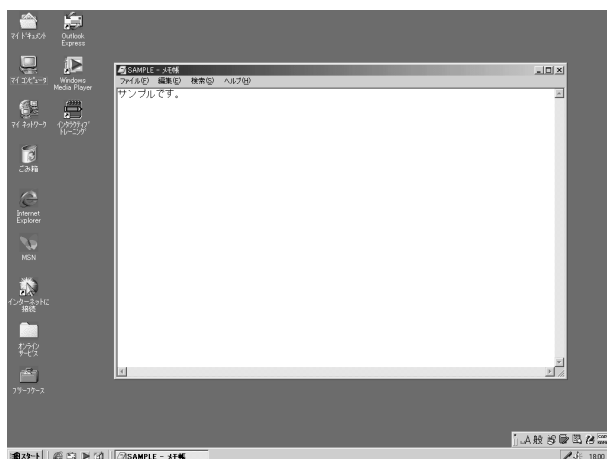
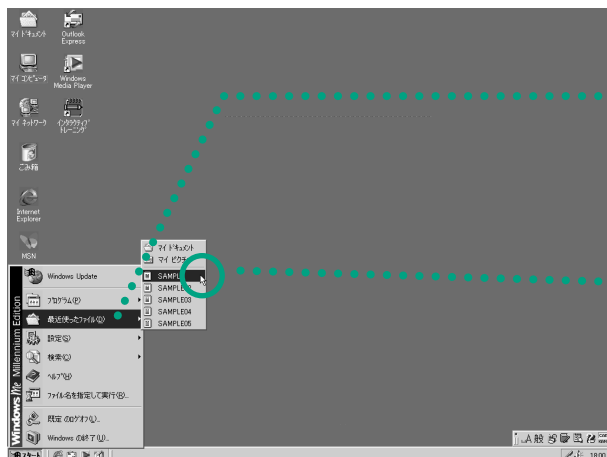
簡単に言うと、今朝パソコンの電源を入れてから、さっきまでの間に開いたファイルの一覧を表示することができます。
また、そのアイコンをクリックすると、開くことができます。

1

[スタート]ボタンをクリックします。

[最近使ったファイル]にポインタを合わせます。

最近使ったファイルの一覧が表示されます。

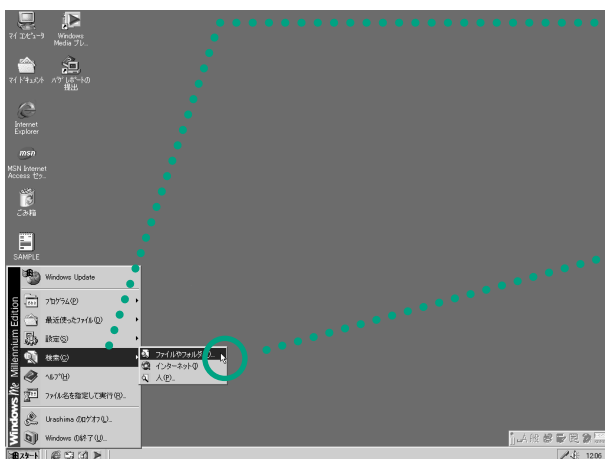
開きたいファイルをクリックします。

そのファイルが開きます。

8 ファイルやフォルダを検索する

最近使ったファイルで見つからなかったときは、「検索」機能を使います。「最後に修正したのは確か・・・、一昨日だったよなぁ」といった条件でも検索できます。

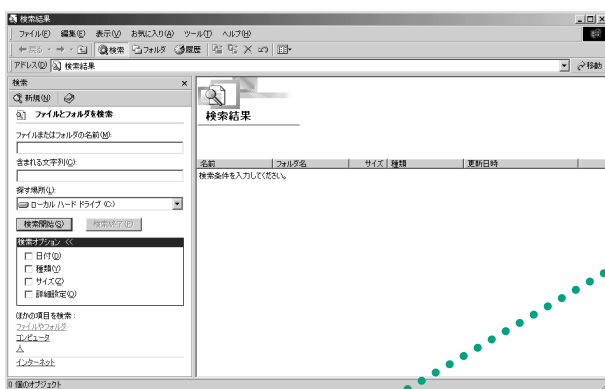
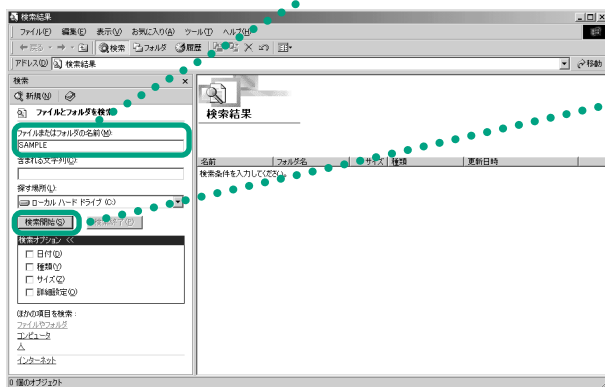
ファイルを検索する

検索機能を使うと、ファイルやフォルダを簡単に検索できます。【検索】ウィンドウでは、検索条件を簡単に、しかも詳細に指定できます。また、条件を保存できるので、同じ条件を何度も使って検索できます。

1

[スタート]ボタンをクリックし、[検索]をポイントします。

[ファイルやフォルダ]をクリックします。

【検索結果】ウィンドウが開きます。

2

検索したいファイルの名前の一部、または全部を【ファイルまたはフォルダの名前】フィールドに入力します。

ここでは、S A M P L E と入力してみます。

[検索開始]ボタンをクリックします。

検索結果が表示されます。

[検索開始]ボタンの下にある「検索オプション》」をクリックすると、サブメニューが表示されます。このオプションを選択することで、検索条件をより詳しく指定することができます。

検索開始(S)

検索オプション >>

検索条件を保存するには

同じ検索条件で、何度も検索することが予想される場合、検索条件を[マイドキュメント]に保存することができます。

1

【検索結果】ウィンドウの[ファイル]メニューの[検索条件を保存] をクリックします。

【検索条件を保存】ウィンドウが表示されます。

保存するファイル名を[ファイル名]に入力します。

[保存]ボタンをクリックします。
検索条件が保存され、[マイドキュメント]にアイコンが表示されます。

検索条件のアイコンをダブルクリックすると【検索結果】ウィンドウが表示されます。[検索開始] ボタンをクリックすると検索を再実行し、検索結果を更新できます。

9 フロッピーディスクを使う

フロッピーディスクを使えば、簡単に友人や同僚とファイルの交換ができます。

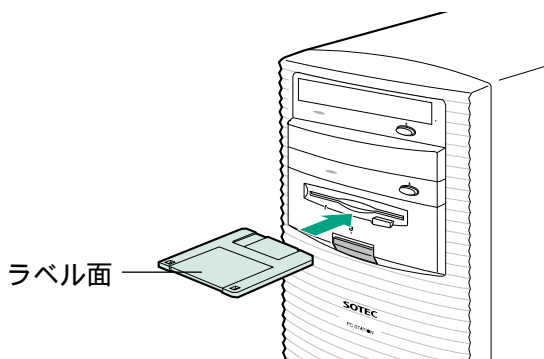
フロッピーディスクを使う前に

■フロッピーディスクの種類について

このパソコンのフロッピーディスクドライブは、「3.5 インチ 2HD タイプ」と「3.5 インチ 2DD タイプ」のフロッピーディスクが使用できます。
2HD タイプは、約 1.44MB の記憶容量があります。
2DD タイプは、約 720KB の記憶容量があります。
さらに、最近は「フォーマット済み」のフロッピーディスクが市販されていますが、以降「フォーマット済み」「未フォーマット」どちらのタイプにも対応できるように説明します。

「3.5 インチ 2HD/2DD フロッピーディスク」を用意してください。

■フロッピーディスクをドライブにセットする

1

(パソコンはSOTEC PC STATION M300シリーズを例に説明して います)

フロッピーディスクをラベル面を上にしてフロッピーディスクドライブに挿入します。

フロッピーディスクをフォーマットする

フロッピーディスクを使うには、まずフロッピーディスクをフォーマットする必要があります。

1

[マイコンピュータ]をダブルクリックします。
【マイコンピュータ】ウィンドウが表示されます。

[3.5 インチ FD(A:)]をダブルクリックします。

アドバイス
とまってしまった？
フロッピーディスクアクセス LED がチカチカしているときは、フロッピーディスクを読み込み中です。あせって何度もクリックしたり、電源を切ったりしないでください。

■「今すぐフォーマットしますか？」のメッセージが出たら

フォーマットしないときは・・・

1

[いいえ]ボタンをクリックします。

「未フォーマット」のフロッピーディスクを買ってきてセットした場合、ここで[いいえ]を選択していると、いつまでもそのフロッピーディスクは使うことができません。

フロッピーディスクを取り出してください。
☞「フロッピーディスクを取り出す」69 ページ

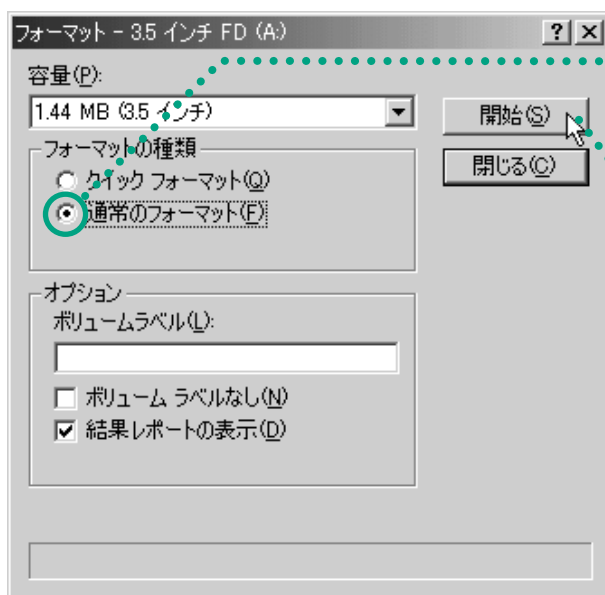
フォーマットするときは・・・

1

フロッピーディスクをフォーマットすると、フロッピーディスク内の全てのデータは削除されます。
まず、このフロッピーディスクを本当にフォーマットしてしまって良いのか、よく考えてください。

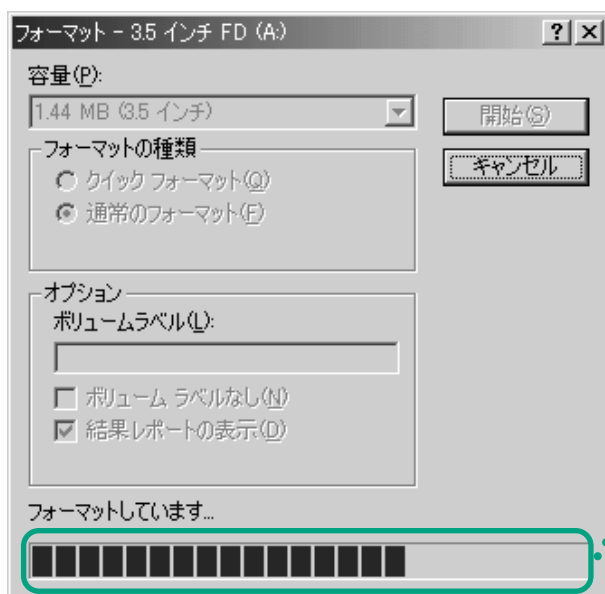
[はい]ボタンをクリックします。

2

フォーマット - 3.5 インチ FD (A:)
容量(P):
1.44 MB (3.5 インチ)
フォーマットの種類
クイック フォーマット(Q)
通常のフォーマット(F)
オプション
ボリュームラベル(L):
ボリューム ラベルなし(N)
結果レポートの表示(D)
開始(S)
閉じる(C)

【フォーマット】ダイアログが表示されます。
[通常のフォーマット]をクリックします。

[開始]ボタンをクリックします。

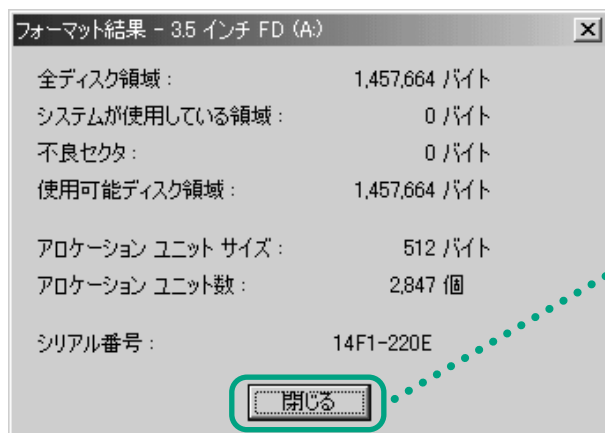
アドバイス

「このディスクは書き込み禁止になっているため、フォーマットできません」と表示される場合、「ライトプロテクトを解除する」を参照してください。(☞75 ページ)

ダイアログの下部にある棒グラフで、進行状況が確認できます。
右端までいけばフォーマットは終わりです。

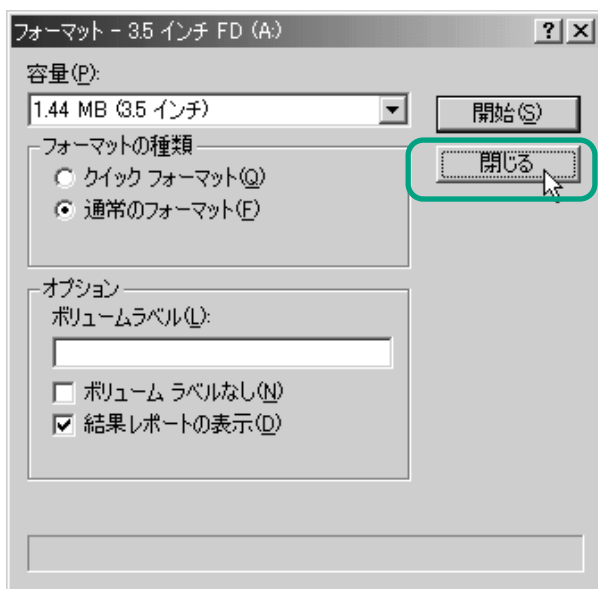
3

フォーマット結果 - 3.5 インチ FD (A:)

全ディスク領域：	1,457,664 バイト
システムが使用している領域：	0 バイト
不良セクタ：	0 バイト
使用可能ディスク領域：	1,457,664 バイト
アロケーション ユニット サイズ：	512 バイト
アロケーション ユニット数：	2,847 個
シリアル番号：	14F1-220E

閉じる

フォーマットが正常に終わると、【フォーマット結果】ダイアログが表示されます。

[閉じる]ボタンをクリックします。

4

この画面に戻ります。

[閉じる]ボタンをクリックします。

これで、このフロッピーディスクが使えるようになりました。

5

【3.5 インチ FD(A:)】ウィンドウが開きます。
いまは、何も登録されていません。
閉じておきましょう。

[閉じる]ボタンをクリックします。

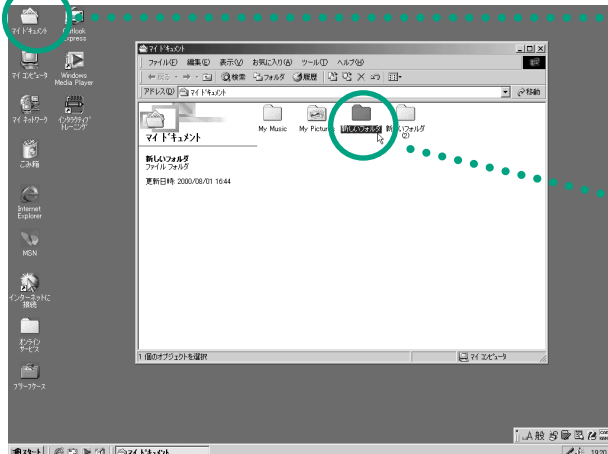
フロッピーディスクを取り出してください。

☞「フロッピーディスクを取り出す」74 ページ

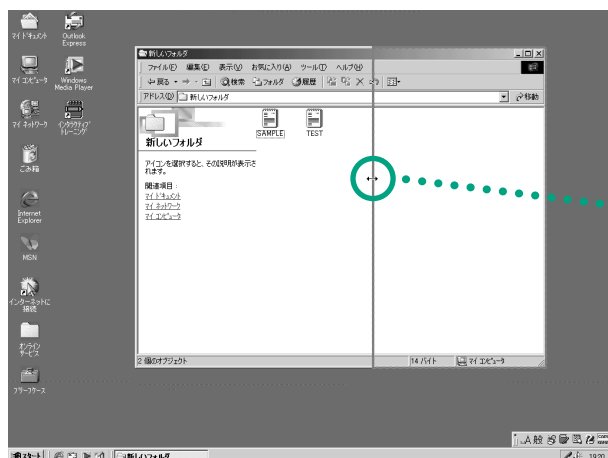
フロッピーディスクにファイルをコピーする

「フォルダにファイルを保存する」(☞36 ページ)で保存した、[SAMPLE]をフロッピーディスクにコピーしてみましょう。

1

[マイドキュメント]をダブルクリックします。

[新しいフォルダ]をダブルクリックします。

2

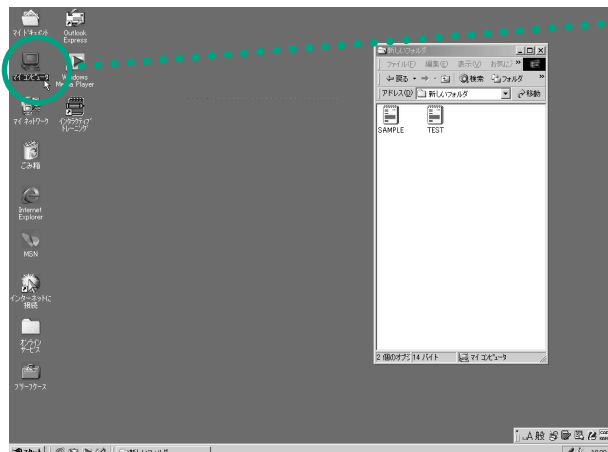
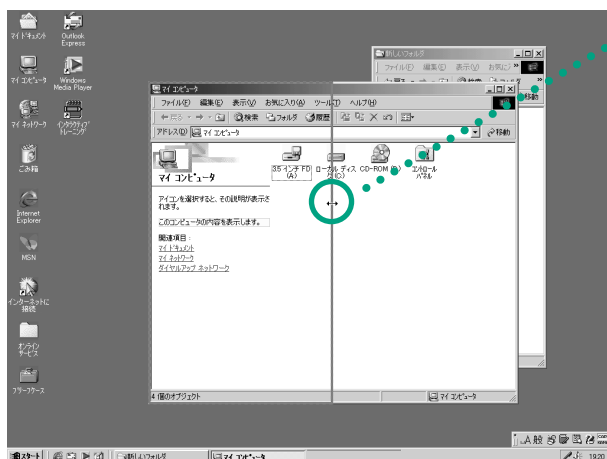
【新しいフォルダ】ウィンドウが開きます。
もう一つウィンドウを開きたいので・・・

【新しいフォルダ】ウィンドウのサイズを小さくします。

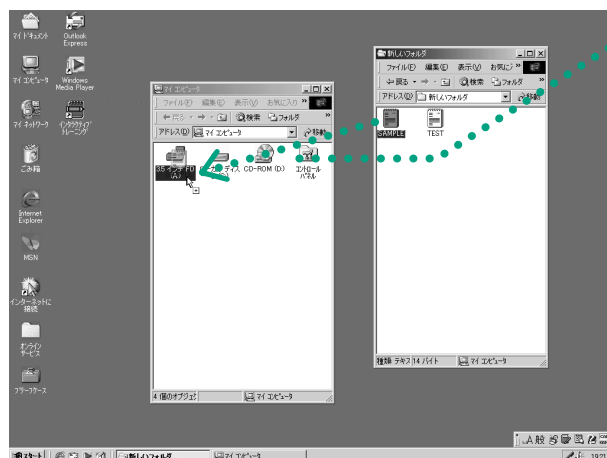
次は、【3.5 インチ FD(A:)】ウィンドウを開きます。

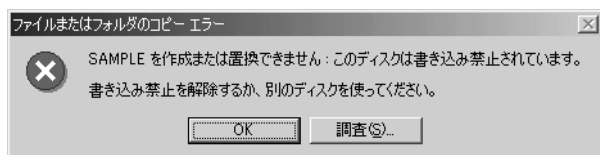
3

[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

マイコンピュータが開きます。

4

ウィンドウの位置を調整します。

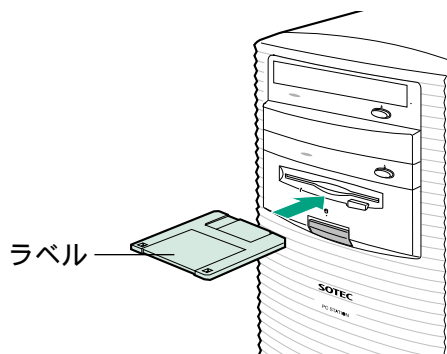
5

[SAMPLE]を【マイコンピュータ】ウィンドウ内の[3.5インチFD(A:)]にドラッグアンドドロップします。

■「ライトプロテクトされています」のメッセージが出たら

ライトプロテクトを解除します。

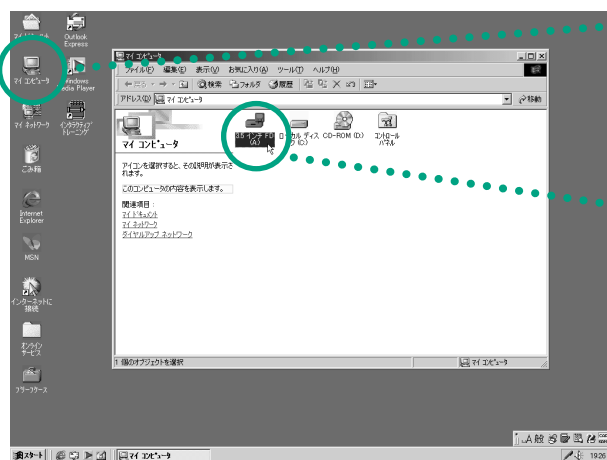
☞「ライトプロテクトを解除する」75ページ

フロッピーディスクのファイルを開く

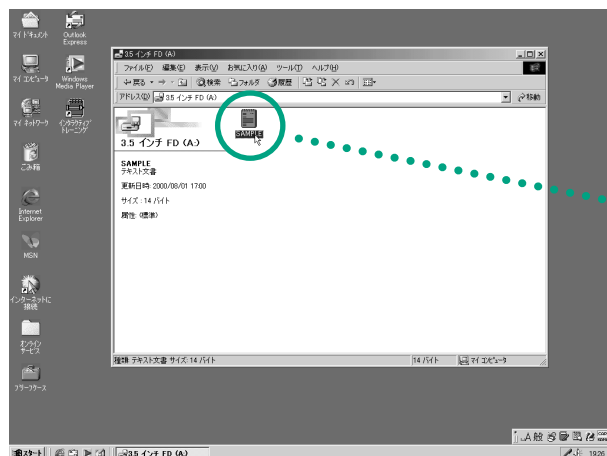
1

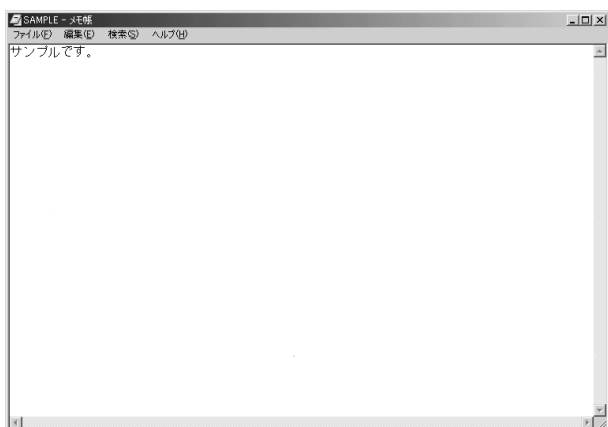
ラベル

(パソコンはSOTEC PC STATION　M300シリーズを例に説明して います)

フロッピーディスクをセットします。

2

[マイコンピュータ]をダブルクリックします。
【マイコンピュータ】ウィンドウが表示されます。

[3.5 インチ FD(A:)]をダブルクリックします。
【3.5 インチ FD(A:)】ウィンドウが表示されます。

3

[SAMPLE]をダブルクリックします。

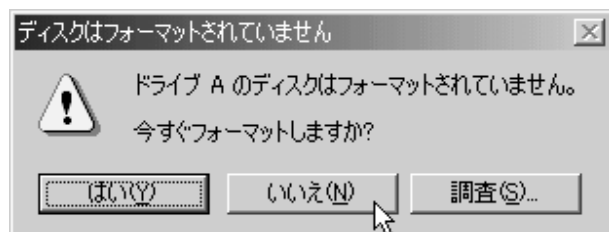
4

【SAMPLE】ウィンドウが開きます。

■「アプリケーション選択」のダイアログが出たら

ファイルを開こうとしたのに、そのファイルを作ったアプリケーションが無いときに、このメッセージが出ます。

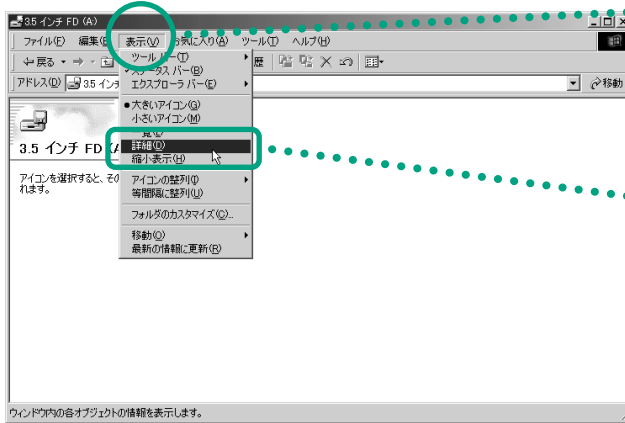
そのファイルを開くことができるアプリケーションがわかっている場合は、[このファイルを開くアプリケーション]からそのアプリケーションを指定してください。

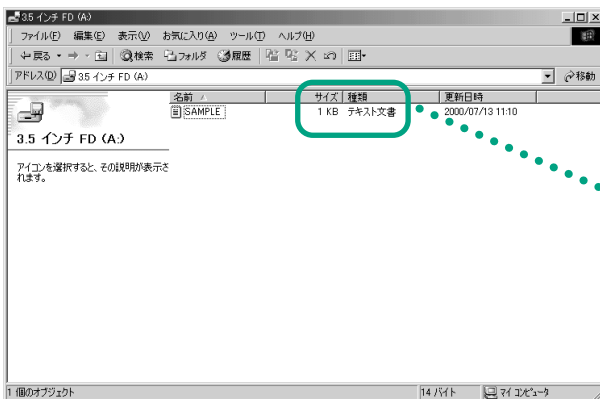
一覧からアプリケーションを選択し、[OK]ボタンをクリックします。なお、今後そのファイルを同じアプリケーションで開く場合は「これらのファイルを開くときは、いつもこのアプリケーションを使う」を選択します。

■「フォーマットしますか？」のメッセージが出たら

フロッピーディスクはまだフォーマットされていません。
フロッピーをフォーマットしても良いか、もう一度よく考えて、「ディスクのフォーマット(☞66ページ)」の操作を行ってください。

ファイルの大きさを見る

ファイルサイズ（容量）の大きさを見る方法を説明します。

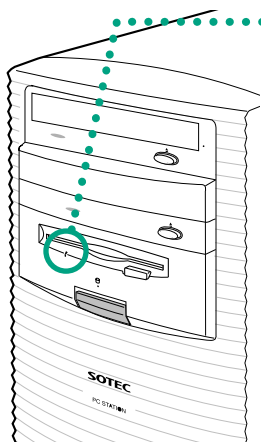
1

メニューバーの[表示]をクリックします。

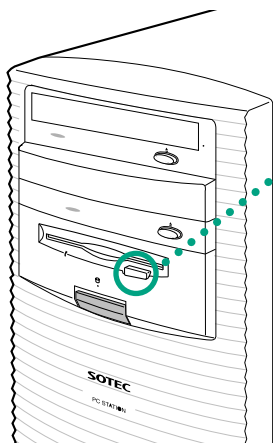
[詳細]をクリックします。

ファイルの大きさと、ファイルの種類が表示されます。

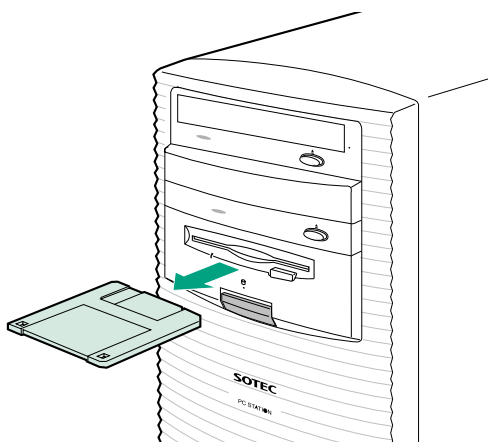
アドバイス

ファイルの容量の基本単位はByte(バイト)です。1000Byte(正確には1024Byte)で1KB(キロバイト)になります。1KBの1000倍が、1MB(メガバイト)、1MBの1000倍が1GB(ギガバイト)となります。

フロッピーディスクを取り出す

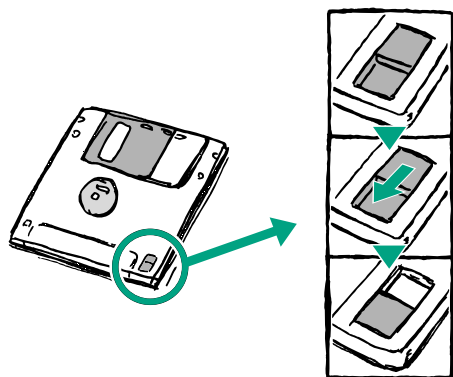
1

フロッピーディスクアクセスLEDが消えていることを確認します。

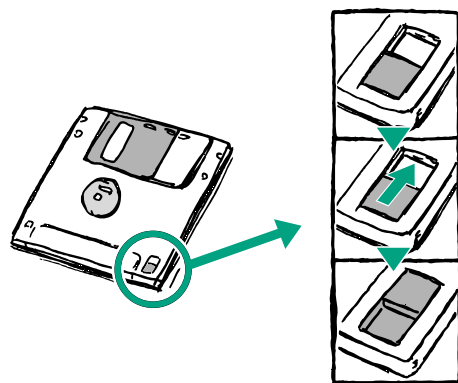
2

イジェクトボタンを押します。

3

フロッピーディスクを取り出します。

ディスクへの書き込みを禁止する

カセットテープやビデオテープと同じように、上書きしないようにするツメのようなものが、フロッピーディスクにもついています。

■ライトプロテクトする

上書きできないようにすることを「ライトプロテクトする」といいます。
ライトプロテクトされたフロッピーディスクは、中に記録されたファイルを読み込むことはできますが、削除したり、新しくファイルを追加することができなくなります。
重要なファイルを保管するときは、ライトプロテクトしておくと、「うっかり消してしまった！」というミスを減らすことができます。
左図のようにライトプロテクトします。

■ライトプロテクトを解除する

ライトプロテクトされていたということは、中のファイルが何か重要なものだったと考えられます。ライトプロテクトを解除して、ファイルを削除や変更するときは、よく考えて操作してください。
また、重要なファイルを追加保存するためにライトプロテクトを解除したときは、ファイルを追加した後、忘れずにライトプロテクトしておきましょう。

Step 3

機能の紹介

[スタート]ボタンから始めることができる機能のうち、代表的なものをピックアップしてご紹介します。操作方法や注意事項については「Windows ヘルプ」または各機能ごとのヘルプを参照してください。

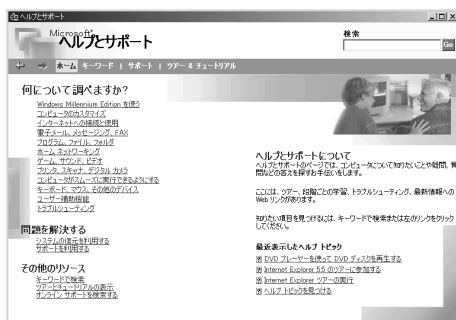
1 基本的な機能 ･･････････････････････78
パソコンの操作方法を知る ･･･････78
ファイルを探す ･････････････････78
文書や絵をかく ･････････････････80
計算する ･･････････････････････82
ユーザーの補助をする ･･･････････82
2 マルチメディアを楽しむための機能 ･･･83
動画を見る ････････････････････83
音楽を聴く ････････････････････84
ゲームをする ･･･････････････････85
3 通信に関する機能 ･･････････････････86
通信回線に接続する ･････････････86
4 システムに関する機能 ･･････････････88
システムを監視・変更する ･･･････88
ディスクをメンテナンスする ･････89
ディスクの内容を圧縮する ･･･････90

1 基本的な機能

パソコンの操作方法を知る

ヘルプとサポート

[スタート]ボタン→[ヘルプ]

アプリケーションを使用していて操作法方などがわからなくなった場合や、より詳しい機能を知りたい場合に使用します。ヘルプメニューの目次から目的の項目を見つける他に、キーワードによる検索もできます。

インタラクティブトレーニング

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[インタラクティブトレーニング]→[インタラクティブトレーニング]

コンピュータや、Windows Me の基本的な考え方や操作方法を学ぶことができます。また、Windows Me の各設定も行うことができますので、最初にお読みください。

ファイルを探す

ファイルやフォルダ

[スタート]ボタン→[検索]→[ファイルやフォルダ]

フォルダやファイルの格納場所がわからない場合に使用します。ファイル名の他に、作成日や拡張子などのさまざまな検索条件が設定できます。

エクスプローラ

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]

パソコン内のフォルダやファイルを一覧／管理する機能です。この機能によりパソコン内のデータを階層的／視覚的に見ることができます。ファイルを整理するときなどに使用します。

最近使ったファイル

[スタート]ボタン→[最近使ったファイル]

パソコンを起動してから、最近使ったファイルの履歴が記録されています。この機能により、ファイルの履歴を記録する機能を持たないアプリケーションを使用した場合でも、ある程度過去に使用したファイルを簡単に再利用することができます。

ファイル名を指定して実行

[スタート]ボタン→[ファイル名を指定して実行]

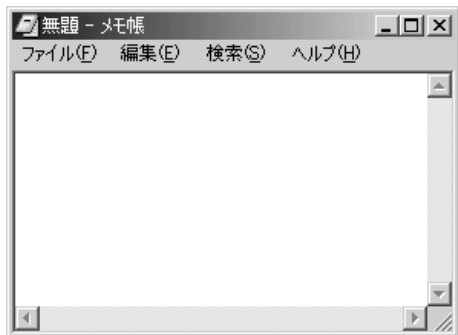
ファイル名を入力することにより、アプリケーションを直接起動させることができます。この機能によりファイルの格納先がわからない場合や、フォルダの最下層にあるアプリケーションでも簡単にすばやく起動することができます。

文書や絵をかく

■文書作成のための機能

メモ帳

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[メモ帳]

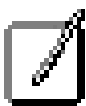
書式設定を必要としない簡単な文章作成ができます。（書式設定を行いたい場合や、68KB を超える文章の作成にはワードパッドを使用してください。）

ワードパッド

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[ワードパッド]

文字の大きさの変更や文字飾りなどのワープロの基本的な機能を備え、短い文書作成に適したテキストエディタです。

文字コード表

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[文字コード表]

変換では現れない特殊記号や、特殊文字を選択できます。この機能を利用し、文章中に特殊文字が挿入できます。

外字エディタ

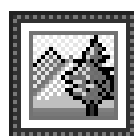
[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[外字エディタ]

標準で登録されていない外字や記号を、独自に作成できます。このアプリケーションを利用し、特殊文字や社章などのユーザーオリジナルの外字を作成できます。

■絵を見たり描くための機能

ペイント

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[ペイント]

画像ファイルの作成／編集ができます。この機能を利用することにより、ユーザオリジナルの壁紙や、ホームページに使用する画像を作成することができます。

イメージング

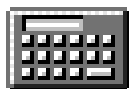
[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[イメージング]

FAX ドキュメントやスキャナで取り込んだ画像などを表示したり、それらに対してコメントを付けたり、簡単な画像処理を行ったりすることができます。

クリップボード ビューア

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[クリップボードビューア]

一時作業用に保存（登録）したデータ（文字、画像など）の内容を確認することができます。

計算する

電卓

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[電卓]

簡単な計算が行えます。マウスで直接電卓のキーを押す他に、キーボードの数字キー、またはテンキーからの入力で計算できます。設定により関数電卓にすることも可能です。テンキーからの入力はNumLockキーが有効でないと入力できません。
☞「テンキーを押しても数字が入力できない」109ページ

ユーザーの補助をする

ユーザー補助ウィザード

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[ユーザー補助]→[ユーザー補助ウィザード]

ユーザー補助の設定ウィザードを使うと、身体の不自由な人が特別なソフトウェアをインストールすることなく、コンピュータを最大限に利用できるように設計されています。

拡大鏡

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[ユーザー補助]→[拡大鏡]

視力が弱いユーザーのため、画面を見やすくする機能です。画面の一部を拡大し、専用のウィンドウ内に表示します。配色やコントラストなども変更できます。

スクリーンキーボード

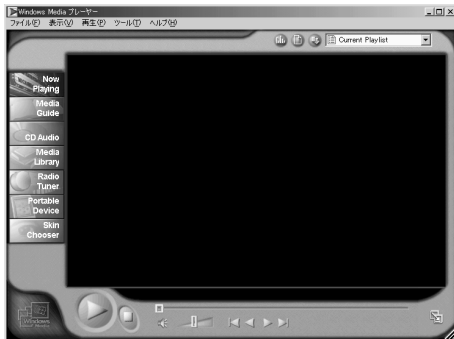
[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[ユーザー補助]→[スクリーンキーボード]

マウス、またはスイッチ入力デバイスで制御するキーボードを表示します。

2 マルチメディアを楽しむための機能

動画を見る

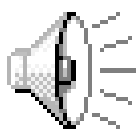
Windows Media Player

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[Windows Media Player]

オーディオCD、ビデオ、アニメーションなどのマルチメディアファイルを再生することができます。他のアプリケーションと同時に使用できますので、音楽を聞きながらワープロで文章を作成することも可能です。また、音楽用プレイヤーと同様に好きな曲順をプログラムしたり、アーティスト名を登録することもできます。

Windows ムービーメーカー

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[Windows ムービーメーカー]

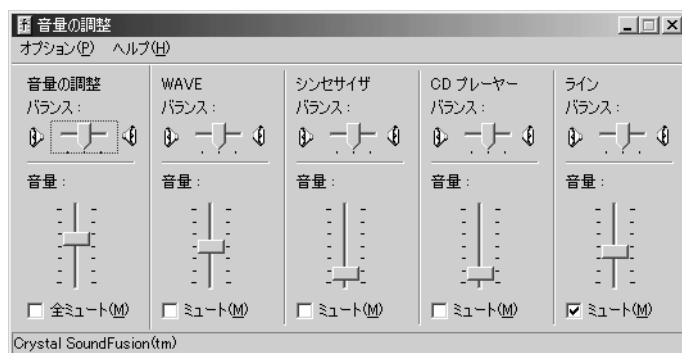
お使いのコンピュータで、インターネットを介して、Windows Media にて記録、構成、および共有を行えます。
また、デジタルビデオカメラなどで撮影した映像を、自由に編集できます。

音楽を聴く

サウンドレコーダー

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[サウンドレコーダー]

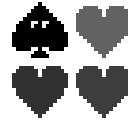
LINE IN 端子から入力された音声／音楽データを編集し、録音／再生することができます。録音されるファイルはWAVファイルとして保存され、再生速度を変えたり、エコーをかけるなどのオリジナルのサウンドを簡単に作成できます。この機能を利用し、ユーザーオリジナルの効果音などが作成できます。（別売りのマイクを使用することにより、ボイスメモとしても利用できます。）

ボリュームコントロール

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[ボリュームコントロール]

LINE IN 端子から入力された音声、WAVファイル、MIDIファイル、音楽CDなどの音声／音楽データの音量やバランスを一括して管理します。音源ごとに調節が可能なので、ユーザーの好みに合わせ自由に設定することができます。

ゲームをする

Windows Me では、次の 11 種類のゲームが付属しています。
それぞれ[スタート]ボタン→[プログラム]→[ゲーム]の中に用意されています。

インターネット スペード

クラシック ハーツ

インターネット チェッカー

スパイダ ソリティア

インターネット ハーツ

ピンボール

インターネット バックギャモン

フリーセル

インターネット リバーシ

マインスイーパ

クラシック ソリティア

各ソフトの遊び方については、ソフト付属のヘルプを参照してください。

少し勉強

インターネット スペード、インターネット チェッカー、インターネット ハーツ、インターネット バックギャモン、インターネット リバーシは、インターネットを利用して、世界中のプレイヤーと対戦できるゲームです。このソフトで遊ぶためには、インターネットに接続できる環境にする必要があります。

3 通信に関する機能

通信回線に接続する

ダイヤラ

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤラ]

モデム、またはその他の Windows テレフォニーデバイスを使って、コンピュータから電話をかける(ダイヤルする)ことができます(通話はできません)。

ダイヤルアップネットワーク

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]

電話回線を使って、他のコンピュータやイントラネットに接続できます。

Internet Explorer

[スタート]ボタン→[プログラム]→[Internet Explorer]

インターネットにアクセス（接続）する機能です。このアプリケーションを利用することにより、世界中のホームページにアクセスできます（詳細は別冊の『インターネット＆メール入門』をご覧ください)。

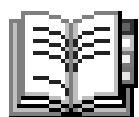
NetMeeting（ネットミーティング）

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[NetMeeting]

インターネットやイントラネットを利用して、離れた場所のユーザーと会議や集会を行うことができます。

Outlook Express

[スタート]ボタン→[プログラム]→[Outlook Express]

電子メールの送受信に使用します。

アドレス帳

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[アドレス帳]

電子メールで使用する、電子メールアドレスの編集／管理を行います。

インターネット接続ウィザード

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[インターネット接続ウィザード]

インターネットに接続するための各種設定を行うことができます。この指示に従うことで、インターネットに簡単に接続することができます。

ホームネットワークウィザード

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ホームネットワークウィザード]

リソース、およびインターネット接続を共有できるようにコンピュータを設定します。
ホームネットワーク上で利用できる共有フォルダを自動的に表示します。

4 システムに関する機能

システムを監視・変更する

コントロールパネル

[スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]

各種機能の設定を変更することにより、ユーザーのより使いやすい環境にWindows Me をカスタマイズすることができます。

システムモニタ

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[システムモニタ]

コンピュータやネットワークのパフォーマンスを追跡できます。パフォーマンスの各項目はグラフで表示され、一定時間ごとに更新されます。

システム情報

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[システム情報]

システムの構成情報を収集し、関連するシステム情報を表示するためのメニューを提供します。システム情報にはハードウェア、システムコンポーネント、ソフトウェアの 4 環境が詳しく表示されます。

タスク

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[タスク]

タスクをスケジュール管理し、デフラグなどを定期的に実行することができる機能です。Windows を立ち上げるたびに起動され、バックグラウンドで動作します。

メンテナンスウィザード

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[メンテナンスウィザード]

各種ユーティリティを定期的に実行するよう設定し、コンピュータのパフォーマンスを最適の状態に保つ機能です。

リソースメーター

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[リソースメーター]

現在、プログラムが使用しているシステムリソースを監視します。

ネットウォッチャー

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[ネットウォッチャー]

現在使用中のコンピュータのリソースと、使用しているユーザーを表示できます。共有フォルダを追加したり、コンピュータまたは特定のファイルからユーザーの接続を解除することもできます。

ディスクをメンテナンスする

スキャンディスク

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[スキャンディスク]

パソコンを長い間使用していると、場合によりハードディスク上に破損したファイルや無効となったファイルが蓄積してきます。このようなファイルを放置しておくとシステムの異常や動作が不安定になり、時には致命的なトラブルの原因となります。スキャンディスクはこのようなファイルを見つけ出す機能です。

ディスククリーンアップ

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[ディスククリーンアップ]

ハードディスク内を検索し、一時ファイル、インターネット一時ファイル、および削除しても影響のない不要なプログラムファイルの一覧を表示します。これらのファイルを削除することにより、ドライブの空きディスク領域を増やすことができます。

システムの復元

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[システムの復元]

コンピュータに行った、不適切な変更を取り消して、設定とパフォーマンスを復元します。
システムを復元しても、最近保存した文書や電子メール、お気に入りのページなどは、なくなることはありません。

デフラグ

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[デフラグ]

デフラグは、ハードディスク上に散らばったファイルの並びを整理し、ファイルを構成するクラスタを連続化する機能(最適配置機能)です。この機能によりファイルのクラスタが連続化され、アクセス時の無駄な動作をなくし、アクセス速度の高速化を図ることができます。

ディスクの内容を圧縮する

ドライブスペース

[スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[ドライブスペース]

ハードディスクやフロッピーディスクを圧縮し、ファイルを保存するための空き領域を増やすことができます。既に DoubleSpace、またはドライブスペース 3 で圧縮されているドライブを、ドライブスペース 3 で構成することもできます（ただし FAT32 を使用している場合、このアプリケーションは利用できません）。

Step 4

Windows Meの Q&A

Windows Meを使っているときに、困ったことが起きた場合の対処方法をQ&A形式で説明しています。

1 パソコンの電源をONにしたら･･･････92
Windows Meが起動しない･･････92
途中まで起動するが･･･ ･･････････95
フロッピーディスクから起動したい
･･････････････････････････････95
2 Windowsを終了しようとしたら････ ･･96
[Windowsの終了]をクリックできない
･･････････････････････････････96
作業の途中で電源をOFFにしてしまった
･･････････････････････････････97
3 ディスプレイの表示が変だ･･･････････98
画面自体が変だ･･･ ･･･････････････98
画面の設定を変えようとしたら･･･ 99
4 ウィンドウの表示が変だ･･･ ･････････100
ウィンドウ自体の表示が変だ････100
アイコンの表示が変だ･･････････101
5 フォルダやファイルが変だ･･･ ･･････102
ダブルクリックで開かない･･････102
フロッピーディスクに関するトラブル
･･････････････････････････････105
6 マウスの動作が変だ･･･ ････････････106
ポインタが動かない････････････106
7 キーボードから文字が入力できない･･･
･･････････････････････････････108
キーを押しても入力できない････108
押したキーと違う文字が表示される
･･････････････････････････････109
キーに無い記号を入力したい････109
8 アプリケーションを使っていると･･･ 112
インストールできない･･････････112
アプリケーションが起動しない･･113
アプリケーションが止まってしまった
･･････････････････････････････113
9 その他の「こんなときは･･･」･･･････114

1 パソコンの電源をONにしたら・・・

Windows Me が起動しない

■「Non-system disk or disk error」とエラーメッセージが表示される
■「Please Insert Another Disk.....」とエラーメッセージが表示される

セットされているフロッピーディスクから Windows は起動できません（起動ディスクを除く）

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしていると Windows は起動できません。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、何かキーを押してください。ハードディスクから Windows Me が起動します。

アドバイス

システム起動用プログラムを探す順序

工場出荷状態では、次のように起動用プログラムを探します。
電源が ON されると、起動のためのプログラムをまずフロッピーディスクの中から探そうとします。フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされていないときは、次にハードディスクの中を探します。フロッピーディスクがセットされているのに、そのフロッピーディスクにシステムを起動するプログラムがない場合は、エラーメッセージを表示して待機します。

■「Invalid system disk」とエラーメッセージが表示される
■「Operating System not found」とエラーメッセージが表示される

フロッピーディスクがディスクドライブにセットされている場合

セットされているフロッピーディスクから Windows は起動できません。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、何かキーを押すか（Invalid system disk の場合）再起動（Operating System not found の場合）してください。ハードディスクから Windows Me が起動します。

フロッピーディスクがセットされていない場合

起動時にフロッピーディスクがセットされていないのに、このメッセージが表示されたときは、ハードディスク内のシステムが壊れています(ハードディスクがフォーマットされていることも考えられます)。システムを再インストールする必要があります。次項以降を参照してください。
☞Windows Me の起動後、スタートメニューに表示される「必ずお読みください」を参照してください。

■その他の(前ページとは違う)エラーメッセージが表示される

システムに障害が発生していると考えられます

エラーメッセージの内容を書きとめておき、当社サポートセンタにご相談ください。

■「Microsoft Windows Millennium Startup menu」が表示される

スタートアップ メニュー

前回の終了時点でシステム障害が発生していた可能性があります

次の手順にしたがって、Windows Me を「Safe mode」で起動し、「Safe mode」から再起動してください。

セーフ モード

① カーソルキー(↓↑)で「Safe mode」を選択し(すでに「Safe mode」が選択されているときは、そのまま)、Enter↵キーを押します。
「Safe mode」で Windows Me が起動します。

「Safe mode」では、いくつかの機能が制限されますが、必要最小限の機能は使うことができます。とりあえず Windows Me が動いている状態です。
この状態から、Windows Me を再起動します。

これで、通常モードで Windows Me が起動します。

■再起動しても「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示される

ハードディスク内のシステムが壊れています

再起動しても、「Microsoft Windows Millennium Startup Menu」が表示されたときは、ハードディスク内のシステムが壊れています。その場合は Windows Me を再インストールしてください。

☞リカバリ CD の内側ジャケットに、リカバリ方法が記載されていますので、それを参照してください。

■スキャンディスクが起動した

前回、正しく終了しなかったことが考えられます

前回の終了時に、スタートメニューの[Windows を終了する]から終了しなかった場合、起動時に「スキャンディスク」が起動し、「Windows が正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示してハードディスクのチェックを始めます。

「スキャンディスク」がハードディスクをチェックして異常がなければ、Windows Me が起動します。異常が見つかった場合は、「スキャンディスク」のメッセージにしたがってください。
Windows Me の再インストールが必要な場合もあります。
☞リカバリ CD の内側ジャケットに、リカバリ方法が記載されていますので、それを参照してください。

■カーソルが表示されてそのまま止まっている

セットされているフロッピーディスクから Windows は起動できません（起動ディスクを除く）

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしていると Windows は起動できません。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、再起動してください。
ハードディスクから Windows Me が起動します。

■「ピー」と音がして起動しない

セットされているフロッピーディスクから Windows は起動できません（起動ディスクを除く）

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしていると Windows は起動できません。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、再起動してください。
ハードディスクから Windows Me が起動します。

システムに障害が発生していると考えられます

エラーメッセージの内容を書きとめておき、当社サポートセンタにご相談ください。

途中まで起動するが･･･

■ Windows Me のパスワードを忘れた

[ESC]キーを押せば、とりあえず起動します

再設定する場合は、再インストールが必要です。

☞リカバリ CD の内側ジャケットに、リカバリ方法が記載されていますので、それを参照してください。

■「パスワードが間違っている」と表示される

キーボードの状態を確認してください

パスワードは、大文字・小文字を異なる文字列として判断します。
キーボードの CapsLock ランプの状態を見て、大文字･小文字を間違えて入力していないか確認してください。CapsLock ランプが点灯しているときはそのまま(Shift キーを押さずに)キーを押すと大文字になります。

■電源を ON にするたびに、同じプリンタドライバをインストールするようメッセージが表示される

最初にプリンタドライバをインストールしたとき、正しくインストールされなかったことが考えられます。

一度プリンタドライバを削除し、再インストールしてください。

① [スタート]ボタンから[設定]→[プリンタ]を選択し、【プリンタ】ウィンドウ内のプリンタのアイコンをすべて削除します。
② [新しいプリンタの追加]アイコンをダブルクリックして、再度、プリンタドライバをインストールします。

フロッピーディスクから起動したい

■ Safe mode(☞93 ページ)でも Windows が立ち上がらない場合、フロッピーディスクから起動する

パソコンの電源を ON にする前に、ドライブに起動ディスクをセットしておきます。

パソコンは、電源が ON されると、起動のためのプログラムをまずフロッピーディスクの中から探そうとします(工場出荷状態の場合)。フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされていないときは、次にハードディスクの中を探します。
フロッピーディスクがセットされているのに、フロッピーディスクから起動しない場合は、そのフロッピーディスクにシステムを起動するプログラムが入っていないか、システムが対応していないと考えられます。

2 Windowsを終了しようとしたら…

[Windowsの終了]をクリックできない

■アプリケーションが止まってしまった

アプリケーションに異常が発生していると考えられます

まず次の方法で、異常が起きているアプリケーションを終了させてください。
そのアプリケーションで開いていたファイルの内容は保存できません。

① Ctrl + Alt + Delete キーを同時に押します。
【プログラムの強制終了】ダイアログが表示されます。
② リストの中の「応答なし」になっているアプリケーションをクリックし、反転表示にします。
③ [終了]ボタンをクリックします。
アプリケーションが終了します。
もし、この方法でアプリケーションが終了しない場合は、次の［Windows Meを強制終了させたい］にしたがって操作してください。

■ Windows Meを強制終了させたい

【プログラムの強制終了】ダイアログから強制終了します

Windows Meは、次の方法で強制終了できます。ただし、次の起動時に「スキャンディスク」が起動する場合があります。

① Ctrl + Alt + Delete キーを同時に押します。
【プログラムの強制終了】ダイアログが表示されます。
② [シャットダウン]ボタンをクリックします。
Windows Meが強制終了します。
もし、この方法でWindows Meが終了しない場合は、次の「強制終了したいのに Ctrl + Alt + Delete キーも効かない」にしたがって操作してください。

■強制終了したいのに Ctrl + Alt + Delete キーが効かない

パソコンの電源ボタンを押して OFF にします

前ページの方法で終了しなかった場合は、電源ボタンを押して OFF にします。ただし、この方法はシステムに障害を与える可能性があります。
また、ほとんどの場合、次の起動時に「スキャンディスク」が起動します。

① パソコンの電源ボタンを 4 秒以上押します。
電源が OFF になります。
次に正しく起動できるか、一度チェックしておきます。
② 電源を OFF にしてからしばらく(5 ～ 6 秒)待ちます。
③ パソコンの電源ボタンを押します。
ほとんどの場合、起動中に「スキャンディスク」が始まります。
「スキャンディスク」がハードディスクをチェックして異常がなければ、Windows Me が起動します。異常が見つかった場合は、「スキャンディスク」のメッセージにしたがってください。
④ [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューの[Windows の終了]をクリックします。
【Windows の終了】ダイアログが開きます。
⑤ [終了]をクリックして、[OK]ボタンをクリックします。

作業の途中で電源を OFF にしてしまった

■作っていたファイルが消えた

アプリケーションのマニュアルを調べてください

自動バックアップ機能（一定の時間や一定回数キーを押すごとに自動的に作業中のデータをバックアップする機能）が付いているアプリケーションもあります。この機能が働いていれば、ある程度は修復の見込みがあります。

■通信（電話回線を使用）中にパソコンの電源を切ってしまった

電話回線は強制的に切断されています。

通信（電話回線を使用）中にパソコンの電源を切ると、電話回線は強制的に切断されます。
ダウンロード中のデータは、正しく保存されていない可能性があります。

3 ディスプレイの表示が変だ・・・

画面自体が変だ・・・

■部分的に色がにじむ

ディスプレイをデガウス(消磁)してください

ディスプレイに磁場の発生する装置や磁石を近づけませんでしたか？また、今も近くにありませんか？ディスプレイは磁場に影響されて、色がにじむことがあります。磁場の発生する装置を遠ざけ、さらにディスプレイのマニュアルを参考にデガウス(消磁)をしてみてください。
液晶ディスプレイの場合は、性能的に画面の部分によって発色が変わったり、見る角度によって暗く見える場合もあります。

■画面が乱れる（流れるように表示する）

画面の同期が取れていません

ディスプレイのマニュアルを参考に、同期が取れるよう調節してください。場合によっては、ご使用のディスプレイの製造元から最新のドライバを入手して、インストールする必要があります。

■画面の一部が切れていて表示されない（表示位置やサイズが変だ）

ディスプレイの調整をしてください

ディスプレイのマニュアルを参考に、表示位置や表示サイズなどの調整をしてください。

■電源を ON にしているのに、しばらくパソコンをさわらないでいると、突然画面が消える

省電力機能が働いています

工場出荷時の設定で、15 分間キーボードやマウスの操作をしなかったときは、電力の消費を抑えるために「省電力モード」になるよう設定されています。
キーを押すか、マウスを操作すると元に戻ります。キーを押すときは、アプリケーションが起動していることを考慮して、Ctrl キーや Shift キーなど、操作に影響を与えにくいキーを押すようにしてください。

画面の設定を変えようとしたら･･･

■省電力機能が設定できない

全てのアプリケーションを終了してから省電力機能を設定してみてください

アプリケーションが起動していると、うまく設定できない場合があります。
また、電話回線を使用しているときは、接続を切ってから設定してください。

ディスプレイ装置が省電力機能に対応しているか確認してください

ディスプレイ装置が、省電力機能に対応していなければ設定できません。
ディスプレイ装置のマニュアルを参照してください。

コントロールパネルの設定を確認してください

コントロールパネルの「モニタ」の設定が、正しく設定されていないことも考えられます。次の手順で、「モニタ」(ディスプレイ装置の機種)を正しく設定してください。

① デスクトップの何も表示されていない部分を右クリックします。
　メニューが表示されます。
② [プロパティ]をクリックします。
　【画面のプロパティ】ウィンドウが表示されます。
③ [設定]タブをクリックします。
④ [詳細]ボタンをクリックします。
　さらに詳細な設定画面が表示されます。
⑤ [モニタ]タブをクリックします。
　「モニタ不明」と表示されている場合は、[変更]ボタンをクリックして【デバイスの選択】ダイアログからご使用のモニタを選択してください(ご使用のモニタが一覧に無い場合は、モニタに付属のフロッピーディスクか CD-ROM をセットし、[ディスク使用]ボタンをクリックしてドライバを選択してください)。
⑥ モニタを正しく選択したら、[OK]ボタンをクリックします。
　ドライバのインストールが始まります。途中、Windows Me の CD-ROM をセットするようメッセージが出ることがあります。Windows のメッセージにしたがってインストールしてください。

4 ウィンドウの表示が変だ・・・

ウィンドウ自体の表示が変だ

■デスクトップにタスクバーが無い

アプリケーションによっては、タスクバーが表示されません

アプリケーションによっては、動作中に「タスクバーを表示しない」設定の物があります。アプリケーション起動時にタスクバーが表示されず、終了時にタスクバーが表示される場合は、アプリケーションの設定でタスクバーが表示されないようになっています。
アプリケーションのヘルプを参照してください。
また、次の項目を参照して、タスクバーを「常に手前に表示」に設定してください。

スタートメニューを表示したいのなら、キーボードの キーを押します

キーボードの キーを押すと、スタートメニューが表示されます。
タスクバーが他のウィンドウの下に隠れている場合は、このように キーを押します。

タスクバーが常に最前面に表示されるようにするには、次のように設定します。
① キーボードの キーを押します。
[スタートメニュー]が表示されます。
② [設定]→[タスクバーと[スタート]メニュー]を選択します。
【タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ】ウィンドウが表示されます。
③ [全般]タブをクリックします。
[□常に手前に表示]をクリックし、[☑常に手前に表示]にします。
④ [OK]ボタンをクリックします。
これで、タスクバーが常に最前面に表示されるようになります。

タスクバーの位置やサイズを変更した可能性があります

デスクトップの上下左右の端にポインタを合わせてみてください。ポインタが ↕ や ↔ に変わったら、タスクバーがそこに隠れています。そのままドラッグしてください。

タスクバーを「自動的に隠す」ように設定されているかもしれません

デスクトップの上下左右の端にポインタを合わせてみてください。それでタスクバーが現れる場合は、【タスクバーのプロパティ】ウィンドウで[自動的に隠す]設定になっています。

① キーボードの キーを押します。
[スタートメニュー]が表示されます。
② [設定]→[タスクバーと[スタート]メニュー]を選択します。
【タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ】ウィンドウが表示されます。
③ [全般]タブをクリックします。
[☑自動的に隠す]をクリックし、[□常に自動的に隠す]にします。
④ [OK]ボタンをクリックします。これで、タスクバーが自動的には隠れないようになります。

■「MS-DOS プロンプト」が画面いっぱいに表示される　(ウィンドウ表示に戻したい)

Alt キーを押したまま、Enter キーを押します

【MS-DOS プロンプト】ウィンドウには、デスクトップ画面いっぱいに表示する「フルスクリーン表示」と「ウィンドウ表示」の 2 つの表示モードがあります。
2 つの表示モードは、Alt キーを押したまま Enter キーを押すことで切り替えることができます。

アイコンの表示が変だ

■アイコンの色が変だ

画面のプロパティで「色」を変更します

デスクトップの何も無いところで右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックすると【画面のプロパティ】ウィンドウが表示されます。[設定]タブで[色]が「High Color(16 ビット)」や「True Color(32 ビット)」になっているときに[デザイン]タブの設定を変更すると、正しく表示されないことがあります。[デザイン]タブの「指定する部分」で、「ウィンドウ」を違う色に設定してみてください。

■アイコンの大きさが変だ

コントロールパネルでアイコンの大きさを調整します

デスクトップの何も無いところで右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックすると【画面のプロパティ】ウィンドウが表示されます。[デザイン]タブで「指定する部分」から「アイコン」を選択し「サイズ」を調整してください。

5 フォルダやファイルが変だ・・・

ダブルクリックで開かない

■ファイルをダブルクリックしても開かない

そのファイルに対応したアプリケーションがあるか確認してください

ファイルのアイコンを右クリックして、メニューから[プロパティ]をクリックしてください。「ファイルの種類」と「アプリケーション」を見ると、そのファイルの概要が確認できます。そのファイルを開くためのアプリケーションがあなたのパソコンにない場合は、そのファイルを開くことができません。ファイルに対応したアプリケーションをインストールしてください。
また、バージョンの違いによって開くことができない場合もありますので注意してください。

ファイルの関連付けを確認してください

ファイルに対応した、他のアプリケーションがある場合は、ファイルの関連付けをしてください。

① ファイルのアイコンを右クリックしてメニューを表示します。
② メニューの[アプリケーションから開く]をクリックします。
【ファイルを開くアプリケーションの選択】ウィンドウが表示されます。
③ [このファイルを開くアプリケーション]の中から、このファイルに対応したアプリケーションを選んでクリックします。
④ [OK]ボタンをクリックします。

■ショートカットアイコンをダブルクリックしても開かない

参照先のファイルがあるか確認してください

参照先のファイルが移動(または削除)されていると【ショートカットの検索】ウィンドウが表示されます。参照先のファイルを移動した場合は自動検出される場合があります。メッセージにしたがって操作してください。
参照先が見つからなかった場合は、削除された可能性があります。[ごみ箱]の中を探してみてください。参照先がアプリケーションの場合はインストールしなおしてください。

■ファイルがどこにあるかわからなくなった

使ったばかりのファイルなら「最近使ったファイル」で探します

スタートメニューから［最近使ったファイル］をポイントすると、最近使ったファイルの一覧が表示されます。探しているファイルが見つかれば、そのファイル名をクリックしてください。

[検索]機能を使って探します

検索機能を使って、ファイルを探してください。

☞「ファイルやフォルダを検索する」63 ページ

■ファイルが読み込めなくなった

恐らくファイルが壊れています

残念ですが、そのファイルは壊れてしまって開くことはできません。
重要なファイルは、こまめにバックアップしておきましょう。

■大事なファイルを消してしまった

「ごみ箱」を探してみてください

デスクトップの「ごみ箱」をダブルクリックして開いてください。
完全に消去される前に、ゴミ箱に保管されているかもしれません。

☞「ごみ箱に移動したファイルを元に戻す」53 ページ

■ CD-ROM からコピーしたファイルを変更(上書き)できない

「読み取り専用」の属性を解除してください

CD-ROM からコピーしたファイルの属性が、[読み取り専用]になっていると思われます。ファイルの属性が読み取り専用になっていると、そのファイルを編集(変更)しても上書き保存できません。

① ファイルのアイコンを右クリックします。
　メニューが表示されます。
② メニューの中の[プロパティ]をクリックします。
　そのファイルのプロパティが表示されます。
③ 属性を変更します。
　[☑読み取り専用]をクリックし、[☐読み取り専用]にします。
④ [OK]ボタンをクリックします。

■長いファイル名を付けたり表示することができない

アプリケーションのバージョンを調べてください

MS-DOS 用のアプリケーションや、Windows3.1 用のアプリケーションの中には、Windows Me でも動作するものがあります。
これらは、**“ 8 文字 ” + “ .(ピリオド) ” + “ 拡張子 3 文字 ”** 以上の文字数をファイル名として扱えません。

保存先のハードウェアを調べてください
保存先に指定したハードウェア(ドライブ)が使用しているドライバに 16 ビットモードのドライバが使用されていると考えられます。
この場合も上記同様、**“ 8 文字 ” + “ .(ピリオド) ” + “ 拡張子 3 文字 ”** 以上の文字数をファイル名として扱えません。

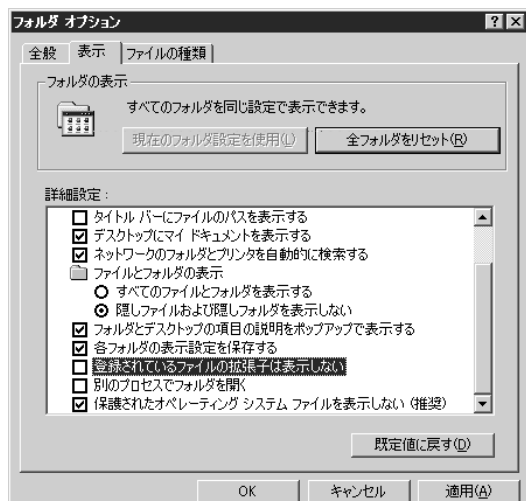
■ファイル名が付けられない(変更できない)

記号の中には、ファイル名として使用できないものがあります

ファイル名に使用できない半角記号は次の通りです。変更するか、全角の記号を使ってください。
ファイル名に使用できない半角記号 [＊][<][>][/][?][¥][:]

■ファイルの拡張子を表示したい

初期状態では表示しないようになっていますが、変更できます

① [スタート]ボタン→[設定]→[コントロールパネル]にポインタを合わせてクリックします。
[コントロールパネル]フォルダが表示されます。
② [コントロールパネル]フォルダの[フォルダオプション]アイコンをダブルクリックします。
【フォルダオプション】ダイアログが表示されます。
③【フォルダオプション】ダイアログの[表示]タブをクリックします。
④ [登録されているファイルの拡張子は表示しない]のチェックボックスを
クリックし、(☑オン)から(☐オフ)にします。

⑤ [OK]ボタンをクリックします。

フロッピーディスクに関するトラブル

■フロッピーディスクにファイルが保存できない

書き込み禁止になっていませんか？

「■ライトプロテクトを解除する」（☞75 ページ）の手順にしたがって、フロッピーディスクのライトプロテクトを解除してください。

■フロッピーディスクの内容が表示されない

しばらくすると「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたときは

フォーマットされていないか、このパソコンで対応していないフォーマットの施されたフロッピーディスクだと思われます。

「このパソコンで読めるはずだ、昨日は開いた！」という場合は、次の「ドライブアイコンをクリックしても開かないときは」を参照してください。

ドライブアイコンをクリックしても開かないときは・・・

フロッピードライブの中(ヘッド)が汚れていることが考えられます。市販のクリーニングディスクを使って、フロッピードライブをクリーニングしてください。

それでも、開かない場合は、そのフロッピーディスクが壊れていると考えられます。

■フォーマットしてしまった！

残念ですが復旧できません

市販のユーティリティソフトで、復旧できるかもしれません。ただし、フォーマット直後の状態でドライブから取り出して保管しておいてください。そのフロッピーに追加してファイルを書き込んだ場合、復旧はほとんど不可能です。

■フロッピーにジュースをこぼした！

ひょっとしたら読めるかもしれませんが、ドライブをいためる原因になります

「乾いたら大丈夫だった」とか「フロッピーディスクを水洗いしたら使えた」といった情報もありますが、フロッピードライブのヘッド(情報を読み取る部分)は非常にデリケートです。故障の原因になりかねないので、そのフロッピーディスクは使わないでください。

6 マウスの動作が変だ・・・

ポインタが動かない

■マウスを動かしてもポインタが動かない

マウスケーブルのコネクタが本体に正しく接続されているか確認してください

デスクトップモデルの場合、マウスケーブルのコネクタが本体に正しく接続されているか確認してください。

☞『ユーザーズガイド』

ポインタが ⌛ のまま動かない場合は、しばらく待ってみてください

時間のかかる処理を実行中です。
処理が終わるまで、しばらく待ってください。

しばらく待っても動かなければ、アプリケーションがフリーズしています

アプリケーションに異常が発生し、動かなくなった(フリーズした)と思われます。まず次の方法で、異常が起きているアプリケーションを終了させてください。そのアプリケーションで開いていたファイルの内容は保存できません。

① Ctrl+Alt+Delete キーを同時に押します。
　【プログラムの強制終了】ダイアログが表示されます。
② リストの中の「応答なし」になっているアプリケーションをクリックし、反転表示にします。
③ [終了]ボタンをクリックします。
　アプリケーションが終了します。

もし、この方法でアプリケーションが終了しない場合は、「Windows を終了しようとしたら・・・」(☞96 ページ)を参照してください。

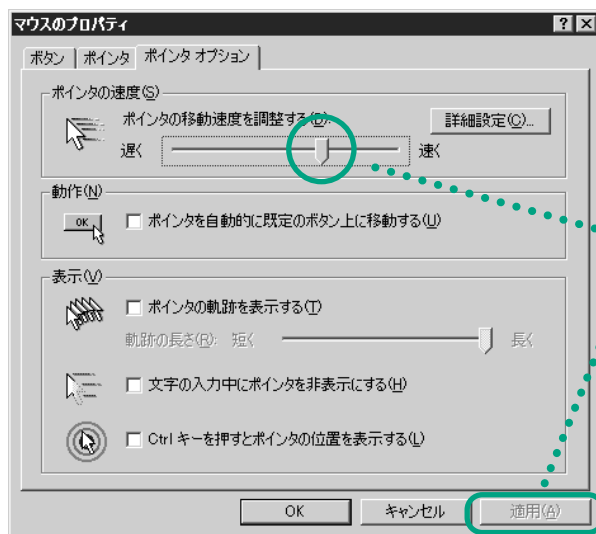
■ポインタがスムーズに動かない

マウスの掃除が必要です

綺麗なマウスパッドの上で操作してもポインタがスムーズに動かない場合は、マウスの内部が汚れていると思われます。
次の手順で掃除してください。

① マウス裏側にあるボールのフタを反時計回りに回してはずします。
② ボールを取り出します。
(はずしたフタの上に置いておくと、ボールが転がっていきません)
中をのぞいてみてください。黒いローラーが 2 つと、白いローラーが 1 つ見えます。
③ ローラーを 3 つとも掃除します。
綿棒などの柔らかいもので汚れをふき取ってください。かたいものでローラーを傷つけると、汚れが付着しやすくなりますし、故障の原因となります。掃除が終わったら次に進みます。
④ マウスボールを元の場所に挿入します。
⑤ フタをセットし、時計回りに回します。
カチッと音がしてフタが固定されます。

■ポインタが動くスピードを変えたい

【コントロールパネル】の「マウス」の設定を変更します

① [スタート]ボタンをクリックします。
② スタートメニューの[設定]をポイントします。
③ メニューから[コントロールパネル]をクリックします。
④ マウスアイコンをダブルクリックします。
【マウスのプロパティ】ウィンドウが開きます。
⑤ [ポインタオプション]タブをクリックします。
⑥ [ポインタの速度]のツマミをドラッグして設定します。
設定した速度でポインタが動きますので、納得がいくまで調整してください。
⑦ [OK]ボタンをクリックします。

■デバイスマネージャが、マウスポートの異常を知らせている
■システム情報のコンポーネントが、マウスポートに問題があると知らせている

USB（ユーエスビー）マウスを接続すると、このように表示されます

異常ではありません。そのままご使用ください。

7 キーボードから文字が入力できない…

キーを押しても入力できない

■キーボードが反応しない

キーボードケーブルのコネクタが本体に正しく接続されているか確認してください

デスクトップモデルの場合、キーボードケーブルのコネクタが本体に正しく接続されているか確認してください。

☞『ユーザーズガイド』

ポインタが ⌛ のまま動かない場合は、しばらく待ってみてください

時間のかかる処理を実行中です。
処理が終わるまで、しばらく待ってください。

しばらく待っても動かなければ、アプリケーションが停止しています。
「Windows Me を強制終了させたい(☞96 ページ)」を参照してください。
それでも終了しない場合はパソコンの電源ボタンを押して OFF にするしかありません。
ただし、この方法はシステムに障害を与える可能性があります。
また、ほとんどの場合、次の起動時に「スキャンディスク」が起動します。

① パソコンの電源ボタンを 4 秒以上押します。
電源が OFF になります。
次に正しく起動できるか、一度チェックしておきます。
② 電源を OFF にしてからしばらく(5 ～ 6 秒)待ちます。
③ パソコンの電源ボタンを押します。
ほとんどの場合、起動中に「スキャンディスク」が始まります。
「スキャンディスク」がハードディスクをチェックして異常がなければ、Windows Me が起動します。異常が見つかった場合は、「スキャンディスク」のメッセージにしたがってください。
④ [スタート]ボタンをクリックし、スタートメニューの[Windows の終了]をクリックします。
【Windows の終了】ダイアログが開きます。
⑤ [終了]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

押したキーと違う文字が表示される

■大文字と小文字が逆になる

CapsLock（キャップスロック）機能が働いています

Shift キーの動作が逆になるときは、CapsLock 機能が働いていると思われます。キーボードの CapsLock ランプが点灯していないか確認してください。
CapsLock ランプが点灯しているときは、Shift キーを押さなくても大文字が入力できるようになっています。逆に Shift キーを押すと小文字が入力できます。
CapsLock 機能を解除するには、Shift キーを押したまま、CapsLock キーを押します。キーボードの CapsLock ランプが消灯したら、解除されています。

■テンキーを押しても数字が入力できない
■テンキーを押すと、カーソルが移動したり画面がスクロールする

NumLock（ナンバーロック）機能が働いていません

キーボードの NumLock ランプが消灯していないか確認してください。
NumLock ランプが消灯していると、テンキーの各キートップ下段に刻印された機能がキーに割り当てられます。
NumLock 機能を有効にするにはテンキー左上の、NumLock キーを押します。キーボードの NumLock ランプが点灯したら、テンキーから数字が入力できます。

キーに無い記号を入力したい

■「\(バックスラッシュ)」や「~ (チルダ)」を入力したい

\(バックスラッシュ)は「\」で代用してください

バックスラッシュは、Windows の英語版で使用する文字です。
Windows Me 日本語版では、バックスラッシュは入力できません。代わりに「\」を使ってください。

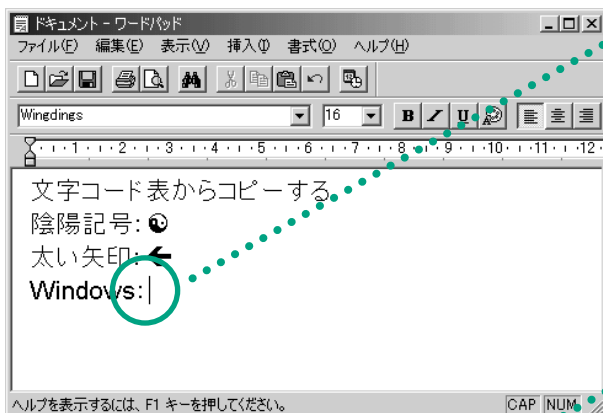
~ (チルダ)は、Shift ＋ ^ キーで入力できます

step 4 Windows Me の Q&A

■「★」や「←」を入力したい

日本語入力モードを使って「読み」から変換します

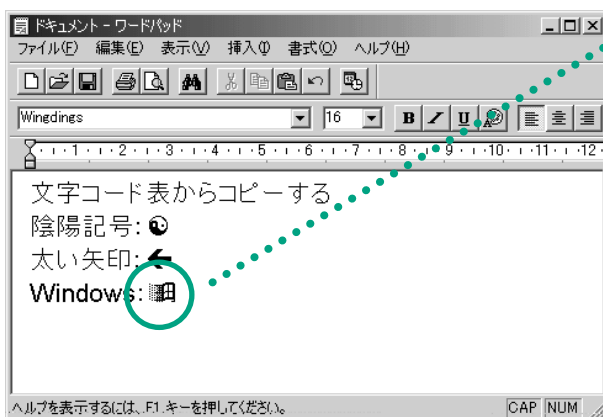
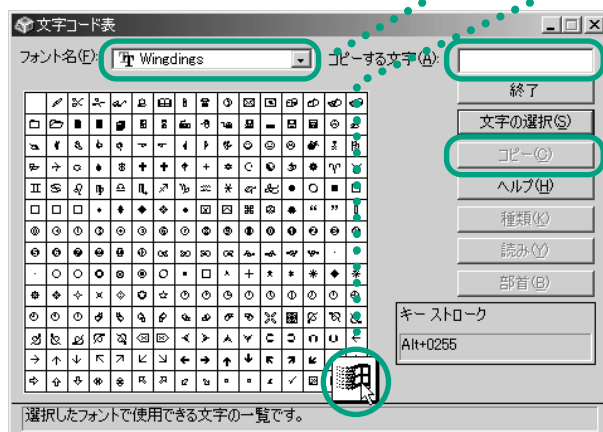
「★」は日本語入力モードで「ほし」と入力し、変換すれば、変換候補に上がります。「〜」は「にょろ、から」、「←→↑↓」は「やじるし」、「▲▼△▽」は「さんかく」で変換できます。

読みがわからないときは、「文字コード表」を使います

ここに「」の記号を入力してみましょう。

① [スタート]ボタン→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]と選択して[文字コード表]をクリックし、【文字コード表】ウィンドウを開きます。

② [フォント名]を選択します。

③ 一覧表から文字を選択(ダブルクリック)します。ダブルクリックするごとに、[コピーする文字]に文字が登録されます。

④ [コピー]ボタンをクリックします。
これで文字を入力する準備ができました。

⑤ 文字を入力したいアプリケーションに戻って、Ctrl キーを押したまま V キーを押します。
文字が入力されます。

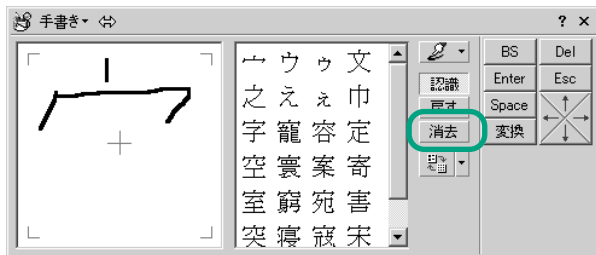
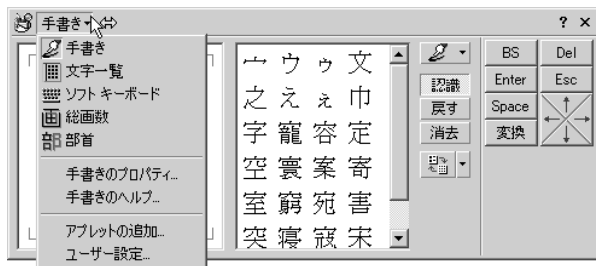
アプリケーションによっては、コピーした文字のフォントを【文字コード表】ウィンドウで選択したフォントに指定しなおす必要があります。

■文字コード表から探すのが面倒な漢字は？

「IME パッド」をつかって入力します

Windows に標準搭載されている日本語入力システム「MS-IME 2000」なら、画数やマウスによる手書き入力によって、文字を入力することができます

日本語入力のツールバー

① デスクトップに日本語入力のツールバーが表示されていないときは、インジケータのを右クリックして、メニューの「ツールバーを表示」にチェックマークを付けてください。

② ツールバーのをクリックします。
【IME パッド】ウィンドウが表示されます。初期設定では、「手書き」が選択されています。このモードではマウス操作(手書き)で文字が検索できます。最初は「うかんむり」が表示されていますので[消去]ボタンをクリックし、新しく書き込んでください。

③ [手書き]と書かれたところをクリックすると、メニューが表示されます。
[総画数]や[部首]を選択すると、それぞれの入力モードに切り替わります。

さらに詳しい使いかたについては、ヘルプを参照してください。

パソコンにプリインストールされているソフトによって、標準の日本語入力システムが「ATOK」になっている場合があります。

8 アプリケーションを使っていると…

インストールできない

■アプリケーションがインストールできない

そのアプリケーションが、このパソコンに対応しているか確認してください

アプリケーションのマニュアルやパッケージの裏などに記載されている「動作環境」を確認してください。主に次の事項を確認してください。

・ OS の種類(バージョン)
・ CPU の種類
・ハードディスクの空き容量
・メモリ容量
・別途必要な周辺機器

MS-DOS 用や Windows3.1 用、Windows95 用、Windows98 用、Windows2000 用のアプリケーションの中には、このパソコンにインストールできないものもあります。

実行中のアプリケーションを全て終了してから、インストールしてください

アプリケーションによっては、他のアプリケーションが起動しているとインストールできないものもあります。

画面の設定を変えてみてください

アプリケーションによっては、「Web コンテンツの表示」が設定されていると、インストールできないものがあります。次の手順でいったん「Web コンテンツの表示」をオフにしてインストールしてみてください。

① デスクトップの何も無いところで右クリックします。
　メニューが表示されます。
② メニューの[アクティブデスクトップ]をポイントします。
③ [√ Web コンテンツの表示]をクリックしてオフにします。
④ アプリケーションをインストールします。

アプリケーションが起動しない

■「メモリ不足」のメッセージが出る

起動しておく必要が無いアプリケーションは閉じてください

メモリ消費量の多いアプリケーションをいくつも同時に立ち上げていると、それ以上アプリケーションが起動できなくなる場合があります。
アプリケーションを全て終了させ、再起動してください。

メモリを増設してみてください

メモリが足りない場合は、別冊の『ユーザーズマニュアル』を参考に、メモリを増設してください。
☞『ユーザーズマニュアル』

■表示色を変更するように、とメッセージが出て起動しない

画面のプロパティで、表示色を変更します

① デスクトップの何も表示されていない部分を右クリックします。
　メニューが表示されます。
② [プロパティ]をクリックします。
　【画面のプロパティ】ウィンドウが表示されます。
③ [設定]タブをクリックします。
④ [色]の設定を変更します。
⑤ [適用]ボタンをクリックします。
　【互換性の警告】ダイアログが表示されることがありますが、[再起動しないで新しい色の設定を適用する]を選択します。
　画面が一瞬暗くなり、新しい設定で再表示されます。
⑥ [OK]ボタンをクリックします。

アプリケーションが止まってしまった

■ Windows3.1 用だけど、インストールできたから使っていたのに・・・

インストールできても安定して使えるとは限りません

できる限り、Windows Me 用のアプリケーションを使ってください。

■ Windows Me 用のアプリケーションなのに止まってしまった。

原因はさまざまです。とにかく、そのアプリケーションを終了しましょう

「■アプリケーションが止まってしまった。」（☞96 ページ）を参考に、そのアプリケーションを終了させてください。
止まる直前の操作を覚えていて、再現できるようでしたら、アプリケーションのメーカーに問い合わせてみると良いでしょう。

9 その他の「こんなときは･･･」

■テレビやラジオにノイズが入るときは･･･

パソコンの電源を OFF にしてもノイズが入るか確認してください

パソコンの電源が OFF の時でもノイズが入るようでしたら、原因はパソコン以外にあります。もしもパソコンが原因の場合は、影響が出ている機器をパソコンから遠ざけてください。また、それらの機器は、パソコンとは別のコンセントから電源を供給してください。また、テレビのアンテナケーブルがパソコンの近くを通っているためにノイズが入る場合もあります。

■パソコンを廃棄するときは･･･

地方自治体の条例にしたがって廃棄処理してください。

お客様がお住まいの管轄の地方自治体の条例にしたがって廃棄処理してください。
処理の詳しい手順については各地方自治体にお問い合わせください。

索　引

アルファベット
Internet Explorer ……86
NetMeeting ……86
Outlook Express ……87
Startup menu ……93
Windows Media Player ……83
Windows ムービーメーカー ……83

ア
アドレス帳 ……87
イメージング ……81
インターネット接続ウィザード ……87
インタラクティブトレーニング ……78
ウィンドウの操作 ……45
エクスプローラ ……20,79

カ
外字エディタ ……80
拡大鏡 ……82
クリック ……10
クリップボードビューア ……81
ゲーム ……85
画面 ……98,99
強制終了 ……96,97
ごみ箱 ……8,52,53
コントロールパネル ……88

サ
最近使ったファイル ……79
サウンドレコーダー ……84
システムモニタ ……88
システム情報 ……88
システムの復元 ……89
省電力機能 ……98,99
ショートカットアイコン ……57
スキャンディスク ……89
スクリーンキーボード ……82
スタートボタン ……8

タ
タイトルバー ……14
ダイヤラ ……86
ダイヤルアップネットワーク ……86
タスク ……88
タスクトレイ ……9
タスクバー ……8,100
ダブルクリック ……14
ツールバー ……14
ディスククリーンアップ ……89
ディスプレイの表示 ……98
デスクトップ画面 ……8
デフラグ ……90
電卓 ……10,82
ドライブ ……15
ドライブスペース ……90
ドラッグ ……16
ドラッグアンドドロップ ……48,50,60

ナ
日本語入力システム ……111
ネットウォッチャー ……89

ハ
パスワード ……95
ファイル
　移動 ……48
　大きさ ……73
　拡張子 ……104
　検索 ……63,78
　コピー ……49,69
　最近使ったファイル ……62,79
　削除 ……52
　作成する ……34
　整理 ……32
　名前を変える ……54,104
　名前を指定して実行 ……79
　保存 ……37
フォルダ ……32
　開く ……40
プレス ……17

フロッピーディスク
Windows Meを起動する ……………95
ファイルをコピー ……………69
ファイルを開く ……………71
フォーマット ……………66,105
書き込み禁止 ……………75
取り出す ……………74
ペイント ……………81
ヘルプとサポート ……………24,78
ホームネットワークウィザード ……………87
ポイント ……………10
ボリュームコントロール ……………84

マ
マイコンピュータ ……………8,14
マイドキュメント ……………8
マウス ……………10,106
メニューバー ……………14
メモ帳 ……………36,80
メンテナンスウィザード ……………88
文字コード表 ……………80,110

ヤ
ユーザー補助 ……………82

ラ
ライトプロテクト ……………75
リソースメーター ……………89

ワ
ワードパッド ……………80